NEC

ユーザーズマニュアル

「あなたのパソコン」として使うために

VALUESTAR N

準備・基本編

トラブル予防・解決編

ご購入後は「お客様登録」を P.2-75

パソコンのセットアップが終わったら、すぐに121wareの「お客様登録」をしましょう。
電話サポートや優待サービスなど、さまざまな特典が利用できるようになります。

困ったときは

使い方がわからなくなったときや、パソコンの調子が悪くなったときは、あわてずに次のステップで調べてみましょう。

Step1 マニュアルやインターネットで調べる P.2-20

まずはパソコンに添付されているマニュアルを開いてみましょう。
また、121wareのホームページでは様々なサポート情報が提供されています。インターネットが使えるときは、121wareのホームページ（121ware.com）にアクセスして調べてみましょう。

Step2 電話で相談する P.2-74

NECのパソコンに関する技術的な質問を電話で承ります。マニュアルやインターネットで調べてもわからないときは、専門のスタッフに電話で相談してみましょう。

Step3 出張サポートを依頼する P.2-82

インターネットにつながらない、ウイルスに感染したかもしれない、その他、どうしても問題が解決しないときは、電話一本でスタッフがご自宅に駆けつけます。

853-811064-112-A

このマニュアルの読み方

準備・基本編

パソコンを使い始める際に必要な設定と、このパソコンの主な機能の紹介、機能の拡張について説明しています。

章	タイトル	内容
【第1章】	**セットアップの前に**	添付品の確認や電源コードの接続など、まず最初におこなうことについて
【第2章】	**セットアップする**	パソコンの電源を入れて最初におこなう設定(セットアップ)やセットアップ後におこなう作業について
【第3章】	**インターネットを始める**	インターネットの接続や、ウイルス対策について
【第4章】	**基本機能**	省電力機能、音量の調節方法など、このパソコンの主な機能について
【第5章】	**パソコンに取り付ける**	パソコンに取り付けられる機器の紹介や内部に新しい部品を取り付ける方法について
【第6章】	**おすすめ機能**	このパソコン特有の機能を使ってできること

トラブル予防・解決編

パソコンのトラブルに備えるための準備やトラブルの対処方法、再セットアップについて説明しています。

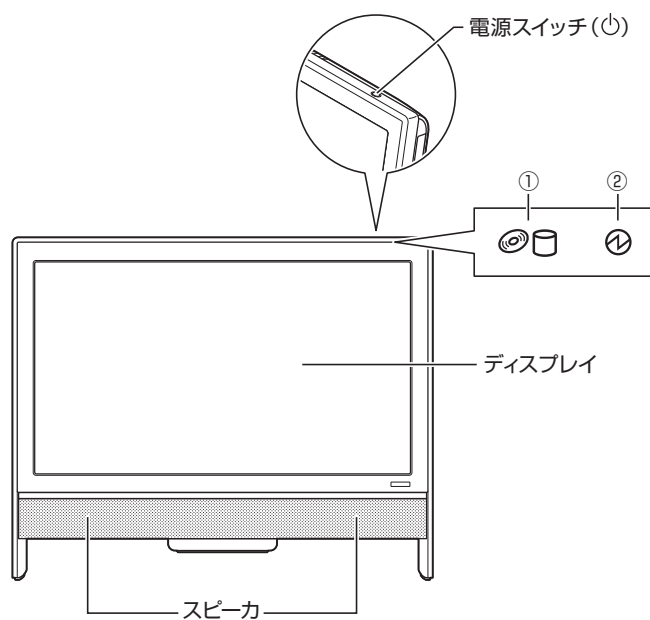
章	タイトル	内容
【第1章】	**トラブルの予防**	パソコンのトラブルを防ぐための心がけや、トラブルが起きたときのためのバックアップについて
【第2章】	**トラブル解決の第一歩**	トラブルに遭遇した際に気をつけることについて
【第3章】	**トラブル解決Q&A**	インターネットや起動時のエラーなど、よくあるトラブルの対処法について
【第4章】	**再セットアップする**	パソコンを購入時の状態に戻す再セットアップの方法について
【第5章】	**サービス&サポートのご案内**	NECが提供する各種サービス&サポートの紹介

付録 ―――― お手入れの方法やアフターケアなど、さまざまな情報を記載しています。

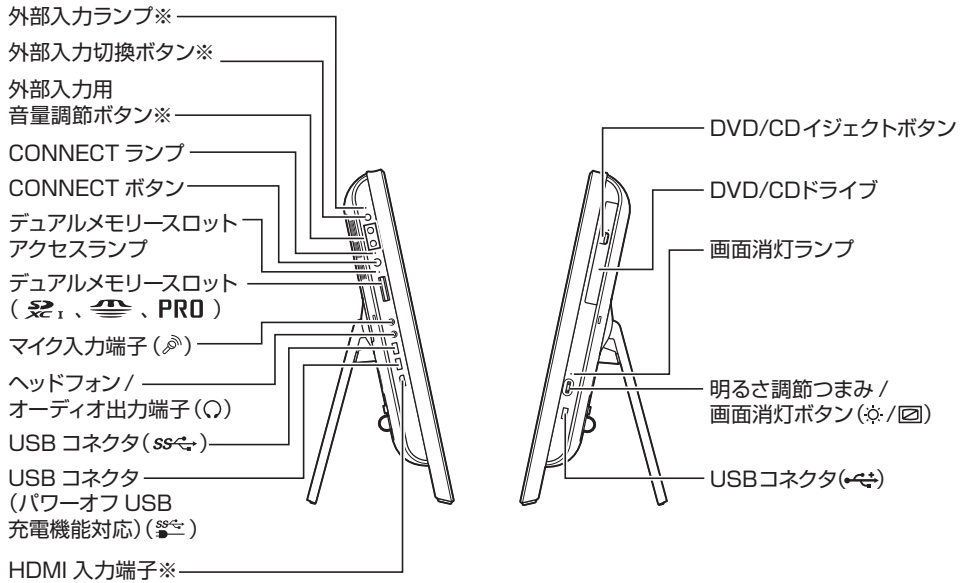
仕様一覧 ―――― パソコンの性能や機能についての情報を記載しています。

853-811064-112-A
2011年9月　初版

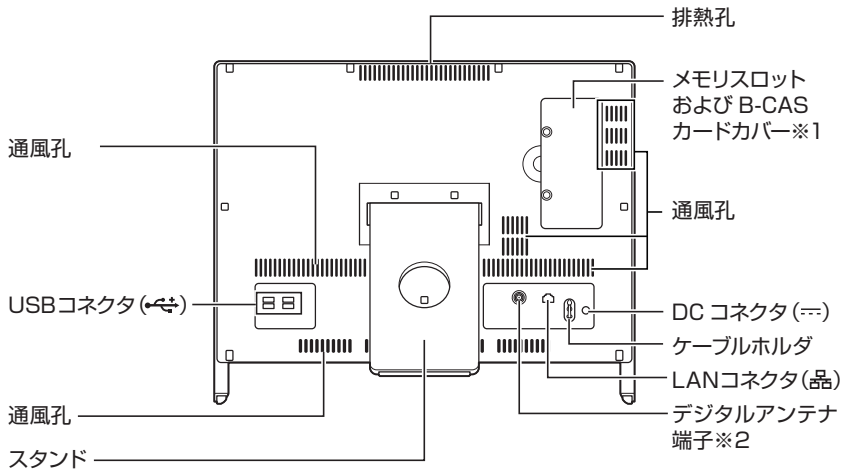
各部の名称

● **本体前面**

①内蔵ドライブアクセスランプ　②電源ランプ

詳しくは、「各部の名称と役割」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索)をご覧ください。

●本体左側面/右側面

イラストはモデルによって異なります。

※:HDMI入力端子を搭載しているモデルのみ

●本体背面

イラストはモデルによって異なります。

※1: B-CASカードは地デジ/BS/110度CS·ダブルチューナーモデル、およびMedia Center TVモデルのみ使用します。
※2: 地デジ/BS/110度CS·ダブルチューナーモデル、およびMedia CenterTVモデルのみ

詳しくは、「各部の名称と役割」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索)をご覧ください。

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

⚠注意	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

	してはいけないことや、必ずしていただきたいこと、とくに大切な注意を説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、人が傷害を負ったり、費用が必要になったりする可能性があります。また、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性もあります。
	注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	パソコンをお使いになる際のヒントやポイントとなる説明です。
	関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーおよびリモコンのボタンを指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)、またはDVDスーパーマルチドライブを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト&サポートナビゲーター」は、タスクバーの(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。

◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例) 検索番号が「91060010」の場合

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

次ページの表をご覧になり、ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、またはブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。
ブルーレイディスクドライブ(BDXL™対応)モデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。
高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル	IEEE802.11a(5GHz)、IEEE802.11b/g(2.4GHz)、およびIEEE802.11n(2.4/5GHz)の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル	IEEE802.11b/g(2.4GHz)およびIEEE802.11n(2.4GHz)の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
Windows 7 Home Premiumモデル	Windows 7 Home Premiumがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows 7 Professionalモデル	Windows 7 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことです。

Office 2010モデル
Office Personal 2010またはOffice Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。

Office Personal 2010モデル
Office Personal 2010が添付されているモデルのことです。

Office Home & Business 2010モデル
Office Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。

TVモデル
デジタル放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。

SmartVision TVモデル
デジタル放送と、ひかりTVを見るための機能として「SmartVision」を搭載しているモデルのことです。

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル
地上/BS/110度CSデジタル放送と、ひかりTVを見るための機能として「SmartVision」を搭載し、2つのチューナー(レコーダー)によって同じ時間帯に放送されている番組を2つまで録画できるモデルのことです。

ワイヤレスTVデジタル添付モデル
地上/BS/110度CSデジタル放送と、ひかりTVを見るための機能として「SmartVision」を搭載し、ワイヤレスLANを使ってデジタル放送をパソコンに送信する「ワイヤレスＴＶデジタル」が添付されたモデルのことです。

Media Center TVモデル
デジタル放送を見るための機能として「Media Center テレビ」を搭載しているモデルのことです。

リモコン添付モデル
リモコンが添付されているモデルのことです。

3D対応モデル
3D映像や3D画像の再生に対応しているモデルのことです。

<table>
<tr><td>シリーズ名:
VALUESTAR N</td><td colspan="6">表記の区分</td></tr>
<tr><td>型名(型番)</td><td>BD/DVD/CD
ドライブ※1</td><td>TV機能</td><td>ワイヤレスLAN</td><td>3D機能</td><td>OS</td><td>添付ソフト</td></tr>
<tr><td>VN790/FS
(PC-VN790FS)※2</td><td rowspan="3">ブルーレイディスクドライブモデル</td><td rowspan="3">地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル</td><td rowspan="4">高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル</td><td>3D対応モデル</td><td rowspan="4">Windows 7 Home Premiumモデル</td><td rowspan="4">Office Home & Business 2010モデル</td></tr>
<tr><td>VN770/FS6□
(PC-VN770FS6□)
※2、※3</td><td rowspan="3">–</td></tr>
<tr><td>VN570/FS6□
(PC-VN570FS6□)
※2、※3</td></tr>
<tr><td>VN370/FS6□
(PC-VN370FS6□)※3</td><td>DVDスーパーマルチドライブモデル</td><td>Media Center TVモデル</td></tr>
</table>

※1:BDとはブルーレイディスクのことです。
※2:HDMI入力端子が搭載されています。
※3:本体の色によって□の中に異なる英数字が入ります。

<table>
<tr><td>シリーズ名</td><td>カラー</td><td>型名(型番)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">VALUESTAR N</td><td>ファインホワイト</td><td>VN770/FS6W(PC-VN770FS6W)
VN570/FS6W(PC-VN570FS6W)
VN370/FS6W(PC-VN370FS6W)</td></tr>
<tr><td>ファインブラック</td><td>VN770/FS6B(PC-VN770FS6B)
VN570/FS6B(PC-VN570FS6B)
VN370/FS6B(PC-VN370FS6B)</td></tr>
<tr><td>クランベリーレッド</td><td>VN770/FS6R(PC-VN770FS6R)
VN570/FS6R(PC-VN570FS6R)
VN370/FS6R(PC-VN370FS6R)</td></tr>
</table>

◆VALUESTAR Gシリーズについて

VALUESTAR Gシリーズの各モデルについては、添付の『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

◆本文中の記載について

- 本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
- 記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。
- このマニュアルには、複数のモデルの内容が含まれているため、お使いのモデルによっては、本文中で説明している機能が搭載されていない場合があります。

◆周辺機器について

- 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
- 他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆イラストについて

このマニュアルでは、各モデルで操作方法に大きな違いがない場合は、地デジ/BS/110度CS·ダブルチューナーモデルで、HDMI入力端子が搭載されているモデルのイラストのみを掲載しています。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 7	Windows® 7 Starter with Service Pack 1（SP1） Windows® 7 Home Premium with Service Pack 1（SP1） Windows® 7 Professional with Service Pack 1（SP1）
Office Personal 2010	Microsoft® Office Personal 2010
Office Home & Business 2010	Microsoft® Office Home and Business 2010
Office IME 2010	Microsoft® Office IME 2010
Word 2010	Microsoft® Office Word 2010
Excel 2010	Microsoft® Office Excel® 2010
Outlook、Outlook 2010	Microsoft® Office Outlook® 2010
PowerPoint 2010	Microsoft® Office PowerPoint® 2010
OneNote 2010	Microsoft® Office OneNote® 2010
Office ナビ 2010	Microsoft® Office ナビ 2010
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
Windows Media Center	Windows® Media Center
タスクバー	Windows® タスクバー
Windows Update	Windows® Update

Windows 転送ツール	Windows® 転送ツール
Windows Live メール	Windows Live® メール 2011
ユーザー アカウント制御	Windows® ユーザー アカウント制御
インテル ワイヤレス・ディスプレイ	インテル® ワイヤレス･ディスプレイ
ファイナルパソコンデータ引越し	ファイナルパソコンデータ引越し 7 ™ ライト for NEC
ウイルスバスター	ウイルスバスター2011 クラウド™
らくらく無線スタートEX	らくらく無線スタート® EX

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守･修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseまたはWindows® 7 Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

商標について

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Excel、Office ロゴ、OneNote、Outlook、PowerPointは、米国Microsoft Corporationおよび/またはその関連会社の商標です。
Windows Live は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
インテル、Intel、Pentium、Celeron、Intel Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
Blu-ray Disc™、Blu-ray™ および BDXL™ はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
PS/2はIBM社が所有している商標です。
Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECはライセンスに基づきこのマークを使用しています。
SDXC、SDHC、SD、microSDHC、microSD、ロゴはSD-3C, LLCの商標です。
MEMORY STICK、“Memory Stick”、“メモリースティック”、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック デュオ”、“MagicGate”、“マジックゲート”、“マジックゲート メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG”、“メモリースティック マイクロ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
BIGLOBEはＮＥＣビッグローブ株式会社の登録商標です。
「Yahoo!」は、Yahoo!Inc.の登録商標です。
ヤフー株式会社は、これに関する権利を有しています。
DigiOn、DiXiMは株式会社デジオンの登録商標です。
MaxxAudio、MaxxBass、MaxxVolume、MaxxTreble、MaxxStereo、MaxxDialog、WAVES MAXX AUDIO はアメリカ合衆国およびその他の国々におけるWaves Audio, Ltd.の登録商標です。
ファイナルパソコン引越しおよびファイナルパソコンデータ引越しはAOSテクノロジーズ株式会社の日本における商標です。
PCMoverは、米国における米国 Laplink Software 社の登録商標です。
e-move™およびe-moveロゴはパナソニック株式会社の商標です。
SmartVision、FontAvenue、Aterm、WARPSTARは、日本電気株式会社の登録商標です。
らくらく無線スタートは、NECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

準備・基本編

トラブル予防・解決編

トラブル予防・解決編

トラブル予防・解決編

テレビの視聴に関するQ&Aは、『テレビを楽しむ本』の「Q&A」をご覧ください。

※添付されるマニュアルは、モデルによって異なります。
また、表紙のデザインは、お使いのモデルによって異なる場合があります。
※Media Center TVモデルの『テレビを楽しむ本』は、「電子マニュアルビューア」でご覧いただけます。詳しくは、『テレビセットアップマニュアル』または、「準備・基本編」第1章の「「電子マニュアルビューア」について」をご覧ください。

付　録 ―――――――――――――――――――――――― 3-1

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.
Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Personal Computers, Ltd.

準備・基本編

第1章

セットアップの前に

この章では、添付品の確認や電源コードの接続など、パソコンの箱を開けて電源を入れる前におこなうことについて説明します。

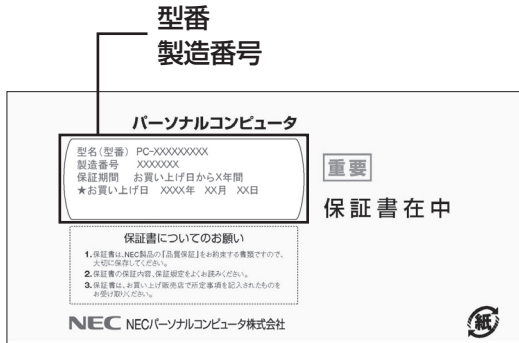
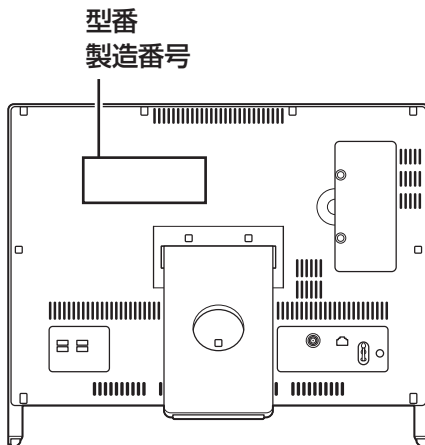
製品を確認する

保証書と本体のラベルの記載内容が一致していることを確認してください。

●保証書

型番
製造番号

●パソコン背面

型番
製造番号

重要

- ラベルに記載された番号が保証書と異なっている場合、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）(p.1-3)にお問い合わせください。
- 保証書は、所定事項（販売店名、お買い上げ日など）が記入されていることを確認し、保管してください。
- 保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容に基づいて修理いたします。保証期間終了後の修理についてはNECサポート窓口（121コンタクトセンター）にお問い合わせください。

持ち運び時の注意

⚠注意

- **本体を設置したり移動したりするときは、必ず両手で本体を持ち上げてください。**
  片手でスタンドなどの本体ではない部分をつかんで持ち上げてしまうと破損の原因になります。
- **本体使用中および使用直後は、排熱孔および通風孔部分が高温となっていることがありますので触れないでください。**
  やけどの原因になることがあります。電源を切った後、しばらくたってから持ち運びをしてください。

添付品を確認する

・ 添付の『添付品を確認してください』を見ながら、添付品がそろっているかを確認してください。
・ VALUESTAR Gシリーズをご購入の場合は、『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧になり、添付品を確認してください。

添付品が足りないときは

万一、足りないものがあったり、添付品の一部が破損していたときは、すぐに下記までお問い合わせください。

●NECサポート窓口(121(ワントゥワン)コンタクトセンター)

フリーコール 0120-977-121

※音声ガイダンスにしたがって、「故障診断・修理受付」を選択してください。

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

※携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、上記電話番号をご利用いただけないお客様は次の電話番号へおかけください。
03-6670-6000(通話料お客様負担)

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の詳しい情報は、「トラブル予防・解決編」第5章の「NECのサポート窓口に電話する」をご覧ください。

「電子マニュアルビューア」について

このパソコンに添付されているマニュアルや、TVモデルでテレビを楽しむための詳しい説明を記載したマニュアルなどをNECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」の「電子マニュアルビューア」でご覧いただくことができます。また、ご購入時以降のさまざまな情報に対応した、最新のマニュアルをご覧いただける場合もあります。

「電子マニュアルビューア」はインターネットに接続後、次のURLからご利用いただけます。
(http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm)

TVモデルのマニュアル

TVモデルでは、添付されているマニュアルのほかに、テレビを楽しむための機能や設定について詳しい説明を記載した次のマニュアルを用意しています。TVモデルをご購入いただいたかたは、テレビを楽しむ際に、添付されているマニュアルと合わせてご覧ください。

●『ひかりTVを楽しむ本』(SmartVision TVモデルのみ)

「ひかりTV」の各機能について詳しく説明しています。「電子マニュアルビューア」の次のURLからご覧いただけます。
(http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201109/etv/v1/mst/853_811064_116_a.pdf)

参照
→『ひかりTVを楽しむ本』
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 90010050 で検索

※「ひかりTV」の初期設定や基本的な操作方法などについては、添付の『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

●『テレビを楽しむ本』(Media Center TVモデルのみ)

「Media Center テレビ」の各機能について詳しく説明しています。「電子マニュアルビューア」の次のURLからご覧いただけます。
(http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201109/etv/v1/mst/853_811064_117_a.pdf)

参照
→『テレビを楽しむ本』
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 90010050 で検索

※「Media Center テレビ」の初期設定や基本的な操作方法などについては、添付の『テレビセットアップマニュアル』をご覧ください。

パソコンの置き場所を決める

ここでは、パソコンを設置する場所について説明します。

パソコンを設置する場所

パソコンは次のような場所に置いてください。

●屋内

●しっかりした台の上
パソコンの重さを支えられる机やテーブルの上に設置してください。

●温度は10 ～ 35℃、湿度は20 ～ 80%

●ほこりの少ない場所

●コンセントや電話回線の近く
本体や周辺機器に接続した電源コード、LANケーブルなどが届く範囲に設置してください。

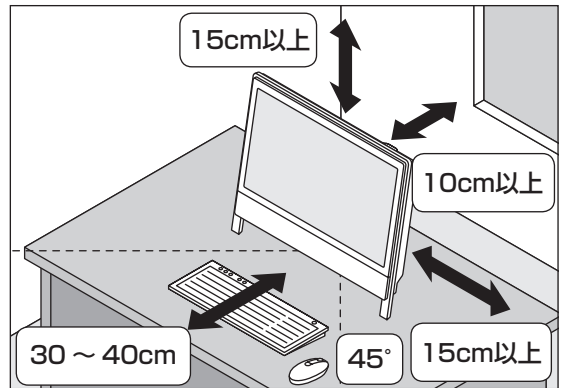
パソコンの周囲のスペースについて

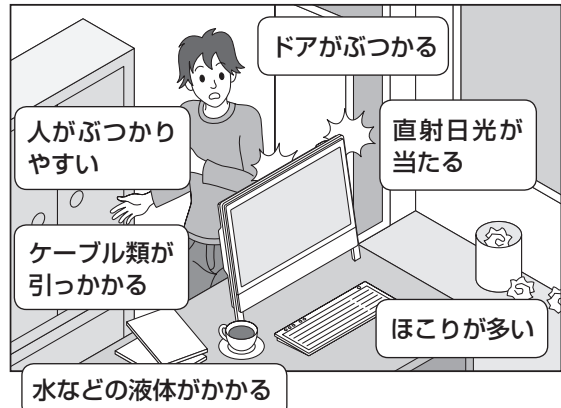
快適に操作するため、また、機器の故障を防ぐため、パソコンの周囲にはスペースを確保してください。

●本体前に30 ～ 40cm
キーボードを置いて、マウスを操作できるスペースが必要です。キーボードとマウスは、パソコン本体から45度の範囲で使用することをおすすめします。

●本体後ろ側に10cm以上
排熱孔や通風孔の放熱を妨げないように壁などから10cm以上離して設置してください。ケーブルの接続、本体の角度調節などの作業をしやすくするためには、50cm程度のスペースを確保することをおすすめします。

●本体上面および側面に15cm以上
DVD/CDドライブを使用するため、また排熱孔や通風孔の放熱を妨げないように15cm以上の空間を確保してください。

●排熱孔および通風孔について
パソコン本体の排熱孔および通風孔を紙などでふさがないようにしてください。ふさいだまま使用すると、内部の温度が上昇して故障などの原因になります。

パソコンを設置してはいけない場所

故障などの原因になるため、次のような場所には置かないでください。

パソコンの近くに置いてはいけないものについて

次のものはパソコンの近くに置かないでください。

●磁気や電波を発生するもの
パソコンの近くに磁気や電波を発生するもの(テレビ、ラジオ、スピーカ、コードレス電話、携帯電話など)を置くと、パソコンのディスプレイの映像が乱れたり、スピーカから雑音が出ることがあります。また、これらの機器とパソコンは相互に影響を与えるため、逆にテレビの映像が乱れたり、ラジオやコードレス電話から雑音が出ることもあります。扇風機や温風式こたつなども磁気を発生するため、パソコンの近くには置かないでください。

●**熱を発生するもの**

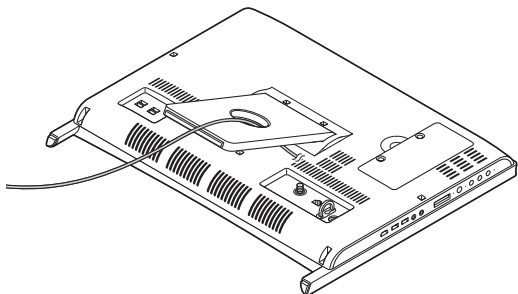
パソコンの近くに暖房機などを置くと、熱によってパソコンが変形したり異常な動作をすることがあります。

その他、設置に関するご注意

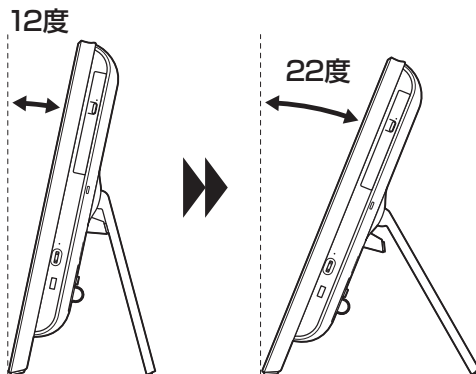
●**コンセントについて**

- テレビやラジオのコンセントとは、別のコンセントに接続してください。同じコンセントに接続するとテレビやラジオから雑音が出ることがあります。
- 電源コードはできるだけ直接コンセントに接続してください。コンセントが足りず、パソコン用のテーブルタップを使うときは、テーブルタップの許容電力を守ってください。

●**ケーブルについて**

- アンテナケーブルや電源コードを、本体背面のスタンドに通すことができます。
  ケーブルをスタンドに通すと、キーボードを本体の下に収納しやすくなります。

- ケーブルを引っかけて機器を落とさないようにしてください。小さなお子様がいるご家庭では特にご注意ください。

パソコン本体の角度調節

このパソコンのディスプレイ部分は、次の図の範囲内で角度調節が可能です。

重要

- **本体が落下しないように、十分なスペースを確保してから調節してください。**
- **スタンドの付け根に取り付けられている部品は取り外さないでください。**

パソコン本体を固定する(転倒防止)

このパソコンには、転倒防止用フックが付いています。地震が起きたときや、パソコンにぶつかったときなど、パソコン本体の転倒・落下などによるけがを防止するために、転倒防止用フックを使って、パソコン本体を固定してください。

⚠注意

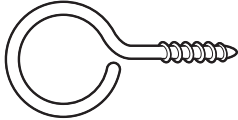
- 地震などでの製品の転倒・落下によるけがを防止するために、転倒・落下防止対策をおこなってください。
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。
  また、転倒・落下防止対策は、けがなどの防止を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

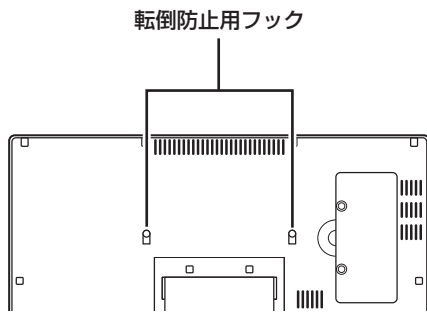
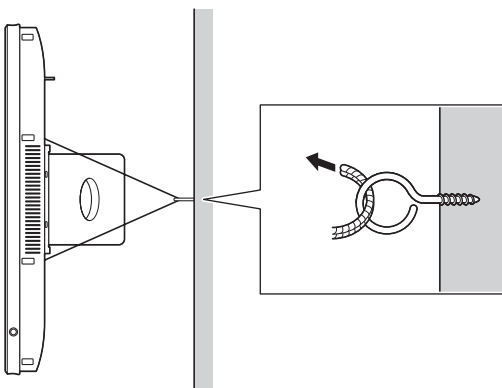
パソコン本体を固定する前に、ケーブルなどすべての接続を完了してください。

●用意していただくもの

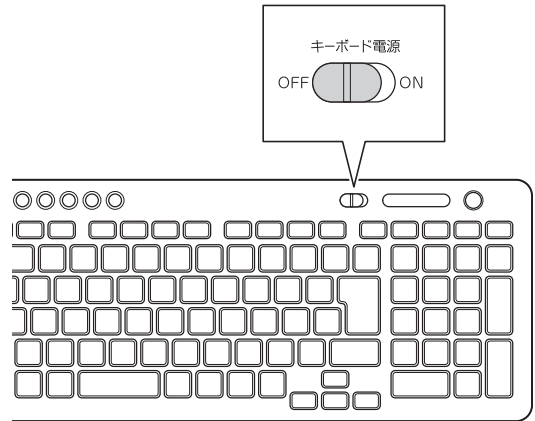
パソコン本体を固定するには、次のものが必要です。市販のものを用意してください。

・ 固定用金具

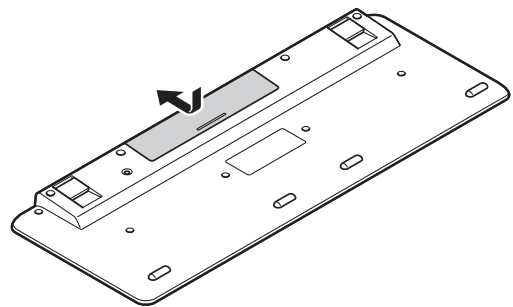
次のようなひもが外れない形状で、十分な強度を持った固定用金具をお使いください。

・ 丈夫なひも

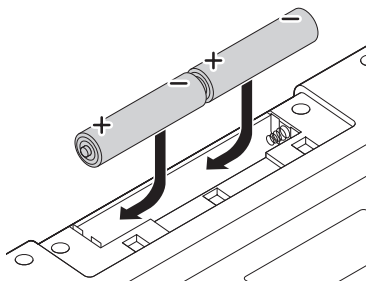
●転倒防止用フックに固定する

次のように丈夫なひもでしっかりした壁や柱にパソコン本体を固定してください。また、パソコン本体を一番起こした状態で、たるみがないようにひもの長さを調節してください。

キーボードを使う準備をする

手順1 キーボード右上のキーボード電源スイッチを「OFF」にする

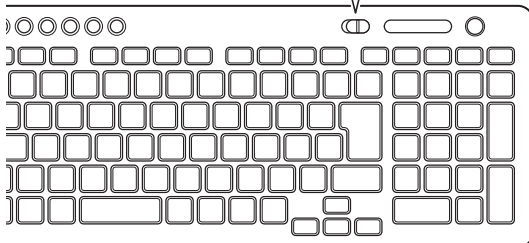
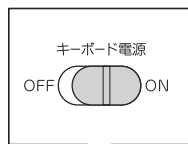
キーボード電源スイッチを左にスライドし、「OFF」になっているか確認してください。

手順2 キーボード裏面のカバーを外す

矢印の方向にカバーをスライドさせてください。

手順3 乾電池を入れる

単3形アルカリ乾電池、またはニッケル水素充電池を2本入れます。入れたらカバーをもとどおりにはめてください。

重要

・乾電池の＋(プラス)と－(マイナス)の向きを、電池ボックス内の表示どおりに入れてください。
・ご使用の環境や方法にもよりますが、キーボードの電池寿命は、アルカリ乾電池で連続使用した場合、最大約1000時間です。
・マンガン乾電池、オキシライド乾電池は使用できません。

手順4 キーボード右上のキーボード電源スイッチを「ON」にする

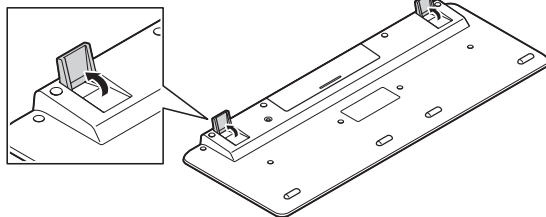
キーボード電源スイッチを右にスライドし、「ON」にしてください。

重要

キーボードを長時間使わないときは、キーボード右上のキーボード電源スイッチを「OFF」にしておくと、乾電池が長持ちします。

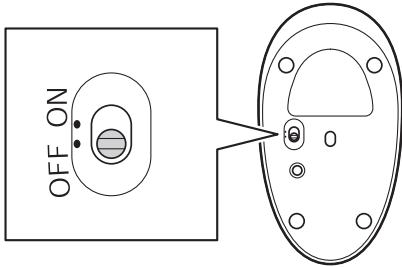
参考

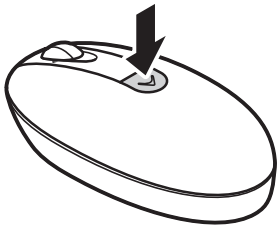
キーボードがうまく動作しないときは、付録の「キーボードやマウスを登録しなおす」(p.3-3)をご覧ください。

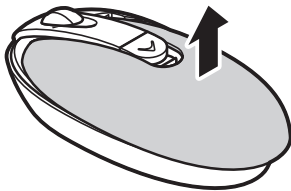
キーボードの足を立てる

お好みでキーボードの足を立てて使うこともできます。

マウスを使う準備をする

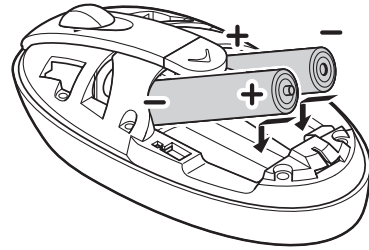
手順1 マウス底面のON/OFFスイッチを「OFF」にする

マウス底面のON/OFFスイッチを下にスライドし、「OFF」になっているか確認してください。

手順2 マウス上面のボタンを押す

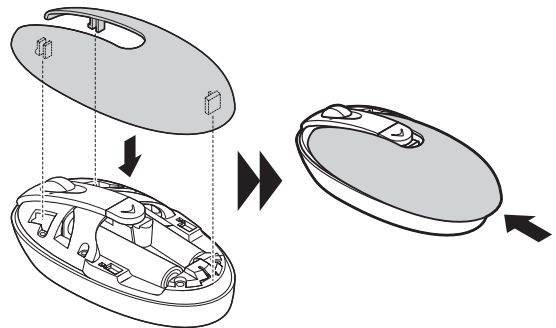
カバーのロックが外れます。

手順3 カバーを外す

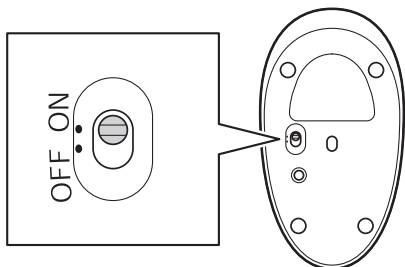
カバーを上に持ち上げて外します。

手順4 乾電池を入れる

図のように、単3形アルカリ乾電池、またはニッケル水素充電池をマウスの前方に向けて押し込んでから、後方を端子に合わせて入れてください。

重要

- 乾電池の＋（プラス）と－（マイナス）の向きを、電池ボックス内の表示どおりに入れてください。
- マウスの後方の端子が変形しないように乾電池を入れてください。
- マンガン乾電池、オキシライド乾電池は使用できません。

手順5 カバーをもとどおりはめる

カバーのツメが穴に入るようにはめこみ、マウスの前方に向かってカチッと音がするまでスライドさせてください。

手順6 マウス底面のON/OFFスイッチを「ON」にする

マウス底面のON/OFFスイッチを上にスライドし、「ON」にしてください。

重要

・レーザーが出ている穴の部分を見つめると、視力に障害が起こる可能性があるので見つめないように注意してください。
・マウスの電池寿命は、ご使用の環境や方法にもよりますが、連続して操作した場合、最大約150時間です。
・マウスを長時間使わないときは、マウス底面のON/OFFスイッチを「OFF」にしておくと、乾電池が長持ちします。

参考

マウスがうまく動作しないときは、付録の「キーボードやマウスを登録しなおす」(p.3-3)をご覧ください。

この後の作業はモデルによって異なります。

●地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルおよびMedia Center TVモデルの場合
次の「テレビを見るための準備」に進んでください。

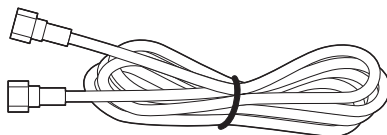
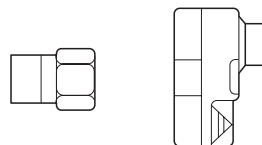
●地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルおよびMedia Center TVモデル以外の場合
「ACアダプタを接続する」(p.1-17)に進んでください。

テレビを見るための準備

ここでは、地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルおよびMedia Center TVモデルでテレビのアンテナに接続するためのケーブルや機器類、テレビを受信するための環境、および、ご自宅の受信環境に合わせたアンテナへの接続方法など、テレビを見る前に知っておいていただきたいことについて説明しています。
ここでの説明をお読みいただいてから、「アンテナケーブルを接続する」(p.1-13)に進んでください。
また、ワイヤレスTVデジタル添付モデルのかたは初回セットアップが終了した後にテレビを見るための準備をおこないます。ここでの説明を読まずに「ACアダプタを接続する」(p.1-17)へ進んでください。

テレビを見るために用意していただくもの

次のものは本機に添付されておりません。必要に応じて市販のものを用意してください。

●必ず用意していただくもの
・ F型コネクタ付きアンテナケーブル

F型コネクタには、ネジタイプのものと箱型のものがあります。パソコンのアンテナ端子にはネジタイプのプラグを取り付けてください。

ネジタイプ　　箱型

・ プラスドライバー
本体背面のカバーを取り外すときに使います。ドライバーの代わりに10円硬貨などのコインを使うこともできます。

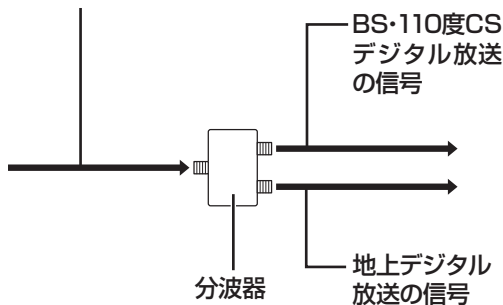
●必要に応じて用意していただくもの

ここでは代表的なものについてご紹介します。受信環境によって使用するものが異なります。たとえば、地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルでBS・110度CSデジタル放送を視聴する場合、BS・110度CSデジタル放送用アンテナに電源を供給する必要があります。その際、電源供給機能付きブースターなどの機器が必要になることがあります。ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

・分波器

複数の信号がまとめて送られている信号線(アンテナ線)から、それぞれの信号を分けて出力する機器です。Media Center TVモデルで地上デジタル放送を視聴する場合、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が、ひとつのアンテナ端子にまとめて供給されているときに必要です。詳しくは、「アンテナケーブルを接続する」(p.1-13)をご覧ください。

例

BS・110度CSデジタル放送と
地上デジタル放送が混合された信号

・分配器

1つの受信電波を複数のテレビ(またはテレビ機能を搭載したパソコンなど)に分配する機器です。

・混合器

複数の放送電波を1本のアンテナ線に混合してまとめる機器です。地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルで、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が2つの端子に分かれて供給されている場合に必要です。

・ブースター

受信した電波が弱いとき、増幅する機器です。

・アッテネーター

受信した電波が強すぎるとき、減衰する機器です。

テレビを受信するためには

地上デジタル放送を受信するためには

地上デジタル放送はUHFで放送されています。視聴するためには次のことを確認してください。

TVをケーブルテレビで見ていますか?
→ 見ている ▶「ケーブルテレビをご利用の場合」(p.1-13)
→ 見ていない ↓

すでにTVなどで地上デジタル放送を見ていますか?
→ 見ている 地上デジタル放送を視聴できます。アンテナケーブルの接続状態によっては対策をする必要があります。※
→ 見ていない ↓

お住まいは集合住宅ですか?戸建て住宅ですか?
→ 集合住宅 ▶「集合住宅にお住まいの場合」(p.1-12)
→ 戸建て住宅 ↓

お住まいにUHFアンテナは立っていますか?
→ 立っていない 地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを設置する必要があります。
→ 立っている ↓

地上デジタル放送を視聴できます。必要に応じて、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを設置したり、すでに立っているUHFアンテナの方向を調節してください。

※分波器や分配器などを取り付けるなどの対策が必要になることがあります。

アンテナの設置や状態など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

BS・110度CSデジタル放送を受信するためには（地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル）

●BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナが正しく設置されていること

BS・110度CSデジタル放送に対応した衛星アンテナが必要です。

また、アンテナが衛星に向けて設置されている必要があります。

※従来のBS・110度CSアナログ放送用のアンテナでは、受信できないことがあります。

・アンテナを、アンテナ電源の供給が常時可能なほかのデジタル機器（テレビ、レコーダー、電源供給機能付きのブースターなど）と共有している場合

→ほかのデジタル機器からアンテナに電源を供給します。各機器のマニュアルなどを確認し、アンテナへの電源供給を有効にする設定にしておくことが必要です。

・アンテナを、地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルのみに接続する場合、または、アンテナ電源の供給機能がないデジタル機器や、供給が中断することがあるデジタル機器と共有している場合

→別途、市販の電源供給器や電源供給機能付きのブースターなどが必要です。

デジタル機器の電源供給機能の有無や設定方法については、各機器のマニュアルなどをご確認ください。

アンテナへの電源供給については、（http://121ware.com/catalog/dtv/）をご覧ください。

●有料放送については申し込みが済んでいること

有料放送は、視聴するための申し込みが必要です。

重要

・衛星デジタル放送の信号を地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルと他テレビなどに分配する分配器には、電流通過型をご使用ください。

・アンテナの状態など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

視聴できない放送について

●Media Center TVモデル

地上アナログ放送を視聴することはできません。

BS・110度CSデジタル放送を視聴することはできません。

●地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル

地上アナログ放送を視聴することはできません。

アンテナケーブルの接続前に確認すること

地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送の信号の供給方法によって、アンテナの接続方法は異なります。

接続する前に、ご自宅のアンテナの接続状態を確認してください。

重要

・ここでは一般的な接続例について説明しています。テレビのご利用環境によって、ご用意いただくもの（ケーブル、分波器、分配器など）が異なります。

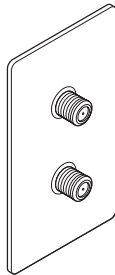
・集合住宅にお住まいのかたやケーブルテレビをご利用のかたは必要に応じて、「その他のご注意」（p.1-12）もあわせてご覧ください。

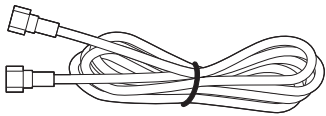
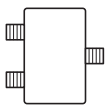
・使用するケーブルなど、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

ご家庭のアンテナ端子について

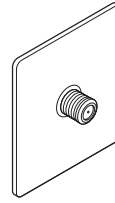
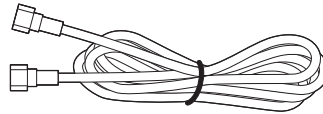
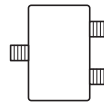
一般的なご家庭では、屋外のアンテナからの信号線やケーブルテレビの信号線が、屋内の壁に取り付けられたアンテナ端子に接続されています。
信号線の接続方法によって、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が、個別のアンテナ端子に供給されている場合と、ひとつのアンテナ端子にまとめて供給されている場合があります。

壁側のアンテナ端子が2つの場合

BS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子および地上デジタル放送のアンテナ端子

※建物によってはこれ以外の形のアンテナ端子が設置されていることもあります。

接続に使うもの

F型コネクタ付きアンテナケーブル

混合器
(地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデル)

壁側のアンテナ端子が1つの場合

BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送が混合されたアンテナ端子

接続に使うもの

F型コネクタ付きアンテナケーブル

分波器
(Media Center TVモデル)

重要

- アンテナ端子の状況など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。
- アンテナ端子が1つの場合、地上デジタル放送の信号だけ供給されていたり、BS・110度CSデジタル放送の信号だけ供給されている場合があります。ご家庭のアンテナ端子がどの放送波に対応しているかをご確認の上、接続をおこなってください。

壁側のアンテナ端子を確認したら、「アンテナケーブルを接続する」(p.1-13)に進んでください。

その他のご注意

集合住宅にお住まいの場合

マンションなどの集合住宅にお住まいの場合は、次の点にご注意ください。

- 地上デジタル放送を受信できるかどうか、管理組合や管理会社にご確認ください。

・地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルではBS・110度CSデジタル放送を受信できるかどうか、管理組合や管理会社にご確認ください。
・共聴受信の場合は、「ご家庭のアンテナ端子について」(p.1-12)の「壁側のアンテナ端子が1つの場合」の説明にしたがって接続してください。なお、お住まいの集合住宅の受信形態によってはテレビが受信できない場合があります。詳しくは、集合住宅の管理者かお近くの電器店にご相談ください。

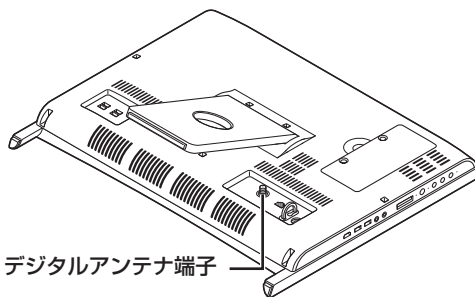
ケーブルテレビをご利用の場合

ケーブルテレビをご利用の場合は、次の点にご注意ください。
・ケーブルテレビ事業者が次のいずれかで地上デジタル放送を再配信しているときは、地上デジタル放送を視聴することができます。
  ・同一周波数パススルー方式
  ・周波数変換パススルー方式
  これら以外の方式の場合は、地上デジタル放送が視聴できません。お近くの電器店などにご相談ください。
・ケーブルテレビ事業者により、視聴制限(スクランブル)を設定されたチャンネルは受信できません。
・ケーブルテレビで受信可能な放送については、ケーブルテレビ局にお問い合わせください。
・ケーブルテレビ用端末機器(セットトップボックスやホームターミナルなど)をお持ちの場合は、端末機器の端子※とこのパソコンのデジタルアンテナ端子を接続してください。
  ※端末機器によって、「分配出力」、「CATV(下り)」、「UHF出力」などの名称になっています。端末機器に添付されているマニュアルをご覧ください。
・アンテナ線や受信環境について詳しくは、ケーブルテレビ局、またはお近くの電器店にご相談ください。

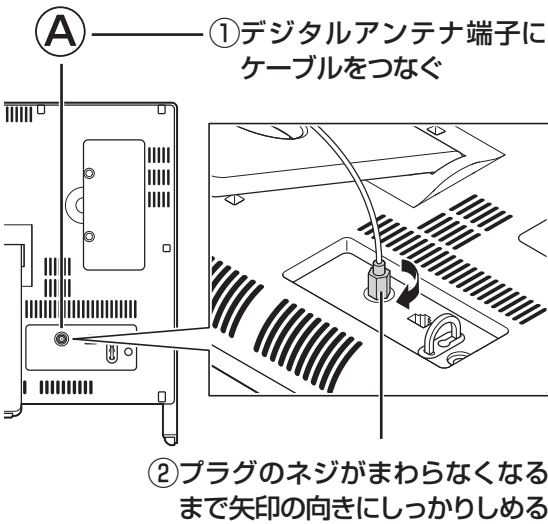
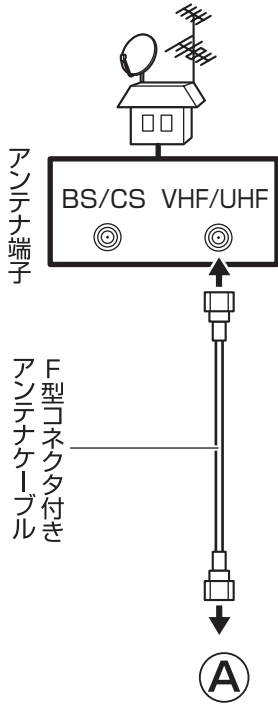
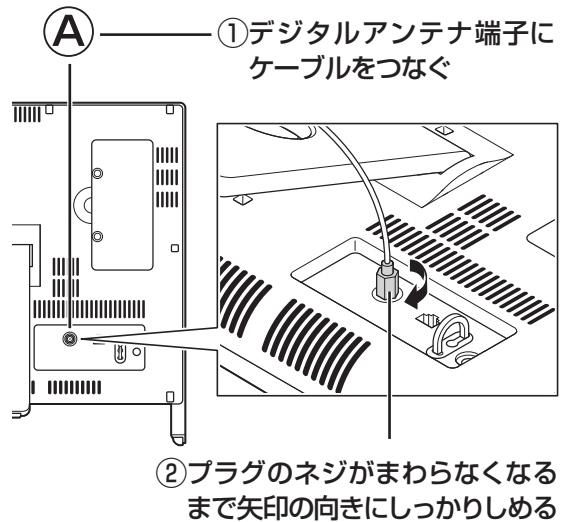
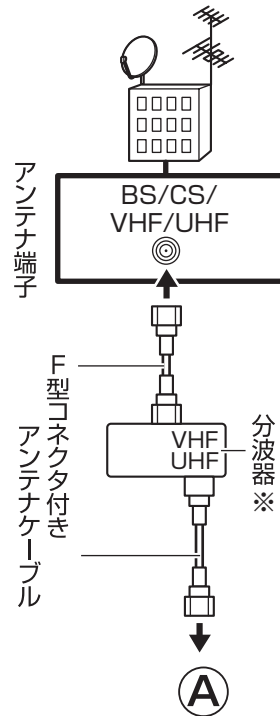
アンテナケーブルを接続する

ここでは、地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルおよびMedia Center TVモデルでアンテナケーブルを接続する手順について説明します。
あらかじめ、「テレビを見るための準備」(p.1-9)をお読みいただき、接続に使用するケーブルや機器類、テレビを受信するための環境、および、ご自宅の受信環境に合わせたアンテナの接続方法を確認してください。

アンテナケーブルを接続するときのご注意

・アンテナケーブルを取り付ける際には、ディスプレイ側を下にして本体を伏せてください。本体を伏せるときはディスプレイを傷つけないよう、厚手の紙や布などを下に敷いてください。

・プラグのネジは、まわらなくなるまでしっかりしめてください。
・アンテナケーブルを接続するときや取り外すときは、パソコンの電源が入っていないことを確認してから作業をおこなってください。
・Media Center TVモデルで地上デジタル放送を視聴する場合、壁側のアンテナ端子がひとつで、BS/CS/UHFの放送波が混合されているときは、「壁側のアンテナ端子が1つの場合」(p.1-14)を参照し、必ず分波器を接続してください。分波器を接続しないと、テレビの映像が乱れることがあります。

Media Center TVモデルの場合

●壁側のアンテナ端子が2つの場合

アンテナケーブルを接続したら、「B-CASカードをセットする」(p.1-16)に進んでください。

●壁側のアンテナ端子が1つの場合

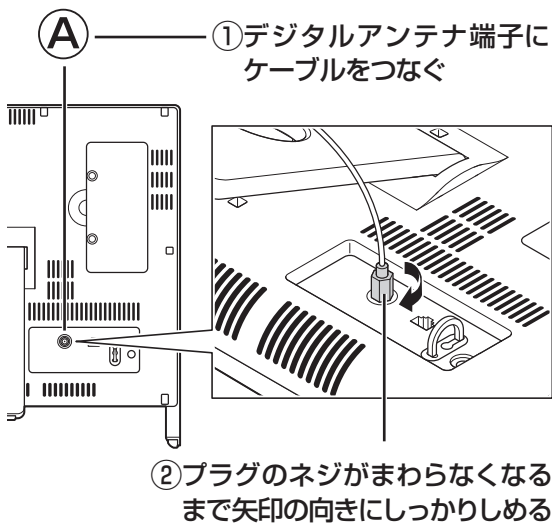
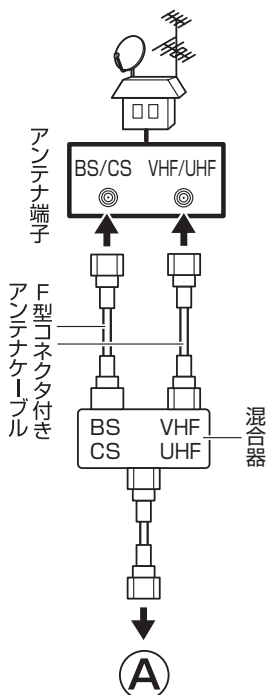
※壁側のアンテナ端子に地上デジタル放送の信号だけが供給されている場合は不要です。

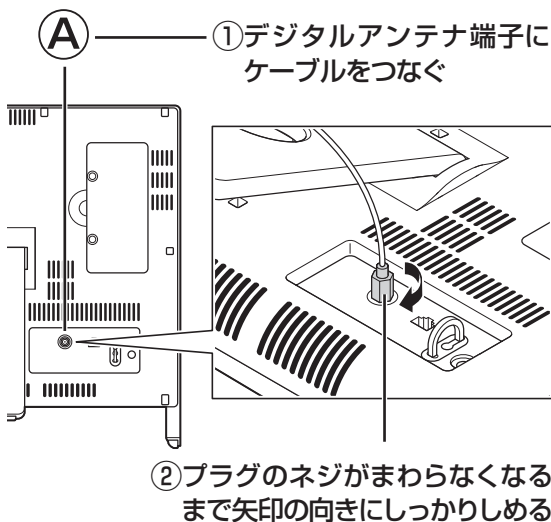
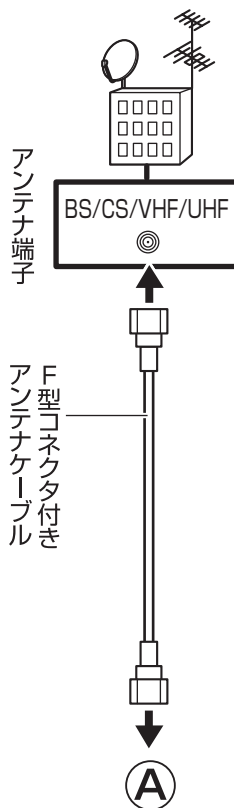
アンテナケーブルを接続したら、「B-CASカードをセットする」(p.1-16)に進んでください。

地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルの場合

重要

衛星デジタル放送を視聴する場合、電源供給器が必要な場合があります。詳しくは「BS・110度CSデジタル放送を受信するためには」(p.1-11)をご覧ください。

●壁側のアンテナ端子が2つの場合

アンテナケーブルを接続したら、「B-CASカードをセットする」(p.1-16)に進んでください。

●壁側のアンテナ端子が1つの場合

アンテナケーブルを接続したら、「B-CASカードをセットする」(p.1-16)に進んでください。

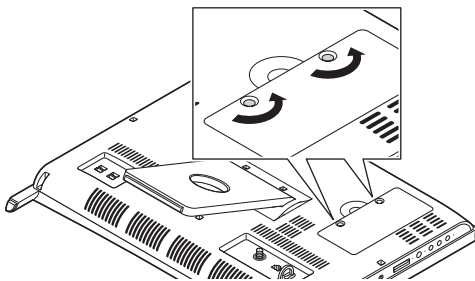
B-CASカードをセットする

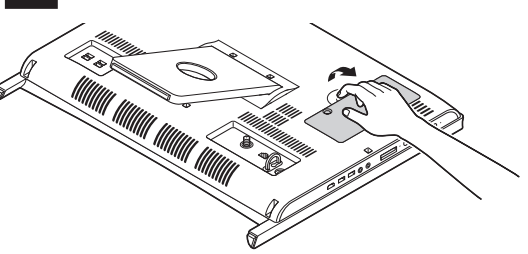
ここでは、地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルおよびMedia Center TVモデルでB-CASカードをセットする手順について説明します。ワイヤレスTVデジタル添付モデルのかたは、ここでの説明を読まずに「ACアダプタを接続する」(p.1-17)へ進んでください(B-CASカードはワイヤレスTVデジタルにセットします)。

重要
B-CASカードをセットするときや取り外すときは、パソコンの電源が入っていないことを確認してから作業をおこなってください。

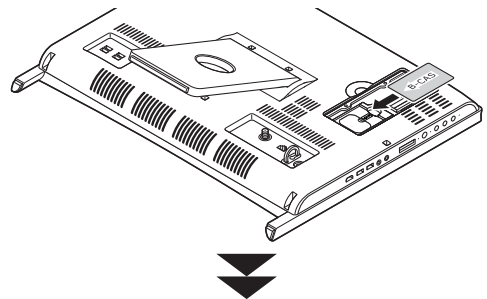
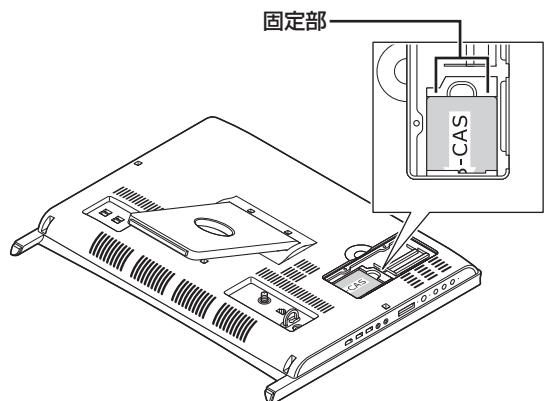
手順1 本体を、ディスプレイ側を下にして伏せる

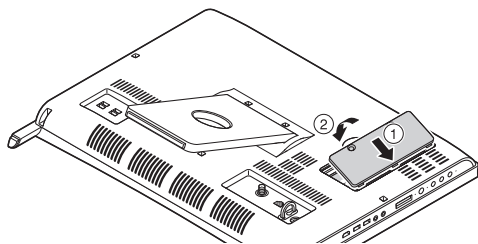
重要
本体を伏せるときは、ディスプレイを傷つけないよう、厚手の紙や布などを下に敷いてください。

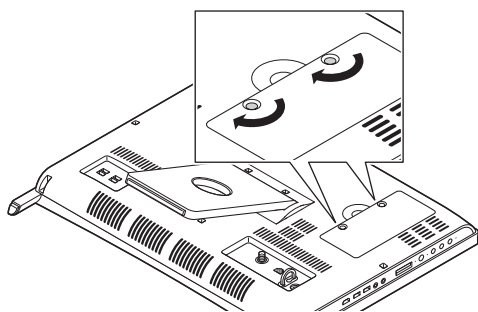
手順2 B-CASカードカバーのネジをゆるめて取り外す

重要
取り外したネジは、なくさないようご注意ください。

手順3 B-CASカードカバーのミゾに指をかけ、手前に引き上げて取り外す

手順4 B-CASカードをセットする

重要
B-CASカードの向きに注意してセットしてください。B-CASカードスロットには、B-CASカードの向きを示す刻印が付いています。

「B-CAS」の印刷面を手前にして、B-CASカードをセットしてください。

B-CASカードを固定部に収まるように奥まで押し込み、固定します。

手順 5 B-CASカードカバーをもとに戻す

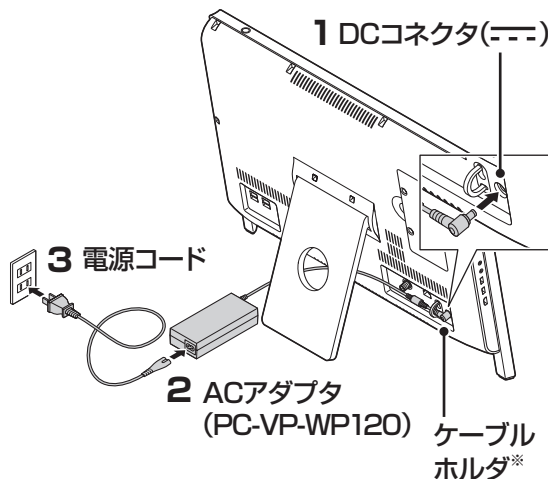
B-CASカードカバーを図の手順で取り付けます。

手順 6 B-CASカードカバーを固定する

取り外したネジを取り付けます。

参考

リモコンの使用方法については、「準備・基本編」第4章の「リモコン」(p.1- 49)に説明があります。「準備・基本編」の「第2章 セットアップする」が完了した後にご覧ください。

これでテレビを見るための準備は完了です。
次の「ACアダプタを接続する」へ進んでください。

ACアダプタを接続する

接続は次の図を見ながら、順番を守っておこなってください。
続けてWindowsのセットアップに進んでください。

※次の図のようにケーブルホルダを外しコードを固定してください。

矢印の方向に押して外す　コードを通し、固定する

重要

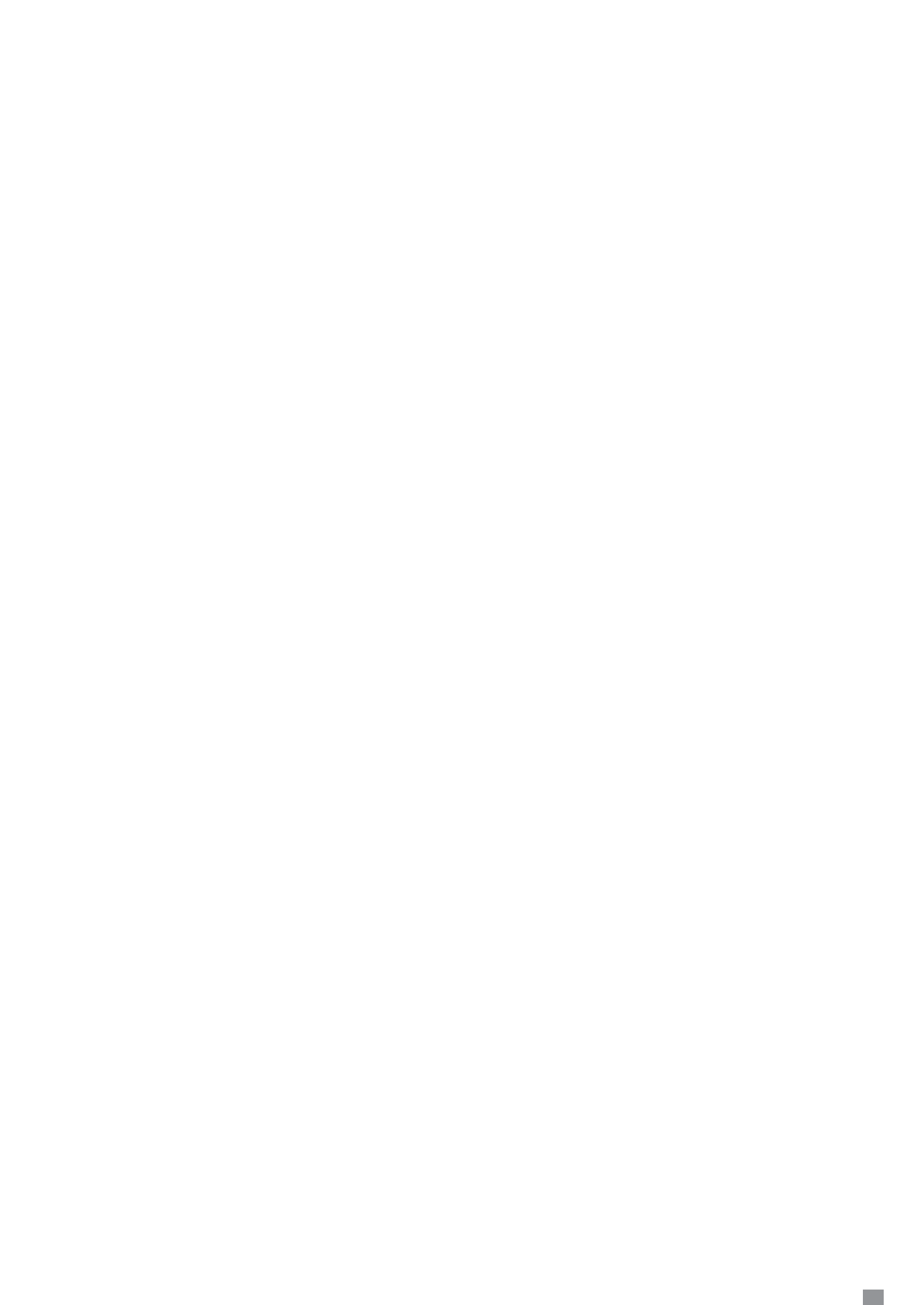
電源コードなどが人の通る場所にないことを確認してください。コードを足に引っかけたりするとパソコンの故障の原因になるだけでなく、思わぬけがをすることもあります。

参考

・ACアダプタを接続するときに、ケーブルを本体背面のスタンドに通すことができます。ケーブルをスタンドに通すと、本体の下にキーボードを収納しやすくなります。
・インターネットへの接続や周辺機器などの接続は、セットアップ作業が終わった後におこなってください。

これで接続は完了です。
「準備・基本編」の「第2章 セットアップする」に進んでください。

準備・基本編

第2章

セットアップする

この章では、パソコンの電源を入れて最初におこなう設定(セットアップ)やセットアップ後におこなう作業、パソコンの電源を入れる/切る操作について説明します。

この章の所要時間：20～40分程度

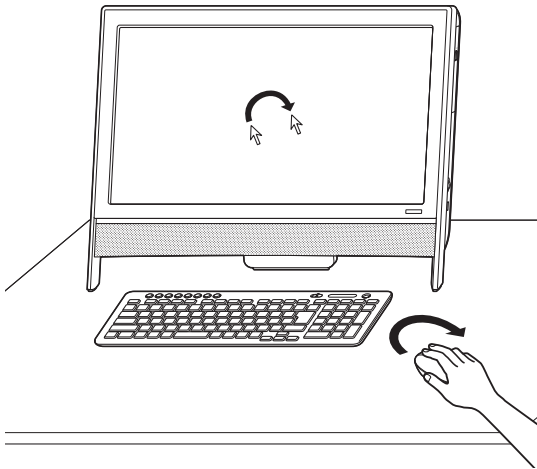
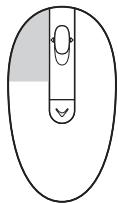
セットアップ前の確認

重要

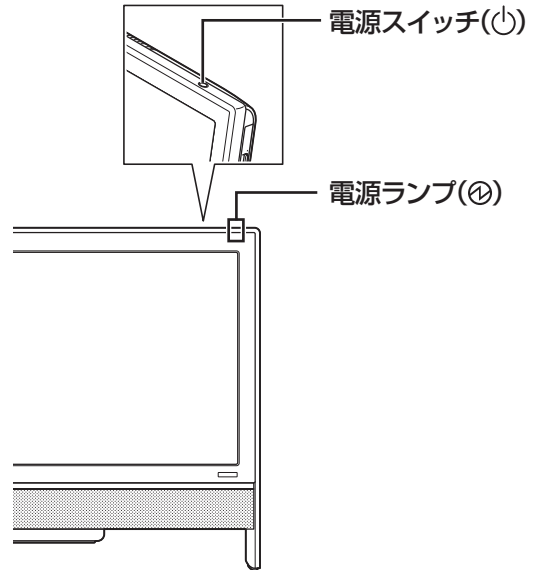
・セットアップ中に電源を切ったり、電源コードのプラグを抜くと故障の原因になります。p.1-23の画面が表示されるまでは、電源を切ったり、電源コードのプラグを抜いたりしないでください。
・セットアップで使用しないボタン類を操作しないでください。

セットアップの基本操作

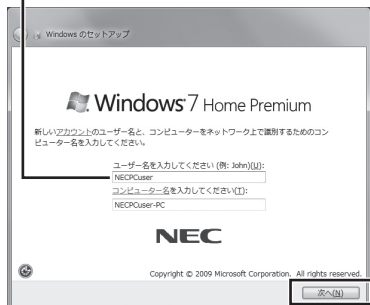
はじめてパソコンを操作するかたはご覧ください。

●画面の矢印 を動かす
マウスをつかんで机の上ですべらせると、その動きに合わせてマウスポインタを動かすことができます。

●クリック
マウスポインタを目的の位置に合わせてマウスの左ボタンを1回押す動作をクリックといいます。

Windowsをセットアップする

手順1 電源スイッチを押す

電源が入ると、電源ランプが点灯します。

重要

・電源スイッチを押してから、手順2の画面が表示されるまでに数分かかることがあります。その間、NECのロゴ(社名のマーク)が表示されたり画面が真っ暗になったりしますが、故障ではありません。手順2の画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。
・手順2の画面が表示されずに、「Press <F2> to Enter BIOS Setup」と表示されたときは「セットアップの画面が表示されないときは」(p.1-23)をご覧ください。
・液晶ディスプレイ画面の一部に生じるドット抜け(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)は液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。詳しくは付録の「アフターケアについて」(p.3-5)をご覧ください。

手順 2 半角英数字(a～z、A～Z、0～9)で任意のユーザー名を入力し、「次へ」をクリックする

画面はモデルによって異なります。

! 重要

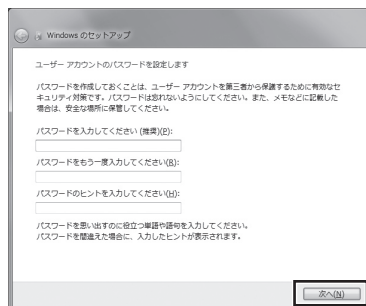
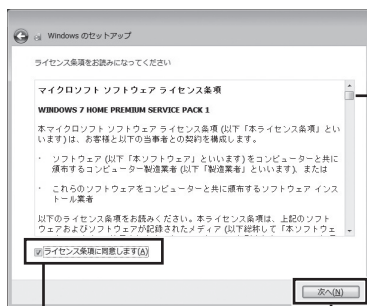
- 入力したユーザー名を次の欄に控えておいてください。
  ユーザー名:

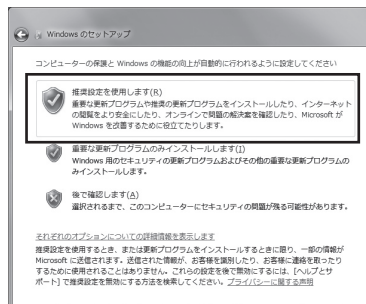
  セットアップ作業をやりなおす(再セットアップする)など、パソコンのトラブルを解決する際に必要になる場合があります。
- コンピュータ名が同じパソコン同士はネットワークで接続できません。コンピュータ名が同じパソコンがあるときは、別のコンピュータ名を入力してください。
- 次の文字列は、パソコンのシステムで使われているため、入力しないでください。
  CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9

参考

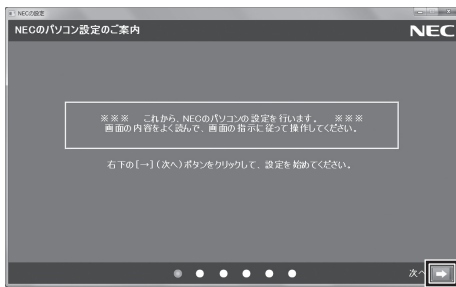
セットアップが終わってからユーザー名を追加、変更することもできます。

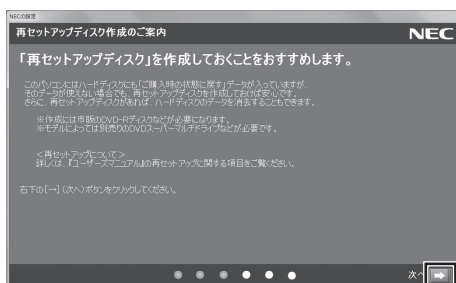
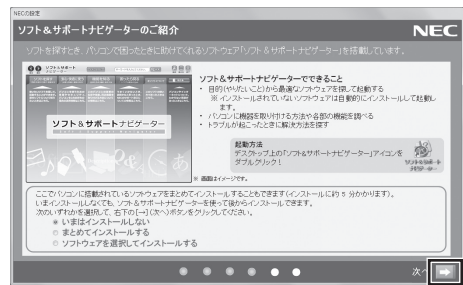
手順 3 「次へ」をクリックする

パスワードは、ここでは入力しないでください。

手順 4 画面の内容を確認し、「ライセンス条項に同意します」の□をクリックして☑にし、「次へ」をクリックする

画面右のスクロールバーを上下に動かすことで、表示されていない文章を読むことができます。

手順 5 「推奨設定を使用します」をクリックする

これでWindowsのセットアップは完了です。
続けてパソコンの設定をおこないます。次の画面が表示されるまでそのままお待ちください。

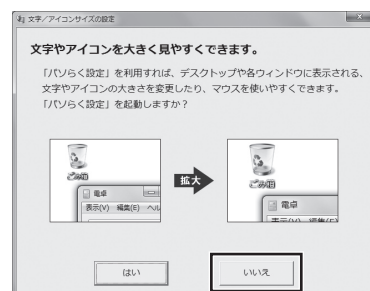
NEC独自の設定をおこなう

手順1 「NECのパソコン設定のご案内」が表示されたら ➡ をクリックする

手順2 BIGLOBE ホームページまたはYahoo! JAPANホームページのいずれかを選んで ◉ にし、➡ をクリックする

手順3 注意文を読んで ➡ をクリックする

手順4 ➡ をクリックする

参考

はじめてパソコンを使われるかたのために、パソコンを活用するためのソフトをインストールすることもできます。画面の説明を読んで、必要に応じて「まとめてインストールする」や「ソフトウェアを選択してインストールする」の○をクリックして◉にしてから、➡をクリックしてください。その後は画面の説明にしたがって操作してください。パソコンを活用するためのソフトは、セットアップが終わってからインストールすることもできます。

しばらくするとパソコンが再起動し、手順5の画面が表示されます。

手順5 「いいえ」をクリックする

参考

- 文字サイズを拡大する設定をおこなう場合は、「はい」をクリックしてください。その後は画面の説明にしたがって操作してください。
- 「パソらく設定」で設定を変更すると、ソフトにより正しく表示されないことがあります。その場合は、「準備・基本編」第4章の「文字やアイコンサイズの変更」(p.1-45)をご覧になり、設定を変更してください。

しばらくすると、「おすすめメニューNavi」が表示されます。「おすすめメニューNavi」が表示されたら、セットアップは完了です。次回からは、電源スイッチを押すと、デスクトップ画面が表示されるようになります。

おすすめメニューNavi

参考

USBコネクタに接続するタイプのマウスをご利用になる場合、USB 3.0対応コネクタ(SS)または(SS)に接続すると、再セットアップ、Windows修復機能の利用中にマウスを使用できません。

セットアップの画面が表示されないときは

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press <F2> to Enter BIOS Setup」と表示された場合は、次の手順にしたがってください。

❶ **【F2】を押す**
BIOS(バイオス)セットアップユーティリティが表示されます。

❷ **【+】、【−】または【F5】、【F6】で時間(24時間形式)を設定し【Enter】を押す**
時刻の値は数字キーでも入力できます。

❸ **【Tab】または【Enter】や【↓】【↑】で項目を移動し、同様に分、秒、月、日、年(西暦)を設定する**

❹ **【F9】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

❺ **「Yes」を選択し、【Enter】を押す**
BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

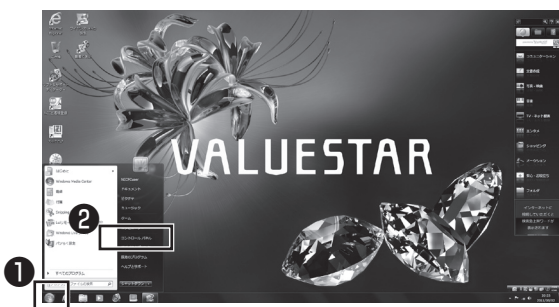
❻ **【F10】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

❼ **「Yes」を選択し、【Enter】を押す**
BIOSセットアップユーティリティが終了し、Windowsが自動的に再起動します。

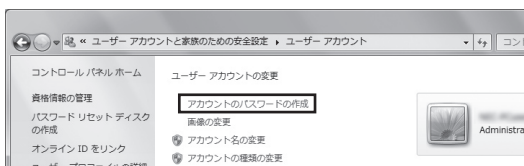
この後は、「Windowsをセットアップする」の手順2(p.1-21)をご覧になり、作業を続けてください。

Windowsのパスワードを設定する

パソコン内の情報保護のため、パスワードを設定しておくことをおすすめします。
設定すると、電源を入れたときにパスワードの入力が必要になります。正しいパスワードが入力されないとパソコンを使うことができないため、第三者がパソコンを起動して情報を見ることを防ぐことができます。

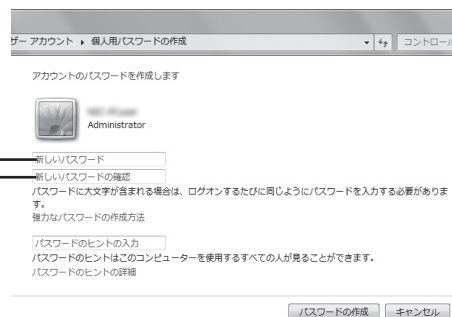
手順 1 「（スタート）」-「コントロールパネル」をクリックする

手順 2 「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」をクリックする

手順 3 「Windowsパスワードの変更」をクリックする

手順 4 「アカウントのパスワードの作成」をクリックする

手順 5 パスワードを入力する

パスワードは次のように設定してください。大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。

参考
- 入力したパスワードは「●●●」のように表示されます。これは、他人に見られてもわからないようにするためです。
- 「パスワードのヒントの入力」欄に、パスワードを思い出すためのヒントを入力しておくことができます。パスワードを正しく入力できない場合にヒントを表示することができます。

❶ この欄をクリックして、キーボードでパスワードを入力する

❷ この欄をクリックして、❶で入力したパスワードと同じものをもう一度入力する

❸ 「パスワードの作成」をクリックする

これでWindowsのパスワードの設定は完了です。 をクリックして画面を閉じてください。

パスワードを忘れたときのために

パスワードを忘れてしまうと、パソコンを使うために再セットアップが必要になります。万一に備えて「パスワード リセット ディスク」を作成しておきましょう。「パスワード リセット ディスク」を使うと新しいパスワードを作成することができます。「パスワード リセット ディスク」について詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

この後の操作について

ワイヤレスTVデジタル添付モデルをご購入いただいたかた以外は、続いてインターネットの設定をしてください。
Media Center TVモデルをご購入いただいたかたも、インターネットの設定に進んでいただいてかまいません。テレビの設定はインターネット接続後におこないます。
ワイヤレスTVデジタル添付モデルをご購入いただいたかたは、インターネットに接続する前にテレビの設定をおこなってください。
ここでいったんパソコンを終了したいかたは、次の「パソコンを終了する」をご覧ください。

参照

- インターネットの設定をおこなう、「ひかりTV」を利用する(SmartVision TVモデル)
  ▶「準備・基本編」の「第3章 インターネットを始める」(p.1-31)
- テレビの設定をおこなう(SmartVision TVモデル)
  ▶『テレビを楽しむ本』
- テレビの設定をおこなう(Media Center TVモデル)
  ▶『テレビセットアップマニュアル』

またパソコンをさらに安心・快適に使うためのいろいろな設定や作業について説明しています。ぜひご覧ください。

ソフトの探し方について知る
▶「ソフトを探す」(p.1-27)

トラブルのための対策をとる
▶「トラブル予防・解決編」の「第1章 トラブルの予防」

古いパソコンからデータや周辺機器を移行する
▶「パソコンを買い替えたかたへ」(p.1-29)

3D画像や3D映像を楽しむ(3D対応モデルのみ)
▶『3D対応モデルをご購入いただいたお客様へ』

パソコンを終了する

画面の操作で電源が切れないときなど緊急の場合を除き、通常はマウスを使ってパソコンを終了してください。電源スイッチで終了しないでください。

パソコンの電源を切る

手順1 「スタート」-「シャットダウン」をクリックする

画面が暗くなり、電源ランプが消灯します。これでパソコンを終了することができました。

参照
再びパソコンを使い始める場合
▶「パソコンを使い始める」(p.1-27)

電源を切らずにスリープ状態にすることにより、次回の起動を高速にできます。
「スタート」- ▶ -「スリープ」をクリックする、または、電源スイッチを押すことで、「スリープ」にできます。ただし、電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れてしまいますのでご注意ください。

参照
スリープ機能について
→「省電力機能を使う」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160020 で検索

「スタート」メニューの操作で電源が切れないとき

画面の表示が動かなくなったり、操作の途中でマウスやキーボードが反応しなくなったりして、パソコンの電源が切れなくなってしまうことがあります。その場合、次の方法で電源を切ることができます。

重要
- 強制的に電源を切る場合は、内蔵ドライブアクセスランプ(◎ ⌸)やデュアルメモリースロットアクセスランプなどが点灯していないことを確認してください。また、各種メディアは取り出しておいてください。
- パソコン本体の電源スイッチを押し続けて強制的に電源を切ると、パソコンに負担がかかります。何度も繰り返すと、パソコンが起動しなくなってしまうこともあるため、この方法で電源を切ることは、できるだけ避けてください。

参照
デュアルメモリースロットアクセスランプについて
▶「各部の名称」(p. iii)

手順1 パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続ける

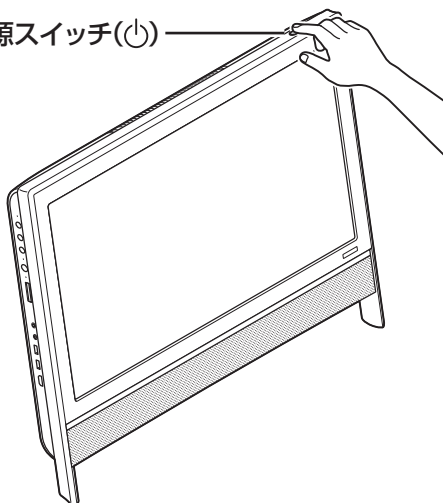
手順2 電源が切れてから5秒以上待ち、もう一度電源スイッチを押す

手順3 パソコンの電源が入ったら、改めて前の「パソコンの電源を切る」の操作で電源を切る

パソコンを使い始める

いったん電源を切ってから電源を入れなおすときは、電源が切れてから5秒以上待って電源スイッチを押してください。

パソコンの電源を入れる

電源スイッチを押す

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力するための画面が表示されます。

パスワードを入力し、➔ をクリックしてください。

しばらくするとデスクトップ画面が表示され、パソコンを使い始めることができます。

ソフトを探す

「ソフト&サポートナビゲーター」を使うと、目的に合ったソフトを探して、起動することができます。このパソコンでは、ハードディスクに入っていてもインストールされていないソフトは「スタート」メニューからも探すことができない場合があります。その場合にも「ソフト&サポートナビゲーター」を使うことで、ソフトを探して自動的にインストールしてから起動できます。

ソフトを探して起動する

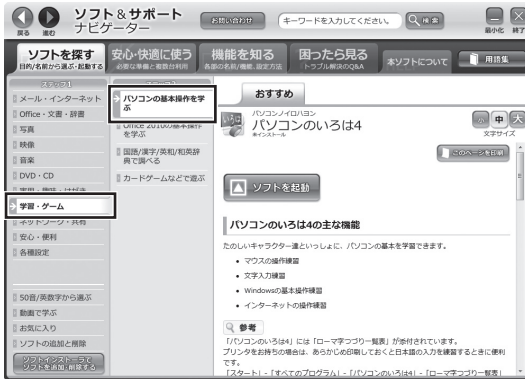
ここでは、例としてパソコンの使い方を学べるソフト「パソコンのいろは4」を探して起動します。

タスクバーの(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックする

「ソフト&サポートナビゲーター」の最初の画面が表示されます。

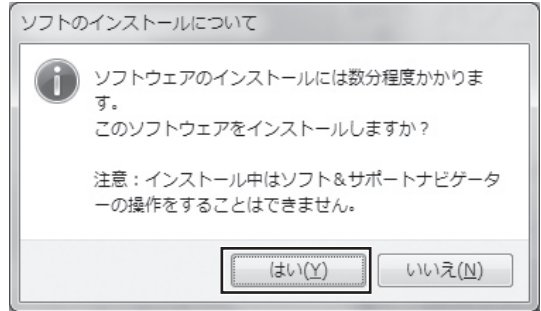
手順 2

「ソフトを探す」をクリックする

手順3 「学習・ゲーム」をクリックし、「パソコンの基本操作を学ぶ」をクリックする

手順4 「ソフトを起動」をクリックする

重要

- ソフト名の下に「インストール済み」と表示されているソフトの場合
  →「ソフトを起動」をクリックするとすぐにソフトが起動します。
- ソフト名の下に「未インストール」と表示されているソフトの場合
  →ハードディスクに入っていてもインストールされていないソフトです。「ソフトを起動」をクリックしてインストールしてから起動します。

手順5 「はい」をクリックする

「ユーザー アカウント制御」が表示されます。

手順6 「ユーザー アカウント制御」が表示されたら「はい」をクリックする

インストールが開始されます。
インストールが終了すると、自動的に「パソコンのいろは4」が始まります。
これで「パソコンのいろは4」を起動することができました。
「パソコンのいろは4」を終了するには、画面に表示されている「終了」をクリックしてください。画面中央に確認の画面が表示されるので、「終了します」をクリックしてください。

次からは「ソフトを起動」をクリックしても、インストール作業なしにソフトを起動できます。また「スタート」メニューからも起動できます。

参照

ユーザーアカウント制御について
▶「トラブル予防・解決編」第3章の「「ユーザーアカウント制御」画面が表示された」

パソコンを買い替えたかたへ

ここでは、パソコンを買い替えた場合に、古いパソコンからこのパソコンへソフトや周辺機器、データを移行する方法について説明します。

重要
64ビット版Windows 7に対応していないソフトやドライバなどをインストールすると、不具合が起こる場合があります。移行する際には十分な確認をおこなってください。

データを移行するには

このパソコンには、古いパソコンからデータを移行するために次のソフトが入っています。
・「Windows 転送ツール」
・「ファイナルパソコンデータ引越し」

参照
・移行のためのソフトについて
→「Windows 転送ツール」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 94131522 で検索

→「ファイナルパソコンデータ引越し」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 94061608 で検索

・「データ引越し 動画ナビ」
→「動画で学ぶ」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 94000001 で検索

周辺機器を使えるようにするには

周辺機器の移行をする前に、メーカのホームページやマニュアルなどで機器が64ビット版Windows 7に対応しているか確認してください。最新のドライバ(周辺機器を利用するためのソフト)があればダウンロードしておき、接続が済んだらインストールをしてください。
周辺機器の取り外しや接続については、機器のマニュアルをご覧ください。

ソフトを移行するには

ソフトの移行は次の順番でおこないます。ソフト自体に移行する機能がある場合は、ソフトに添付のマニュアルをご覧ください。

●ソフトが64ビット版Windows 7に対応しているかチェックする

メーカのホームページやマニュアルなどでソフトが64ビット版Windows 7に対応しているか確認します。対応していない場合、このパソコンでは利用できません。

↓

●ソフトのインストールに必要な情報を確認する

インストールする際にユーザー名やライセンスキーなどが必要な場合は、それらの情報をメモしておきましょう。

↓

●使用していたパソコンからソフトをアンインストールする

アンインストールの方法については、ソフトに添付のマニュアルをご覧ください。

↓

●このパソコンにソフトをインストールする

マニュアルなどをご覧になり、このパソコンにインストールしてください。必要に応じて、インストール後の設定作業をおこなってください。

準備・基本編

第3章

インターネットを始める

この章では、インターネットを利用するための設定やウイルス対策について説明します。設定に必要なものについて確認し作業を進めてください。

インターネットに接続する前に

重要

- このパソコンでは、ダイヤルアップ接続はご利用になれません。回線の変更については回線事業者にお問い合わせください。
- はじめてインターネットを始めるかたはプロバイダへの入会が必要です。プロバイダへの入会については各プロバイダにお問い合わせください。

「ひかりTV」のご利用を予定されているかた(SmartVision TVモデル)

「ひかりTV」をご利用になる場合は、次の点などにご注意ください。

●プロバイダとの契約時に、NTT東日本またはNTT西日本のフレッツ光のコースを選択してください。

フレッツ光以外の回線では「ひかりTV」をご利用になれません。

●地デジ/BS/110度CS・ダブルチューナーモデルで「ひかりTV」をワイヤレスLANでご利用になる場合、動作確認済みのワイヤレスLANルータ/ワイヤレスLANアクセスポイントをご使用ください。

動作確認済み以外の機器をお使いの場合、「ひかりTV」の映像が乱れ、視聴できない場合があります。

参照

- 「ひかりTV」を視聴するための準備について

▶『テレビを楽しむ本』の「ひかりTVについて」-「こんな準備が必要です」

- 動作確認済み機器について

(http://121ware.com/catalog/iptv/)

ワイヤレスTVデジタル添付モデルをご購入いただいたかた

最初にワイヤレスTVデジタルの初期設定を済ませる必要があります。ワイヤレスTVデジタルの設定とインターネットの設定について詳しくは『テレビを楽しむ本』のPART1～PART3をご覧ください。テレビとインターネットの設定が終了したらこのマニュアルの「電子メールを設定する」(p.1-36)に戻り、設定を続けてください。

設定に必要なもの

プロバイダに入会し回線が開通したら、インターネットに接続するために必要なものを用意してください。

□回線事業者やプロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、プロバイダから入手した接続設定用説明書やCD-ROMなどがある場合、その説明書やCD-ROMにしたがって設定をおこなってください。

□回線終端装置

□ワイヤレスLANルータ(ワイヤレスTVデジタル添付モデルを除く)

このマニュアルではワイヤレスLANを使ってインターネットに接続する例で説明します。モデルにより、使用できるワイヤレスLANの種類は異なります。次の表で確認してください。

	高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル	高速11n対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル
IEEE802.11a (5GHz)	○	×
IEEE802.11b/g	○	○
IEEE802.11n (2.4GHz)	○	○
IEEE802.11n (5GHz)	○	×

重要

- 機器を購入するときは、回線終端装置やワイヤレスLANの種類を見て接続できるかどうか確認してください。
- ワイヤレスTVデジタルは、ワイヤレスLANアクセスポイント機能を持ちますがルータ機能がありません。ご契約のプロバイダによっては、別途ルータ機能のある機器(ルータやルータ機能つきモデムなど)が必要となる場合があります。

機器の接続や設定をする

回線終端装置とネットワーク機器を接続し、必要に応じて、ルータの設定を行ってください。詳しい接続や設定方法については、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧ください。

参考

NECのAtermシリーズのワイヤレスLANルータやワイヤレスLANアクセスポイントをお使いの場合、Atermの「らくらくネットスタート」を使って接続することができます。詳しくは、Atermシリーズに添付されている説明書をご覧ください。

ワイヤレスTVデジタル添付モデルの場合

ワイヤレスTVデジタルの接続や設定については、『テレビを楽しむ本』のPART1～PART3をご覧ください。

インターネットに接続する

プロバイダへの入会やネットワーク機器との接続が完了したら、パソコンの設定を変更してインターネットに接続します。このマニュアルではワイヤレスLANを使ってインターネットに接続する例で説明します。

重要

CATV(ケーブルテレビ)接続を利用されていたかたは、ご契約のケーブルテレビ局にパソコンを買い替えたときの設定方法についてお問い合わせください。

参照

有線LANを使ってインターネットに接続する場合
→「LANについて」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93100010 で検索

アクセスポイントの情報を確認する

パソコンの設定では、接続するワイヤレスLANアクセスポイントのネットワーク名(SSID)、セキュリティキーが必要になります。設定を確認して次の欄に設定を控えてください。

ネットワーク名(SSID)

セキュリティの種類

暗号化の種類※

※セキュリティの種類によっては、暗号化の種類を設定しない場合があります。

セキュリティキー

参考

セキュリティキーは、接続するワイヤレスLANアクセスポイントのメーカにより「暗号化キー」「ネットワークキー」「WEPキー」「WPAキー」などと呼ばれている場合があります。

ワイヤレスLAN機能を確認する

インターネットに接続するときは、ワイヤレスLAN機能がオンであることを確認してください。ワイヤレスLAN機能の状態は、画面右下の通知領域の(オン)または(オフ)で確認できます。ご購入時にはワイヤレスLAN機能はオンの状態になっています。ワイヤレスLAN機能のオン/オフの切り換えは、次の手順でおこなうことができます。

ワイヤレスLAN機能のオン/オフの切り換え

手順1 デスクトップの(ワイヤレスLANの設定)をダブルクリックする

「ワイヤレスLANの設定」が表示されます。「ワイヤレスLAN機能を有効にする」から、機能のオン/オフを切り換えることができます。
「ワイヤレスLANの設定」は、画面右下の通知領域にあるをクリックし、アイコン()を右クリックして「設定画面を表示」を選択しても表示されます。

パソコンの設定をする

ルータとの接続を設定するためにパソコンの設定を変更してください。

参考

NECのAtermシリーズのワイヤレスLANルータやワイヤレスLANアクセスポイントをお使いの場合、「らくらく無線スタートEX」を使って設定することができます。

参照

・ルータと接続するためのパソコンの設定について
→「ワイヤレスLAN接続の設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93100140 で検索

・らくらく無線スタートEXについて
→「らくらく無線スタートEX」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 94181813 で検索

・ワイヤレスLAN通信がうまくいかない場合
▶「トラブル予防・解決編」第3章の「インターネットに関するトラブルのとき」

手順1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

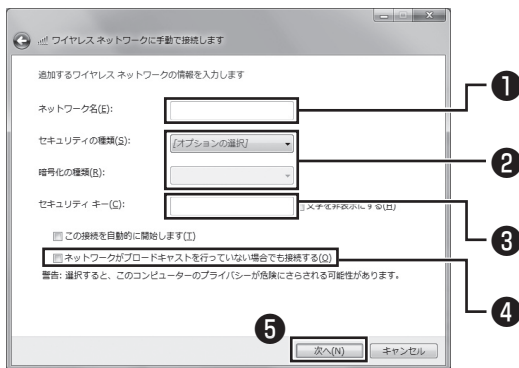
手順2 「ネットワークとインターネット」をクリックする

手順3 「ネットワークと共有センター」をクリックする

手順4 「ワイヤレスネットワークの管理」をクリックする

手順5 「追加」をクリックする

手順6 「ネットワークプロファイルを手動で作成します」をクリックする

手順 7 確認したアクセスポイントの情報を使って、接続するネットワークの情報を入力し、「次へ」をクリックする

❶ **確認したネットワーク名(SSID)を入力する**

❷ **確認したセキュリティと暗号化の種類を選ぶ**

❸ **確認したセキュリティキーを入力する**

❹ **□をクリックして☑にする**

❺ **「次へ」をクリックする**

重要

ワイヤレスLANはセキュリティの対策をしっかりしないと外部からネットワークに入られて無断で利用され、情報を読まれてしまう危険があります。ワイヤレスLANを使うときは暗号化など、セキュリティをしっかり設定してください。

手順 8 「閉じる」をクリックする

ワイヤレスLANが接続され、デスクトップ画面右下の通知領域にが表示されます。「ネットワークの場所の設定」の画面が表示された場合は、画面の説明を読んで設定してください。

これでインターネットに接続するための設定は終わりです。

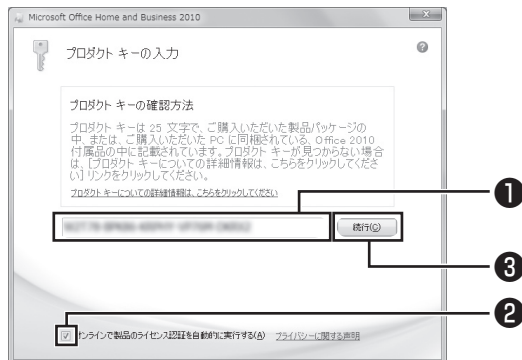
Office 2010モデルをご購入いただいたお客様へ

参考

ここでは、Office 2010モデルに搭載されている「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」として説明しています。

「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動したときに、プロダクトキー入力やライセンス認証が必要となります。

プロダクトキーの入力について

「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動したときに、プロダクトキーを入力する必要があります。

画面はモデルによって異なります。

❶**プロダクトキー(25文字の英数字)を入力する**

❷**チェックが入っていることを確認する**

❸**「続行」をクリックする**

重要

- プロダクトキーは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージの中に入っているDVD-ROMケースに記載されています。
- 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」が表示された場合は、条項の内容に同意のうえ、画面の指示にしたがって操作を進めてください。

ライセンスの認証について

お使いのパソコンがインターネット接続できる状態になっていれば、プロダクトキーの入力後、自動でライセンス認証が実行されます。インターネット接続できない場合、「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動した日から、30日以内にインターネット経由またはMicrosoft社のライセンス認証専用窓口へ電話でライセンス認証をおこなう必要があります。詳しくは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージに同梱されている、『お使いになる前に』をご覧ください。

重要

- **30日以内にライセンス認証を実施しないと、機能制限モードとなりライセンス認証をおこなうまで使用できる機能が制限されます。**
- **再セットアップや「Microsoft Office 2010」を再インストールした場合は、プロダクトキー入力やライセンス認証も再度必要となります。「Microsoft Office 2010」のパッケージは大切に保管してください。**

64ビット版「Microsoft Office 2010」、「Office ナビ 2010」の追加について

64ビット版「Microsoft Office 2010」、「Office ナビ 2010」を使用するには、インストールされている32ビット版「Microsoft Office 2010」、「Office ナビ 2010」をアンインストールしてから、別途インストールする必要があります。
詳しくは、「Microsoft Office 2010」に含まれる各ソフト(「Word 2010」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94130923 で検索)など)、または「Office ナビ 2010」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94150614 で検索)をご覧ください。

電子メールを設定する

電子メールの設定のしかたについては「ソフト&サポートナビゲーター」をご覧ください。

参照

電子メールを設定するには
→「Outlook 2010の設定」
(Office 2010モデルのみ)
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91065010 で検索

→「Windows Live メールの設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91065020 で検索

続けてウイルス対策をしてください。

ウイルス対策をする

ウイルスなどの不正プログラムからパソコンを守るためには、定期的な対策が必要です。このパソコンにはウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」がインストールされています。「ウイルスバスター」でウイルス対策を始めるための手順について詳しくは、「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

参照

ウイルス対策を始めるための詳しい手順について
→「ウイルス対策ソフトを使い始める」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 91040020 で検索

重要

- ご購入後、パソコンの使用を始めてから3日間はユーザー登録をしていなくても試用することができます。4日目からも試用したい場合にはユーザー登録をしてください。ユーザー登録をした日からさらに90日間、無料で試用することができます(その間、アップデートは自動的におこなわれます)。90日間の無料期間を過ぎると、すべての機能が利用できなくなり、セキュリティ対策をおこなうことができません。無料期間終了後も継続してご利用いただくには、ダウンロード販売またはパッケージなどの製品版を購入し、シリアル番号を入力していただく必要があります。
- ユーザー登録やクラウドを使用したウイルスチェックはインターネット接続が必要となるため、インターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯端末など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。

その他のセキュリティ対策について

「ウイルスバスター」のほかに、パソコンを保護するために、次のようなセキュリティ対策があります。

●Windows Updateをする

このパソコンのWindowsの状態などをチェックし、更新プログラムを無料配布するMicrosoftのサポート機能です。ご購入時の状態では、Windowsの更新プログラムの自動更新機能が有効に設定されています。インターネット経由でWindowsを最新の状態にし、ウイルスや不正アクセスに備えることができます。

参照

→「Windowsの更新」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 91060010 で検索

●ファイアウォール機能を使う

ファイアウォール機能とは、外部(インターネット)からの不正侵入を防ぎ、情報の流出を防ぐ機能のことです。このパソコンでは「Windowsファイアウォール」に加え「ウイルスバスター」のファイアウォールチューナー機能を追加で使うことができます。セットアップ後には「Windowsファイアウォール」のみが有効になっています。

参照

→「不正アクセスの防止」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 91050010 で検索

「ソフト＆サポートナビゲーター」ではこのほかに、ワイヤレスLANの通信の暗号化やお子様を有害ホームページから守るための方法など、さまざまなセキュリティ対策について説明しています。ご使用の状況に合わせてご覧ください。

参照

→「安全に使うためのポイント
(セキュリティ対策)」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 91030010 で検索

第4章 基本機能

この章では、音量の調節や消費電力を抑える方法、DVDなどのディスクをセットする方法など、このパソコンを使うときのもっとも基本的な操作を説明します。

ソフト&サポートナビゲーター（画面で見るマニュアル）

「ソフト＆サポートナビゲーター」は、パソコンの詳しい使い方を知りたいときや困ったときに役立つ、画面で見るマニュアルとしての機能を持っています。また目的に合ったソフトを探して使い方を見たり、そのままインストールや起動をしたりすることができます。「ソフト＆サポートナビゲーター」は次のようなときに便利です。

・ Windowsの便利な使い方を知りたい。
・ 目的に合ったソフトを探したり、見つけたソフトをすぐに起動したい。
・ うまくいかないときや、故障かな？と思ったときの対処法を知りたい。
・ パソコンの省電力機能や表示機能など、パソコンの機能についてより詳しく知りたい。
・ 用語集でわからない単語の意味を調べたい。

ソフト&サポートナビゲーターを起動する

タスクバーの（ソフト＆サポートナビゲーター）アイコンをクリックして起動します。

「ソフト＆サポートナビゲーター」の最初の画面が表示されます。

参考

デスクトップのアイコン（ソフト＆サポートナビゲーター）をダブルクリックするか、キーボード上部にあるワンタッチスタートボタン（ソフト）を押すことでも起動できます。

ソフト&サポートナビゲーターを使う

知りたい項目があるときは項目を選んでクリックします。「ソフト＆サポートナビゲーター」で知りたい項目が見つからないときは、キーワードを入力して「検索」をクリックします。

知りたい項目が見つからないときに検索できます

使いたい項目を選んでクリックします

画面はモデルによって異なります。

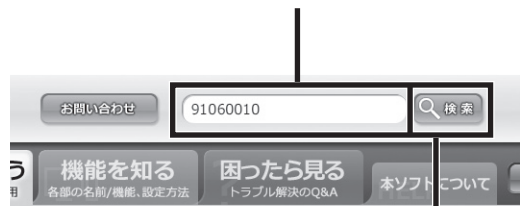
参考

はじめて検索をおこなうときは、CyberSupport for NECの「使用許諾契約書」が表示されます。内容をよく読み、「同意する」をクリックしてください。クリック後、検索が再開されますので少しお待ちください。

番号検索について

マニュアルに出てくる検索番号を「ソフト＆サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例）検索番号が「91060010」の場合

❶マニュアルに出てくる検索番号（8桁の数字）を入力する

❷「検索」をクリックする

おすすめメニューNavi

このパソコンには、パソコンの機能をやりたいことから探したり、インターネットで知りたい情報を検索したりできる「おすすめメニューNavi」が用意されています。「おすすめメニューNavi」では、検索のほかにも、よく使うソフトをすぐに使えるように登録することや、お好みの情報をいつでも表示しておくことなどもできます。各パレットには、主に次の機能があります。操作方法など詳しくは「おすすめメニューNavi」のヘルプをご覧ください。

設定パレット
「おすすめメニューNavi」全体や各パレットの表示や動作などの設定を、お好みに変更できます。

検索パレット
このパソコンの中やインターネット、マニュアルから、知りたい情報を検索できます。
アイコンをクリックするだけで、簡単に検索対象を切り換えることができるので、このパレットのみで、さまざまな検索が可能です。

起動パレット
クリックするだけで、ソフトやファイル、インターネット上のサービスなどを使い始めることができます。あらかじめ登録されたものだけでなく、お好みに合わせ、よく利用するショートカットなどを登録して使うこともできます。

インターネットに
接続していただくと
検索急上昇ワードが
表示されます

情報パレット
写真のスライドショーや、天気予報、ニュースなどのインターネット上の情報を表示させることができます。「おすすめメニューNavi」に登録されているソフトやインターネットサービスの説明も表示されます。

パソコンのいろは4（パソコン練習ソフト）

「パソコンのいろは4」を使って、パソコンやWindows 7の基本操作を学ぶことができます。またOffice 2010モデルでは「Microsoft Office 2010」の操作も学習できます。

参考

ここでは、Office 2010モデルに搭載されている「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」として説明しています。

「パソコンのいろは4」とは

初心者のかたがパソコンを学ぶためのソフトです。マウスやキーボードの使い方からホームページの見方といった「パソコンのいろは」を学ぶことができます。パソコンやWindowsの基本操作をまず覚えたいかたは、「パソコンのいろは4」で学習を始めてください。

「パソコンのいろは4」を起動する

手順1 「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「パソコンのいろは4」の「ソフトを起動」をクリックする

自動的に「パソコンのいろは4」が始まります。

ソフトがインストールされていない場合は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

参考

「Microsoft Office 2010」の操作を学習したいときは、「パソコンのいろは4 Office 2010編」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 94091808 で検索）の「ソフトを起動」をクリックします。

ソフトがインストールされていない場合は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

「パソコンのいろは4」を終了する

画面に表示されている「終了」をクリックしてください。画面中央に確認の画面が表示されるので、「終了します」をクリックしてください。

省電力機能

このパソコンでは、操作していない時間が続くとき、消費電力を節約するために自動的に画面を暗くするなど、省電力機能が設定されています。

参照

省電力機能の詳細、設定の変更について
→「省電力機能」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160010 で検索

省電力状態の概要

次の省電力状態で消費電力が節約できます。

●次の時間の経過後ディスプレイを暗くする
Windows 7では、パソコンを使用しないでしばらくすると画面は自動的に暗くなります。ご購入時は、5分に設定されています。

●ディスプレイの電源を切る
何も操作しない状態が続いたとき、ディスプレイの電源を自動的に切る時間が設定できます。ご購入時は、10分でディスプレイの電源が切れるように設定されています。

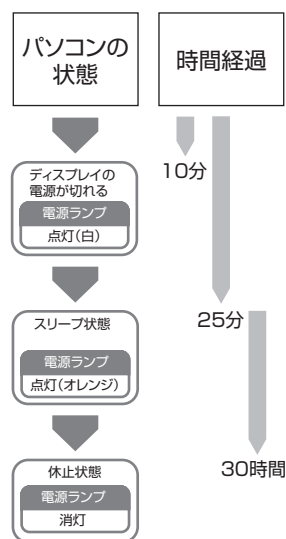
●スリープ状態にする
ディスプレイの電源が切れてからも、操作しない状態が続いたとき、ハードディスクなどの電源を切って消費電力を節約するように設定できます。ご購入時は、25分でスリープ状態になるよう設定されています。

●休止状態にする
パソコンの状態や作業中のデータをディスクに保存した上で、Windowsは終了せずにパソコンの電源を切るように設定できます。ご購入時には、スリープ状態に移行してから30時間で自動的に休止状態になります。

参考

ご購入時、このパソコンにはハイブリッドスリープが設定されています。ハイブリッドスリープとは、スリープ状態になるとき、ハードディスクに作業中のデータを保存するような設定です。スリープ状態時に電源コードが抜けるなどの不測の事態が発生しても、問題なく作業を再開することができます。

操作していない時間と省電力状態の概要

●パソコンを使っていない時間と省電力状態

画面が暗くなったときには

省電力機能で画面が暗くなっているときは、キーボードのキー(【Shift】など)を押してください。それでも画面が明るくならないときは、電源スイッチを軽く1回押してください。

参照

マウスやキーボードの操作でスリープ状態から復帰させたいとき
→「省電力機能を使う」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160020 で検索

電源ランプ

パソコンの電源の状態は電源ランプでわかります。

●電源ランプ(⏻)と電源の状態

パソコン本体の電源ランプ	電源の状態
白色に点灯	電源が入っている
オレンジ色に点灯	スリープ状態
消灯	電源が切れている、または休止状態

リモコンでスリープ状態にする

リモコン添付モデルでは、リモコンの【電源】を押すと、パソコンをスリープ状態にしたり、スリープ状態から復帰することができます。

重要

SmartVision TVモデルで、テレビの視聴中やほかのソフトを起動しているときは、電源を切る前に【アプリ終了】を押して、終了させてください。

音量や画面の明るさの調節

音量の調節

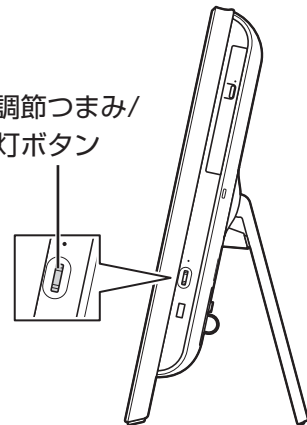
パソコンの音が大きすぎたり、小さすぎたりすると感じるときは、キーボードやリモコン(リモコン添付モデル)でスピーカの音量を調節することができます。

【音量】の－を押すと、音が小さくなります。
【音量】の＋を押すと、音が大きくなります。
【消音】を押すと音声のオン/オフが切り換えられます。画面右下の通知領域に🔇が表示されているときは音声が消え、🔊が表示されているときは音声が聞こえます。

参考

キーボードから音量を変更するとき、起動しているソフトによっては、音量の表示が変わらない場合があります。

画面の明るさの調節

パソコンの画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると感じるときは、明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンからディスプレイの輝度(画面の明るさ)を調節できます。

上にまわすごとに、明るくなります。
下にまわすごとに、暗くなります。

明るさ調節つまみを押すと画面消灯ボタンとして働きます。画面消灯ボタンを押すとディスプレイのバックライトが消灯し、画面が暗くなり、音声が消えます(ナイトモード)。ナイトモードのときは画面消灯ランプが点灯します。もう一度押すと、再び画面が表示されます。

参考

- ナイトモードでは、液晶ディスプレイのバックライトを消灯します。画面の表示内容は消えません。そのため、明るい場所では画面の表示内容が薄く見える場合があります。
- パソコンを使用しないでしばらくすると、画面は自動的に暗くなります。

参照

ナイトモードについて
→「ナイトモード(画面消灯)について」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93180138 で検索

文字やアイコンサイズの変更

画面の文字が小さいときなどに、文字やアイコンの大きさを変更できます。

「パソらく設定」で変更する

「パソらく設定」はWindowsの設定の変更をお手伝いするソフトです。

手順1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「パソらく設定」の「ソフトを起動」をクリックする

「パソらく設定」が起動します。

手順2 「画面の表示を見やすくする」の「設定画面へ」をクリックする

手順3 好みのサイズを選んでクリックする

選択されたサイズのボタン上に「○」が表示されます。

手順4 「終了」をクリックする

手順5 「保存して終了」をクリックする

手順6 「今すぐログオフ」をクリックする

参照

「パソらく設定」について
→「パソらく設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 94161819 で検索

参考

「標準(100%)」以外の文字を選択した場合、画面の一部が切れて表示されないことがあります。画面の大きさ(ウィンドウサイズ)の変更や操作ができなくなった場合は、文字サイズを小さく設定してください。

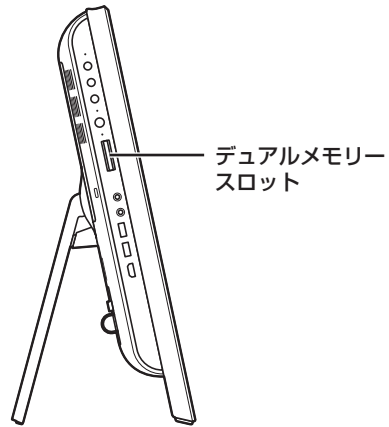
ズームボタンで変更する

キーボードのズームボタンを使うと、Internet ExplorerやOutlook 2010などズーム機能に対応しているソフトで、文字サイズを変更できます。

参照

ズームボタンについての注意や、動作するソフトについて
→「キーボード上部のボタンなど」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93040040 で検索

メモリーカード

このパソコンのメモリースロットは次の図で示す位置にあります。

使用できるメモリーカードの種類

このパソコンでは、次のメモリーカードを使用することができます。

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- SDXCメモリーカード
- メモリースティック
- メモリースティック PRO

市販のアダプタが必要なメモリーカード

次のメモリーカードを使用する場合には必ず市販のアダプタにセットしてから使用してください。

- miniSDカード、microSDカード
- メモリースティック デュオ、メモリースティック マイクロ（M2）

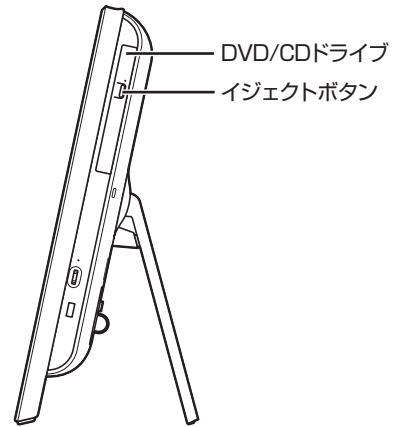
参照

メモリーカードやアダプタの形状、メモリースロットへの出し入れのしかた、注意事項について
→「デュアルメモリースロット」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93015105 で検索

重要

市販のアダプタを使用せずそのままメモリースロットに差し込むとメモリーカードが取り出せなくなります。各メモリーカードの説明書もあわせてご覧になり、注意事項を確認してから使用してください。
必ずアダプタにセットしてから使用してください。

ディスク(DVD/CDなど)

このパソコンのDVD/CDドライブは次の図で示す位置にあります。

重要

・CDやDVDなどの取り扱い上の注意については、添付の『安全にお使いいただくために』を参照し、あらかじめ確認してください。また、すべてのCDやDVDの動作を保証することはできません。
・ブルーレイディスクドライブモデルで使用できるブルーレイディスクも、CDやDVDと同じように扱います。
・ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。
・DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。

参照

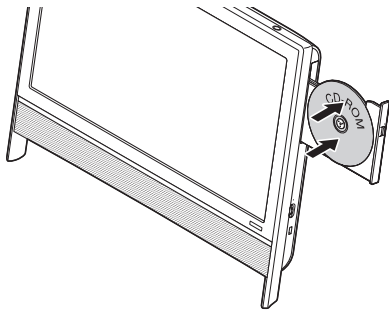
使用できるディスクやデータ形式、注意事項について
→「ブルーレイディスク/DVD/CDドライブ」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93070010 で検索

ディスクをセットする

手順1 イジェクトボタンを押し、ディスクトレイを出す

ディスクトレイが少し飛び出します。

手順2 ディスクトレイを手で引き出す

手順3 ディスクのデータ面(表裏にご注意ください)を背面側にしてディスクトレイの中央に置き、ディスクを軸にしっかりはめ込む

手順4 ディスクトレイを押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

重要

ディスクトレイを戻す際には、無理な力を加えずに、まっすぐにゆっくりとディスクトレイを押してください。

ディスクを取り出す

重要

- ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。
- DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。

手順1 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し飛び出します。

手順2 ディスクトレイを手で引き出す

手順3 ディスクを取り出す

手順4 ディスクトレイを押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

重要

ディスクトレイを戻す際には、無理な力を加えずに、まっすぐにゆっくりとディスクトレイを押してください。

ディスクが取り出せなくなったときは

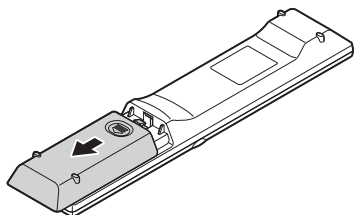
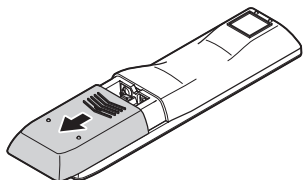
パソコンの電源が入っているにもかかわらずディスクトレイが出てこなくなった場合は、「トラブル予防・解決編」第3章の「その他のトラブルがおきたとき」-「DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった」をご覧ください。

リモコン

ここではリモコン添付モデルでリモコンを使う方法について説明します。

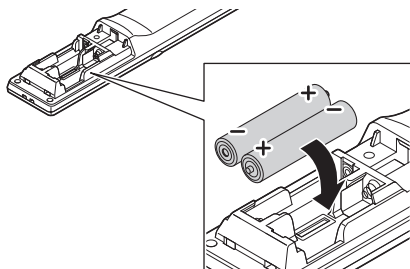
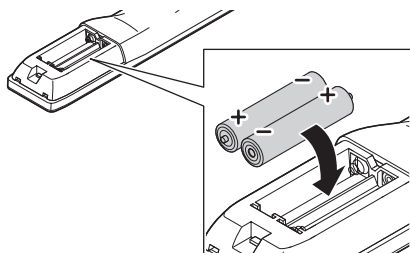
リモコンに乾電池を入れる

手順1 リモコン背面の電池カバーをスライドして取り外す

● **SmartVision TVモデル**

● **Media Center TVモデル**

手順2 添付のリモコン用乾電池を入れる

電池の向きに注意して入れてください。

● **SmartVision TVモデル**

● **Media Center TVモデル**

手順3 電池カバーをもとのように取り付ける

リモコンの使用範囲について

リモコンを使うときは、本体から約3mの範囲で操作してください。

リモコンが使えるソフトについて

リモコンは、次のソフトで使うことができます。これ以外のソフトでリモコンを使用した場合には、ボタンが正しく動作しない可能性があります。

● **SmartVision TVモデル**

・「SmartVision」
・「CyberLink PowerDVD」※
・「Windows Media Center」
・「ぱっと観スライドショー」
・「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」

※「CyberLink PowerDVD」、「CyberLink PowerDVD AVC」、「CyberLink PowerDVD BD」または「CyberLink PowerDVD 3D」

参考

SmartVisionの操作について詳しくは『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

● **Media Center TVモデル**

・「Windows Media Center」

参照

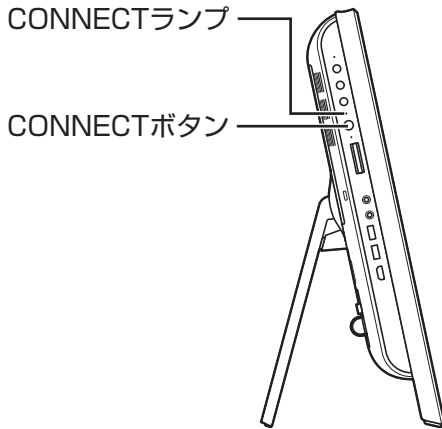
リモコンのボタンと動作について
→「リモコン」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93010130 で検索

リモコンを登録しなおす

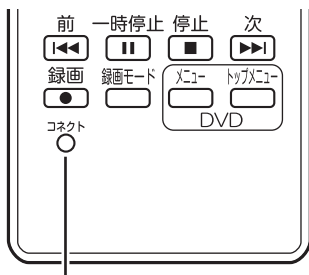
リモコンが正しく動作しないときは、何らかの原因でパソコン側の登録が解除されてしまったことが考えられます。
次の手順でリモコンを登録しなおしてください。

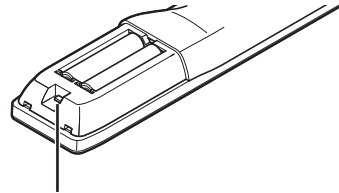
参考

パソコンを修理・交換した場合も、登録しなおす必要があります。

手順1 本体左側面にあるCONNECTボタンを押す

CONNECTランプが点滅します。

手順2 CONNECTランプが点滅している間に、つま楊枝の根元の部分など先端に丸みのあるもので、リモコンのコネクトボタンを約1秒間押す

●SmartVision TVモデル

●Media Center TVモデル

電池カバーを取り外し、コネクトボタンを押してください。

登録が完了するとCONNECTランプは消灯します。リモコンを操作して正常に動作するか確認してください。

準備・基本編

第5章 パソコンに取り付ける

この章では、パソコンにいろいろな機器を取り付けるためのコネクタについてや、内部に新しい部品を取り付けたりする方法を説明します。
パソコン内部に部品を取り付けるときは、内部のほかの部品を傷つけたりしないよう、説明をよく読んでから作業してください。

周辺機器を取り付ける

ここではこのパソコンに取り付けられる周辺機器や取り付けるためのコネクタの位置などについて説明します。具体的な取り付けの手順や注意については、各周辺機器のマニュアルや「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

コネクタなどの位置について
▶「各部の名称」(p.ii)

取り付ける周辺機器と使用するコネクタ

取り付ける機器	使用するコネクタ
プリンタ、イメージスキャナ、USBマウス、USBメモリーなど	USBコネクタ →「USBコネクタ」 ▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93015010 で検索
SDメモリーカード、メモリースティックなど	デュアルメモリースロット →「デュアルメモリースロット」 ▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93015105 で検索
マイクロフォン	マイク入力端子 →「マイク入力端子」 ▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93015190 で検索
ヘッドフォン、オーディオ入力のあるAV機器	ヘッドフォン/オーディオ出力端子 →「ヘッドフォン/オーディオ出力端子」 ▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93015180 で検索
HDMI出力に対応した、ゲーム機やハードディスクプレーヤなどの機器※	HDMI入力端子 →「外部入力端子」 ▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93015260 で検索 外部映像を表示する →「外部入力機能」 ▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93192010 で検索

※：HDMI入力端子を搭載しているモデルのみ。

メモリ

より大きな容量のメモリをパソコンの内部に取り付けることで、ソフトを同時に起動したり、大きなデータを扱う際、より高速に処理することができるようになります。

参考

このパソコンでは最大8Gバイトのメモリを搭載可能ですが、PCIデバイスなどのメモリ領域を確保するために、すべての領域を使用することはできません。また、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。

メモリを増やす流れ

●増設の準備

▶メモリ容量を確認する(p.1-53)
▶メモリスロットを確認する(p.1-53)
▶このパソコンで使えるメモリ(p.1-54)

●増設メモリ(別売)を購入

●増設メモリの取り付け

▶メモリを取り扱うときのご注意(p.1-54)
▶メモリを取り外す(p.1-54)
▶メモリを取り付ける(p.1-55)

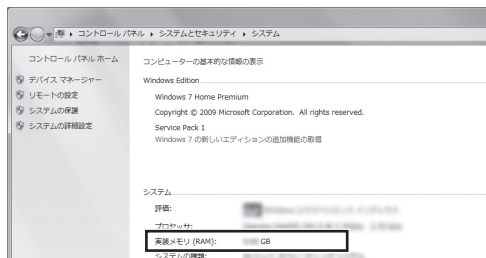
●メモリが増えているか確認

▶増やしたメモリ容量を確認する(p.1-56)

メモリ容量を確認する

次の手順でお使いのモデルのメモリ容量を確認できます。
メモリをどれぐらい増やせるかの参考にしてください。

手順1 「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」-「システム」をクリックする

表示された画面の「実装メモリ(RAM)」を確認してください。

参考

メモリ容量は実際より少なく表示される場合がありますが、故障ではありません。

メモリスロットを確認する

●このパソコンのメモリスロットについて

このパソコンには、メモリを差し込むスロット(コネクタ)が、2つ用意されています。

●メモリスロットへの取り付けについて

ここでは、ご購入時に各スロットに2Gバイトのメモリが取り付けられている場合を例として、増設メモリをメモリスロットへ取り付ける手順を説明します。ご購入時に8Gバイト(最大)の容量のメモリがすでに搭載されている場合はメモリを増やすことはできません。

スロット	合計
2Gバイト(標準で付いているもの)	合計4Gバイト
2Gバイト(標準で付いているもの)	

この場合、すでにスロットにメモリが差し込まれている状態で、空いているスロットがありません。そのため、ご購入時に付いているメモリを取り外してスロットを空け、より大きな容量の増設メモリを取り付けなおすことで、メモリを増やします。

例:メモリを8Gバイト(最大)に増やす場合

まず、ご購入時に各スロットに取り付けられている2Gバイトのメモリ2枚を取り外して、いったんスロットを空にします。次に空になった各スロットに4Gバイトの増設メモリを取り付けます。

4Gバイト(別途ご購入されたもの)	合計8Gバイト
4Gバイト(別途ご購入されたもの)	

参考

このパソコンはデュアルチャネルに対応しています。デュアルチャネルとは、同容量の2枚のメモリに同時にアクセスすることで、メモリのデータ転送性能を高速化する技術のことです。

重要

- **デュアルチャネルメモリの性能を最大限に引き出すために、増設時は、2つのスロットが同容量になるように増設することをおすすめします。スロットごとに異なる容量のメモリを搭載しても動作しますが、一部のソフトでは十分な性能が出ない場合があります。**
- **このパソコンでは最大8Gバイトの容量までメモリを搭載できます。その場合、4Gバイトずつのデュアルチャネルで動作します。**

このパソコンで使えるメモリ

次のタイプの増設メモリ(別売)をおすすめします。

型名	メモリ容量
PC-AC-ME052C	4Gバイト

(DDR3 SDRAM/SO-DIMM、PC3-10600タイプ)

重要

- **ここでご紹介したタイプ以外の増設メモリには、このパソコンで使えないものがあります。ご購入前に確認してください。**
- **NECでは市販の増設メモリに関する動作保証やサポートはおこなっていません。販売元にお問い合わせください。**

メモリを取り扱うときのご注意

- メモリは静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で扱うと破損する原因になりますので、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に触れて静電気を取り除いてください。
- メモリは、大変壊れやすい部品です。メモリを取り外した際は、大切に保管してください。再セットアップをおこなうときに必要となる場合があります。

メモリを取り外す

参考

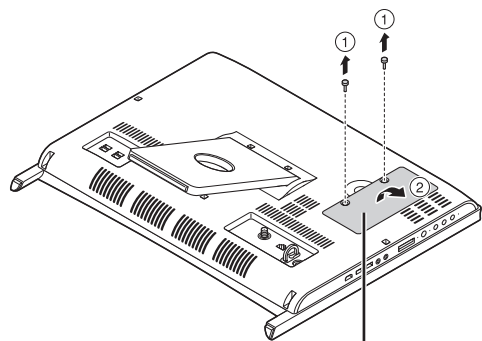
イラストは実際の製品と異なることがあります。

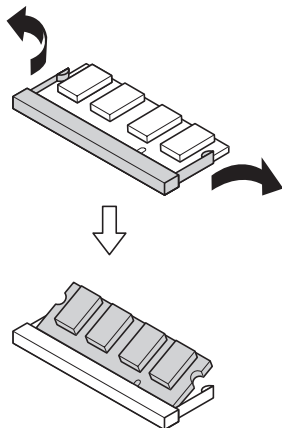
手順1 本体に接続されたケーブルをすべて取り外し、ディスプレイ側を下にして伏せる

重要

- **本体を伏せるときはディスプレイを傷つけないよう、厚手の紙や布などを下に敷いてください。**
- **メモリスロットのカバーを取り外すと、ボード上の部品やハンダ付け面などがありますが、手を触れないよう注意してください。**

手順2 メモリスロットのカバーを取り外す

図のネジをゆるめて、メモリスロットカバーを外します。

手順3 メモリスロットの両端を左右に押し広げる

メモリが起き上がります。

! 重要

・メモリスロットの両端を開きすぎて破損してしまわないように気を付けてください。
・メモリスロットの周りの部品を傷つけないよう気を付けてください。

手順4 起き上がったメモリをそのまま斜めに引き抜く

手順5 メモリスロットのカバーをもとに戻し、外したネジでカバーを取り付ける

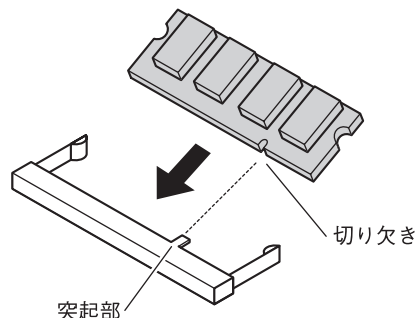
手順6 本体を立て、手順1で取り外したケーブルを取り付ける

メモリを取り付ける

参考

イラストは実際の製品と異なることがあります。

手順1 「メモリを取り外す」の手順1～2をおこない、メモリスロットのカバーを取り外す

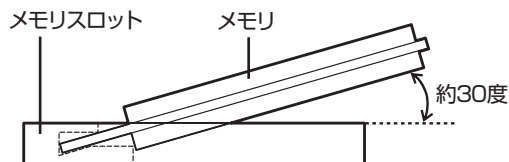
手順2 メモリの切り欠き部分と、メモリスロットにある突起部を合わせる

突起部と切り欠きの位置はイラストと異なる場合があります。

! 重要

・メモリの金属端子部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因になります。
・メモリの表と裏が間違っている場合、差し込むことができません。間違った向きのままで無理に取り付けようとすると、メモリスロットやメモリが破損する原因になりますので注意してください。

手順3 メモリをメモリスロットに奥まで差し込む

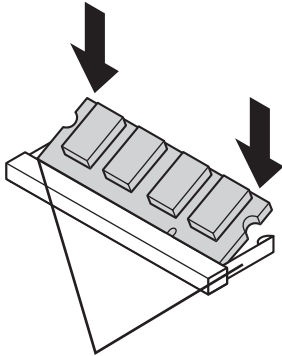
メモリの端子部分(金色)がメモリスロットの奥に当たるまで差し込みます。

横から見たところ

端子部分のほとんどが、メモリスロットに差し込まれた状態になります。

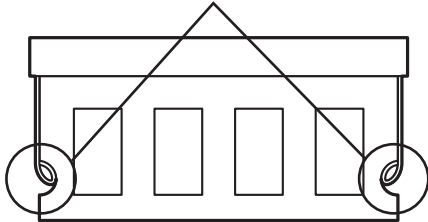
! 重要

差し込むときに、メモリスロットが固いことがありますが、奥までしっかり押し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順をおこなうと、メモリスロットやメモリを破損するおそれがあります。

手順4 メモリを強く倒し込む

カチッと音がする位置まで強く倒し込みます。

倒し込むときに、この部分が左右に開き、メモリがロックされるともとの位置に戻ります。

手順5 メモリがメモリスロットにロックされたことを確認する

両方がロックされていることを確認してください。

正しくロックされている場合は、メモリが水平で、端子の金色の部分が少し(1mm程度)見える状態です。

重要

確実にロックされていないと、メモリスロットやメモリの故障の原因になります。また、パソコンが正しくメモリを認識できません。

手順6 メモリスロットのカバーをもとに戻し、外したネジでカバーを取り付ける

手順7 本体を立て、取り外したケーブルを取り付ける

増やしたメモリ容量を確認する

パソコンの電源を入れ、メモリを増やす前に確認したときと同様の手順で、メモリ容量が増えているか確認できます。

参照

メモリ容量を確認する
▶「メモリ容量を確認する」(p.1-53)

●表示されたメモリ容量が増えていなかった場合

次のことを確認してください。

・ 正しく取り付けられているか？
・ このパソコンで使えるメモリを取り付けているか？

重要

メモリを増設した場合、初期化のため、電源を入れてからディスプレイの画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

参考

実際に利用できるメモリ容量は、取り付けたメモリの総容量より少ない値になります。

準備・基本編

第 6 章

おすすめ機能

この章では、このパソコン特有の機能について説明しています。パソコンの設定が終わったら、説明を読んでパソコンをさらに使いこなしてみましょう。

複数のパソコンを使う

このパソコンには、複数のパソコンでデータを共有する機能や、ネットワークを作ってほかのパソコンやオーディオ機器にある写真、映像、音楽を視聴する機能など、このパソコンをほかのパソコンと連携させて活用するための便利な機能が用意されています。

ここでは、複数のパソコンを使う際に用意されている機能について紹介します。詳しい内容については、各マニュアルをご覧ください。

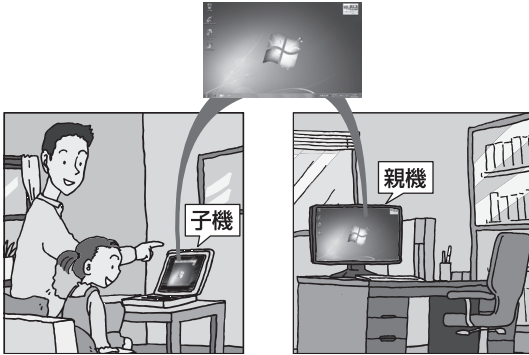
参照

→「複数台利用でできること」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91090010 で検索

機能	使用するソフト	機能の説明
パソコンを遠隔操作する(次ページ)	「Luiリモートスクリーン(親機版)」 「Luiリモートスクリーン(子機版)」	自宅のパソコンを、別の部屋にあるパソコンから遠隔操作したり、外出先からインターネット経由で利用したりできます。
データや設定を移行する	「ファイナルパソコンデータ引越し」	パソコンのデータや設定などをまとめて一度に、このパソコンへ移行します。
データを同期・共有する	「FlyFolder」	複数のパソコンで、特定のフォルダを常に同期をとるように設定すると、最新のデータを共有できます。
写真、映像、音楽コンテンツをやりとりする	「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」 「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」	DLNAに対応したほかのパソコンとの間で写真、映像、音楽コンテンツなどを相互に視聴することができます。
テレビ番組をやりとりする	「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」 「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」	ほかのパソコンやハードディスクレコーダー※1で録画したデジタル放送の番組を視聴することができます※2。SmartVision TVモデルでは、SmartVisionで録画したデジタル放送の番組を配信することができます※3。

※1：配信機能があるDTCP-IP対応機器。
※2：「Windows Media Center」のメニューの「ホームネットワーク」に「デジタル録画番組」という項目が表示される機種のみ。
※3：インテル® CeleronDC、PentiumDCプロセッサーを搭載したモデルを除く。

パソコンを遠隔操作する（Luiリモートスクリーン）

Luiリモートスクリーンを使うと、家庭内のネットワークやインターネットに接続した2台のパソコンで、自宅内はもちろん、自宅外からも、一方のパソコンから他方のパソコンを操作できるようになります。

※ 親機の画面が子機に表示され、子機側で親機の画面を操作できます。

利用するためには、ソフトのインストールや接続の設定が必要になります。機能の説明について詳しくは、デスクトップにある（「Luiリモートスクリーンのご紹介」アイコン）をダブルクリックして、表示される説明をご覧ください。
デスクトップにアイコンがない場合には、「ソフト＆サポートナビゲーター」からもご覧いただけます。「ほかのパソコンを遠隔操作する（Luiリモートスクリーン）」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91090020 で検索）をご覧ください。

参考

- **1台の親機へ同時に2台以上の子機を接続できません。**
- **子機で親機に接続しているときは、子機からのみ親機の操作ができます。親機に接続されているマウスやキーボードでは操作できません。**

参照

・家の中だけで使いたいときの設定方法
→「Luiかんたんスタートマニュアル」
▶「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiかんたんスタートマニュアル」
・モバイル通信などを利用して、家の外からも接続するときの設定方法
→「Luiリモートスクリーンマニュアル」
▶「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiリモートスクリーンマニュアル」

e-move™対応

ブルーレイディスクドライブモデルでは、ブルーレイディスクに含まれている映像コンテンツをSDメモリーカードなどに転送する「e-move™」に対応しています。転送したコンテンツは携帯電話などで再生することができます。
ここではコンテンツをSDメモリーカードなどに転送する方法を説明します。

参照

e-move™の詳しい機能について
→「取扱説明書」
▶「スタート」-「すべてのプログラム」-「Panasonic」-「e-move(TM) 対応Plugin ユーティリティー」-「取扱説明書」

準備するもの

次のものを用意してください。

・ e-move™に対応したブルーレイディスクソフト
対応しているかどうかはブルーレイディスクソフトのパッケージなどで確認してください。
・ SDカード※
※SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード

コンテンツを転送する

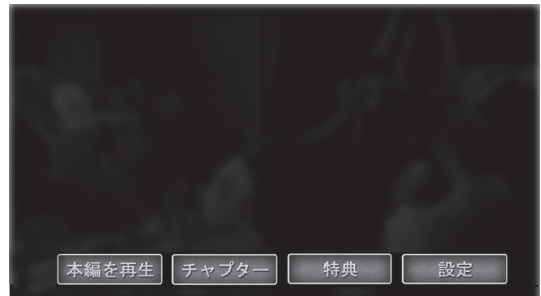
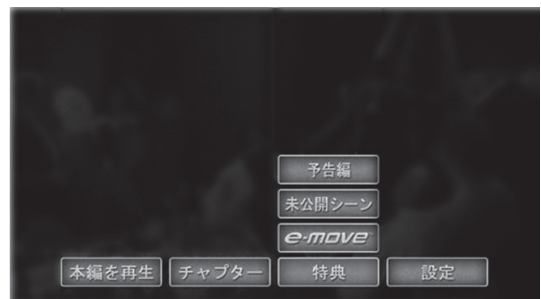
次の手順で転送します。

参考

以降のブルーレイディスクの画面やメニューは説明のためのイメージです。実際の画面や手順は、e-move™対応ブルーレイディスクによって異なります。

手順1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「CyberLink PowerDVD BD」または「CyberLink PowerDVD 3D」の「ソフトを起動」をクリックする

画面はモデルによって異なります。

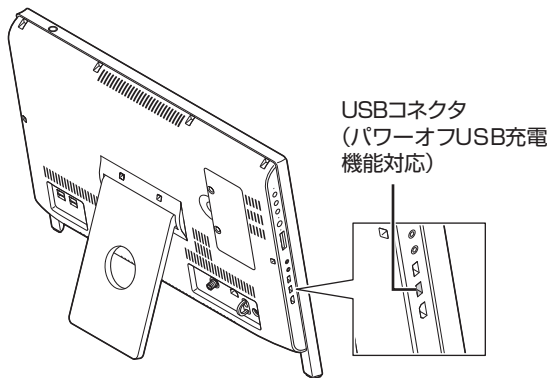
手順2 e-move™対応ブルーレイディスクをDVD/CDドライブにセットし、ブルーレイディスクのメニューを表示させる

手順3 「特典」から「e-move™」をクリックする

e-move™サービスが開始します。この後は画面の説明にしたがって操作してください。

おすすめ機能について知る

ここでは、このパソコンを使いこなすためのさまざまな機能について紹介します。詳しい使い方については、「ソフト&サポートナビゲーター」をご覧ください。

機能	説明	検索番号
ワンタッチスタートボタン	【マイ チョイス】や【ソフト】を押すだけで、自分で登録したソフトや「ソフト&サポートナビゲーター」を起動することができます。1つのボタンで、最大5つのソフトを同時に起動することができます。	→「キーボード上部のボタンなど」▶93040040
ECOボタン	押すだけで、パソコンの消費電力を節約するための電源プランに切り換えることができます。	→「キーボード上部のボタンなど」▶93040040
HDMI入力端子(外部入力)(HDMI入力端子を搭載しているモデルのみ)	パソコンのHDMI入力端子にHDMI出力に対応したゲーム機やDVDプレーヤーなどの機器を接続して外部ディスプレイとして映像を表示させることができます。	→「外部入力端子」▶93015260
インテル® ワイヤレス・ディスプレイ	インテル ワイヤレス・ディスプレイ用アダプターを接続したテレビや外部ディスプレイに映像を表示することができます(インテル® Core™プロセッサーを搭載したモデルのみ)。	→「外部ディスプレイと連携させる」▶93180070
彩りの設定	映像視聴ソフトの画質を変えることができます。	→「彩りの設定」▶94071920 →「画質補正機能」▶93180135
パワーオフUSB充電機能	このパソコンの左側面には、パワーオフUSB充電機能に対応したUSBコネクタがあります。パワーオフUSB充電機能とは、USBケーブルを使って充電できる機器を、パソコンの電源が切れた状態でも充電できる機能のことです。 USBコネクタ(パワーオフUSB充電機能対応)	→「USBコネクタ」-「パワーオフUSB充電機能について」▶93015010 ▶「パワーオフUSB充電機能について」

トラブル予防・解決編

第1章

トラブルの予防

パソコンにトラブルが起こると、保存していたデータが壊れたり消えてしまうことがあります。ハードディスクに大きな問題が起きたときは、パソコンのシステムそのものが正常に動かなくなることもあります。
トラブルの原因はさまざまですが、ちょっとした注意でトラブルが起こるリスクを減らすことができます。また、もしものときに備えて、あらかじめ準備をしておくことも大切です。

この章では、トラブルを予防するために心がけていただきたいことについて説明しています。また、万が一トラブルが起きたときあわてないよう、大切なデータの控えを残しておく「バックアップ」の方法と、パソコンをご購入直後の状態に戻すために必要な「再セットアップディスク」の作成方法について説明しています。

トラブルを予防するには

ちょっとした注意で、トラブルが起こるリスクを減らすことができます。

適切な場所に設置する

パソコンは精密な機器を組み合わせて作られています。落としたり強い衝撃を与えると、機器に不具合が生じてトラブルが起こることがあります。人やドアがぶつかりやすいところ、不安定な台の上などに設置しないことが、トラブルを回避する第一歩です。また、パソコンを電磁波や熱を発生するものの近くに設置することも、パソコンの不具合の原因になります。

VALUESTARの設置場所については、「準備・基本編」の「第1章 セットアップの前に」で、さらに詳しく説明しています。

定期的に通風孔(排熱孔)を清掃する

通風孔(排熱孔)とは、パソコン内部の熱によってパソコンが故障したり誤作動したりすることを防ぐための換気口です。ほこりがたまってしまうと通風孔(排熱孔)の機能が低下し、パソコンの故障や誤作動などのトラブルの原因になる場合があります。定期的にお手入れをしてください。通風孔の清掃については、「付録」の「お手入れについて」をご覧ください。

電源は正しく切る

パソコンの使用中にコンセントから電源コードのプラグを引き抜いたりすると、トラブルの原因になることがあります。正しい電源の切り方について詳しくは、「準備・基本編」第2章の「パソコンを終了する」をご覧ください。

セキュリティ対策をする

パソコンをインターネットに接続する前にセキュリティ対策をしておきましょう。

しっかりしたセキュリティ対策なしにインターネットに接続することは、自宅のドアや窓を開けっ放しにして旅行に出かけるようなものです。パソコンのデータが壊されたり盗み出されるだけでなく、あなたの信用を損なうようなトラブルが起こる可能性もあります。

●ウイルス対策をする

セキュリティ対策の中で、最も重要な事項のひとつが、ウイルスへの対策です。

ウイルスは、パソコンの中で不正な動きをするプログラムです。インフルエンザウイルスのように、インターネットなどを経由してパソコンからパソコンへ伝染し症状を引き起こすため、この名前で呼ばれます。

ウイルスなどの不正プログラムからパソコンを守るために、ウイルス対策ソフトを活用しましょう。

このパソコンにはあらかじめ「ウイルスバスター」というウイルス対策ソフトが用意されています。詳しくは、「ウイルス対策ソフトを使い始める」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91040020 で検索)をご覧ください。

重要

パソコンの動きに違和感があるなど、ウイルスの感染が疑われるときは、「第3章 トラブル解決Q&A」の「ウイルスの感染が疑われるとき」(p.2-47)をご覧になり、対処してください。

●Windows Updateをする

このパソコンの基本ソフト、Windowsを発売しているマイクロソフト社は、Windowsに問題点が発見されると、修正用のプログラムをホームページで無料配布します。

パソコンのWindowsの状態をチェックし、修正用のプログラムを反映させる機能が「Windows Update(ウィンドウズアップデート)」です。

ご購入時の状態では、Windows Updateの自動更新機能は有効になっています。インターネット経由でWindowsを最新の状態にして、ウイルスや不正なアクセスに備えることができます。

参照

Windows Updateについて
→「Windowsの更新」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91060010 で検索

万が一のトラブルに備えて、パソコンが正常に動作しているときに準備しておいていただきたいことがあります。
この章を続けてお読みいただき、次の2点について必ず確認してください。

●バックアップの取り方

大切なデータの控えを残す「バックアップ」の取り方について説明しています。
「大切なデータの控えを取っておく(バックアップの種類と方法)」(p.2-4)

●再セットアップディスクの作り方

緊急時などにパソコンをご購入直後の状態に戻す「再セットアップディスク」の作り方について説明しています。
「再セットアップディスクを作成する」(p.2-15)

大切なデータの控えを取っておく(バックアップの種類と方法)

バックアップの必要性

日常生活でパソコンを活用していると、ハードディスクに次のようなデータが蓄積されていきます。

- 重要な情報(知人の住所やメールアドレス、作成した文書、家計簿など)
- 大切な思い出(デジタルカメラで撮影した写真、ビデオ映像など)
- 趣味や娯楽のためのデータ(音楽、動画、ゲームなど)
- インターネットを使うための情報(お気に入り、パスワードなど)

もし、パソコンが故障したりウイルスに感染したりすると、これらの大切なデータが壊れたり消えたりしてしまうことがあります。また、操作を間違えて、自分で必要なデータを消去してしまうことがあるかもしれません。

万が一のときに備えて、大切なデータは定期的に控えを取っておきましょう。データの控えを取ることを、「バックアップ」(バックアップする、バックアップを取る)と呼びます。

トラブルが起こってデータが消えてしまったときでも、バックアップを使ってデータを復元することができます。

参考

壊れたり消えたりしたデータの復元を請け負う専門業者もあります。

一般的なバックアップの保存先(バックアップ先)は、次のとおりです。

- パソコンのハードディスク(CドライブやDドライブ)
- DVD-Rなどの光ディスク
- USB接続の外付けハードディスク
- USBメモリーやメモリーカード

重要

パソコンのハードディスク(CドライブやDドライブ)をバックアップ先に選ぶと、ハードディスク自体が故障したとき、もとのデータと同時にバックアップを取ったデータまで失われてしまう恐れがあります。重要なデータは、パソコンに内蔵されたハードディスク以外の場所にデータの控えを取っておくことをおすすめします。

バックアップの種類

バックアップを取るには、いくつかの方法があります。このパソコンには、バックアップを取るためのソフト「おてがるバックアップ」が搭載されています(PC-VL150FSを除く)。どの方法でバックアップすればよいかわからない場合は、「おてがるバックアップ」の「ワンクリックバックアップ」-「マイ データ」をおすすめします。バックアップを取れるデータや使い方については、「おてがるバックアップを使ってバックアップを取る」(p.2-5)をご覧ください。

参考

- **もっと手軽にバックアップを取りたいかた、バックアップをつい忘れてしまうかたのために、NECでは「オンライン自動バックアップ(有料)」もご用意しております。(p.2-83)**
- **障害によりWindowsが起動しないときは、第4章の「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.2-69)をご覧ください。**

バックアップを取る時期について

次のような時期にバックアップをおこなうと効果的です。

- ご購入から数週間経ってデータが増えてきたとき
- 古いパソコンからデータを移動してきたとき
- 前回バックアップしたときから数週間経って、バックアップしていないデータが増えてきたとき

パソコンの使用頻度(データの増え方)によって、バックアップを取るタイミングを調整してください。こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

おてがるバックアップを使ってバックアップを取る

ここでは、おてがるバックアップについて説明します。バックアップは、このパソコンのハードディスクや、DVD-Rなどの光ディスクのほか、USBメモリーやメモリーカード、外付けハードディスクなどに取ることもできます。詳しくは「バックアップを取る場所について」をご覧ください。

おてがるバックアップの機能

「おてがるバックアップ」には、複数のバックアップ方法が用意されています。下の表をご覧になり、用途に合わせて使い分けてください。

機能名		概要	バックアップ先	詳細
ワンクリックバックアップ		あらかじめ設定されたデータのバックアップを取ります。	次の「バックアップを取る場所について」をご覧ください。	―
	マイ データ	よく使うデータや、自作のデータが通常保存されているフォルダ、インターネットの設定などのバックアップを取ります。		p.2-7
	パソコン全体	内蔵ハードディスク全体のバックアップを取ります。		p.2-9
こだわりバックアップ		自分で細かい設定をして、バックアップを取ります。		「おてがるバックアップ」のヘルプをご覧ください。
	マイ データ	バックアップするフォルダやデータを選んでバックアップを取ります。定期的に自動でバックアップを取ることもできます。		
	ディスク、またはパーティション	ディスクやパーティション単位で対象を選んで、バックアップを取ります。定期的に自動でバックアップを取ることもできます。		

バックアップを取る場所について

「おてがるバックアップ」では、バックアップ方法によって、バックアップ先に設定できる場所が異なります。

バックアップ方法		ワンクリックバックアップ		こだわりバックアップ	
		マイ データ	パソコン全体	マイ データ	ディスク、またはパーティション
バックアップ先※4	ローカルディスク（お使いのパソコンのハードディスク）	○	×	○	○※1
	USB接続の外付けハードディスク	○	○	○	○
	内蔵SSD（搭載モデルのみ）	○	×	○	○※1
	NAS（ネットワーク接続ストレージ）	×	×	○	×
	USBメモリー	○	×	○	×
	次の光ディスク※2 BD-R/BD-RE/BD-R（2層）/BD-RE（2層）/BD-R XL（3層）/BD-RE XL（3層）/DVD-R	○	○	○	○
	次のメモリーカード※3 SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード/メモリースティック/メモリースティックPRO/xD-ピクチャーカード	○	×	○	×

※1：システムドライブを含む場合は、バックアップ先にできません。
※2：お使いのDVD/CDドライブによって、使用できる光ディスクが異なります。
※3：お使いのモデルによって、使用できるメモリーカードが異なります。
※4：USB外付け機器は必ず機器付属の説明書に書かれた用法を守ってお使いください。

参考

ご購入時のDドライブの容量は約65Gバイトです。大容量のバックアップをおこなうときは、Dドライブ以外の場所を選んでください。なお、外付けハードディスクをバックアップ先にする場合は、USB接続のハードディスクを使用してください。

「おてがるバックアップ」を使うときの注意

おてがるバックアップをお使いになるときは、次のことに注意してください。

・おてがるバックアップでバックアップを取ったデータは、このパソコンでのみ復元できます。
・バックアップを取ったデータの内容を確認したり、直接編集することはできません。
・バックアップを取るデータの量によって、バックアップにかかる時間が異なります。動画などサイズの大きなデータが含まれる場合はバックアップに時間がかかります。
・暗号化機能を使用してデータのバックアップを取る場合は、パスワードを控えておいてください。パスワードを忘れると復元できなくなります。
・定期的にバックアップを取る場合、バックアップの予定時刻には、ほかのソフトを起動しないようにしてください。
・TVモデルの場合、録画予約の時間、番組表の受信時刻(SmartVision TVモデルのみ)とバックアップの時間が重ならないようにしてください。
・テレビ番組を録画したデータや購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、「ワンクリックバックアップ」-「マイ データ」を使ってバックアップを取ることができません。著作権が保護されたデータのバックアップについては、録画や購入に使用したソフトのヘルプをご覧ください。テレビ番組の録画データについては『テレビを楽しむ本』をご覧いただき、DVDなどに保存するか、外付けハードディスクに移動(SmartVision TVモデルのみ)してください。また、「「パソコン全体」を復元する」(p.2-13)冒頭の「重要」をあわせてご覧ください。
・複数のパソコンで「おてがるバックアップ」を使って、同じ外付けハードディスクをバックアップ先に使う場合、復元するデータをコンピュータ名で識別することはできません。バックアップを実施した日時を記録するか、複数のパソコンで同じユーザー名を使わないようにしてください。
・「おてがるバックアップ」では隠しパーティションを明示的にバックアップすることはできません。「ワンクリック バックアップ」で「パソコン全体」は無条件に、「こだわり バックアップ」の「ディスク、またはパーティション」では対象に「パソコン全体」を指定(ご購入時の状態)すれば、バックアップされます。

操作の流れ

次の流れでバックアップを取ります。

「おてがるバックアップ」を起動する
↓
必要に応じて保存する場所や
バックアップするデータを変更する
↓
バックアップを始める

詳しい操作については、次の項目をご覧ください。
・「おてがるバックアップを使って「マイ データ」のバックアップを取る」(p.2-7)
・「おてがるバックアップを使ってパソコン全体のバックアップを取る」(p.2-9)をご覧ください。

準備について

ご購入時の状態では、DVD-Rなどにバックアップを取るように設定されています。バックアップを取るためのディスクを事前に準備してください。パソコンの内蔵ハードディスクやUSB接続の外付けハードディスクなどにバックアップを取ることもできます。設定については次の項目をご覧ください。
・「おてがるバックアップを使って「マイ データ」のバックアップを取る」の「バックアップの設定を変更する」(p.2-8)
・「おてがるバックアップを使ってパソコン全体のバックアップを取る」の「バックアップの設定を変更する」(p.2-10)

おてがるバックアップを使って「マイ データ」のバックアップを取る

手軽にバックアップを取るには、「ワンクリックバックアップ」の「マイ データ」を使います。この方法では、次のデータをバックアップできます。

- 電子メールのメッセージ
- 「ドキュメント」や「パブリックのドキュメント」フォルダ
- 「ピクチャ」や「パブリックのピクチャ」フォルダ
- 「ビデオ」や「パブリックのビデオ」フォルダ
- 「ミュージック」や「パブリックのミュージック」フォルダ
- ログオンしているユーザーの「ダウンロード」フォルダ
- ログオンしているユーザーの「デスクトップ」フォルダ
- ログオンしているユーザーの「お気に入り」フォルダ
- 「Internet Explorer」のインターネット接続の設定
- その他、「設定」で追加したフォルダやファイル

重要

- **電子メールの設定やアドレス帳は「マイ データ」ではバックアップできません。**
- **テレビ番組を録画したデータや購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは「ワンクリックバックアップ」-「マイ データ」を使ってバックアップを取ることができません。録画や購入に使用したソフトを使ってバックアップを取ってください。**

とくに重要

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

手順1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「おてがるバックアップ」の「ソフトを起動」をクリック

重要

次の画面が表示された場合は、それぞれの画面の説明をよく読み、画面の指示にしたがって操作してください。
- **「エンド ユーザー使用許諾契約」**
- **「製品の登録」**
- **「おてがるバックアップのご紹介」**

手順2 「マイ データ」の「今すぐ実行」をクリック

バックアップが開始されます。DVD-Rなどにバックアップを取る場合は、ディスクをセットするようにメッセージが表示されます。画面の説明を読んで操作してください。

重要

バックアップ中にパソコンが休止状態になると、バックアップが中断されます(ご購入時の状態では、バックアップ中に自動で休止状態になることはありません)。

手順3 「バックアップが正常に完了しました。」と表示されたら「閉じる」をクリック

手順4 「おてがるバックアップ」画面右上の ✕ をクリック

これで、バックアップは完了です。

家族など、複数のユーザーでこのパソコンを共有している場合、ユーザーの人数分だけバックアップが必要です。「スタート」-▷-「ログオフ」の順にクリックして、別ユーザーで再ログオンし、ユーザーごとにバックアップの手順を繰り返してください。

重要

「おてがるバックアップ」でバックアップを取ったデータは、パソコンを再セットアップしたら、すぐに復元してください。復元が遅れると、再セットアップ以降に作成されたデータが失われることがあります。

バックアップの設定を変更する

バックアップ先や、バックアップするデータやフォルダを変更するときは、「おてがるバックアップ」が起動した状態で、次の手順をおこなってください。

手順1 「マイ データ」の「設定」をクリック

「ワンクリック バックアップの設定」が表示されます。

手順2 「保存先」の右の▼をクリックして、表示されたメニューからバックアップを保存する場所を選ぶ

「保存先」を選ぶと、次の場所にバックアップが保存されます。

- Windows7(C:):このパソコンのCドライブ
- ローカルディスク(D:):このパソコンのDドライブ
- xxxxxxx(E:)※1:光ディスク(DVD-Rなど※3)
- ボリューム(F:)※2:USB接続の外付けハードディスクやUSBメモリーなど

※1:「xxxxxxx」の部分はモデルによって異なります。
※2:外付けハードディスクやUSBメモリーが接続されている場合のみ表示されます。(F:)の部分は、お使いの環境により異なる場合があります。
※3:使用できる光ディスクの種類については「バックアップを取る場所について」(p.2-5)をご覧ください。

参考

- **この画面で「保存対象」の各項目をクリックして☑を☐にすると、その項目はバックアップされなくなります。**
- **「フォルダーの追加」、「ファイルの追加」をクリックして、バックアップする対象を増やすことができます。**

手順3 「設定を保存」をクリック

手順1の画面に戻ります。

これで、設定が変更されました。「おてがるバックアップを使って「マイ データ」のバックアップを取る」(p.2-7)の手順でバックアップを取ってください。

おてがるバックアップを使って パソコン全体のバックアップを取る

パソコン全体のバックアップを取る前に

「おてがるバックアップ」では、パソコンの内蔵ハードディスク全体をバックアップ/復元することもできます。インターネットやメールの設定、壁紙、自分でインストールしたソフトなど、さまざまに設定をおこなった状態をそのままバックアップ/復元することができるので便利です。
なお、バックアップにはおおよそ5～6時間かかります(モデルやディスクの使用量、その他の条件によって時間は異なります)。ディスクの使用量によってはさらに時間がかかることもあります。バックアップを取る際には、十分な時間を確保してください。

重要

- **復元するためには、パソコンが正常に動作しているときにバックアップを取っておく必要があります。**
- **バックアップを取るには、管理者権限を持つユーザーでログオンする必要があります。**

バックアップの準備をする

パソコン全体のバックアップをするには、あらかじめ次の準備が必要です。

●再セットアップディスクを準備する

バックアップしたデータを復元するために、再セットアップディスクが必要になります。「再セットアップディスクを作成する」(p.2-15)をご覧になり、再セットアップディスクを作成しておいてください。

●バックアップを取るための光ディスク(DVD-Rなど)や外付けハードディスク

バックアップ先にできるディスクについては、「バックアップを取る場所について」(p.2-5)をご覧ください。

パソコン全体のバックアップに必要な光ディスク(DVD-Rなど)の枚数や外付けハードディスクの容量は、バックアップの方法やデータ量により異なります。目安は次のとおりです。

- DVD-R…13枚程度
- BD-R/RE…3枚程度
- BD-R/RE(2層)…2枚程度
- BD-R XL(3層)…1枚程度
- BD-RE XL(3層)…1枚程度
- 外付けハードディスクの空き容量…60Gバイト程度

重要

DVD/CDドライブの種類により、使用できるディスクは異なります。ご購入のパソコンに搭載されているDVD/CDドライブの仕様につきましては「付録」の仕様一覧をご覧ください。

●ほかのソフトなどが起動しないようにする

- スクリーンセーバーが起動しないようにする
  次の手順で設定を変更します。
  1.「スタート」-「コントロールパネル」をクリック
  2.「デスクトップのカスタマイズ」をクリック
  3.「スクリーンセーバーの変更」をクリック
  4.「スクリーンセーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
  5.「コントロールパネル」の x をクリック
- 起動中のソフトをすべて終了する(ウイルス対策ソフトなどを含む)
  終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。
- TVモデルでは、録画予約の時間、番組表の受信時刻とバックアップの時間が重ならないようにする
  予約の確認や取り消し方法については、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

●ネットワークから切断する

安全にバックアップをおこなうためには、ネットワークから切断する必要があります。

重要

ディスクの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、ログオフ、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

パソコン全体のバックアップを取る

とくに重要

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

手順1 「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「おてがるバックアップ」の「ソフトを起動」をクリック

重要

次の画面が表示された場合は、それぞれの画面の説明をよく読み、画面の指示にしたがって操作してください。
- 「エンド ユーザー使用許諾契約」
- 「製品の登録」
- 「おてがるバックアップのご紹介」

手順2 「パソコン全体」の「今すぐ実行」をクリック

バックアップが開始されます。DVD-Rなどにバックアップを取る場合は、ディスクをセットするようにメッセージが表示されます。画面の説明を読んで操作してください。

重要

バックアップ中にパソコンが休止状態になると、バックアップが中断されます(ご購入時の状態では、バックアップ中に自動で休止状態になることはありません)。

手順3 「バックアップが正常に完了しました。」と表示されたら「閉じる」をクリック

手順4 「おてがるバックアップ」画面右上の x をクリック

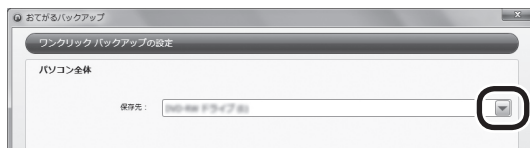
これで、バックアップは完了です。

バックアップの設定を変更する

バックアップ先を変更するときは、「おてがるバックアップ」が起動した状態で、次の手順をおこなってください。

手順1 「パソコン全体」の「設定」をクリック

「ワンクリック バックアップの設定」が表示されます。

手順2 「保存先」の右の▼をクリックして、表示されたメニューからバックアップを保存する場所を選ぶ

「保存先」を選ぶと、次の場所にバックアップが保存されます。

・xxxxxxx(E:)※1:光ディスク(DVD-Rなど※3)
・ボリューム(F:)※2:USB接続の外付けハードディスク

※1:「xxxxxxx」の部分はモデルによって異なります。
※2:外付けハードディスクが接続されている場合のみ表示されます。(F:)の部分は、お使いの環境により異なる場合があります。
※3:使用できる光ディスクの種類については「バックアップを取る場所について」(p.2-5)をご覧ください。

手順3 「設定を保存」をクリック

手順1の画面に戻ります。これで、設定が変更されました。「パソコン全体のバックアップを取る」の手順でバックアップを取ってください。

バックアップしたデータを復元する

ハードディスクの故障などのトラブルでデータが消えてしまったとき、また、操作を間違えて必要なデータを上書きしてしまったり消してしまったときは、バックアップを使ってデータをもとに戻すことができます。これをデータの「復元」と呼びます。

操作の流れ

次の流れでバックアップを取ったデータを復元します。

●「マイ データ」を復元する(p.2-11)

「おてがるバックアップ」を起動する

↓

復元するデータを選ぶ

↓

復元を始める

●「パソコン全体」を復元する(p.2-13)

再セットアップディスクを使う

↓

「おてがるバックアップ」を選ぶ

↓

復元を始める

復元の準備

復元をおこなう前に、次のデータやディスクを準備してください。

・バックアップを取ったデータ
・再セットアップディスク(「パソコン全体」の場合のみ)

重要

・「マイ データ」の復元前に、実行中のすべてのソフトを終了させてください(「おすすめメニューNavi」を含む)。なお、スクリーンセーバーが起動しないようにする手順については、「ほかのソフトなどが起動しないようにする」(p.2-9)をご覧ください。
・「マイ データ」を復元するとき、次のメッセージが表示された場合は、実行中のソフトがないか確認してください。実行中のソフトがあった場合は、終了してから復元の手順をやりなおしてください。
「選択した復元先に復元できません。」

「マイ データ」を復元する

とくに重要

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

手順1 DVD-Rなどのディスクや、外付けハードディスクにバックアップしたデータを復元する場合は、ディスクや外付けハードディスクをセットする

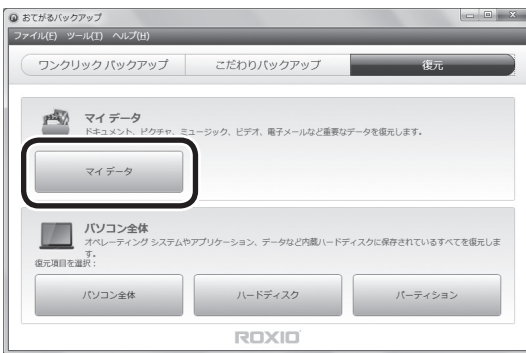
Dドライブ、またはCドライブにバックアップしたデータを復元する場合は、そのまま手順2へ進んでください。

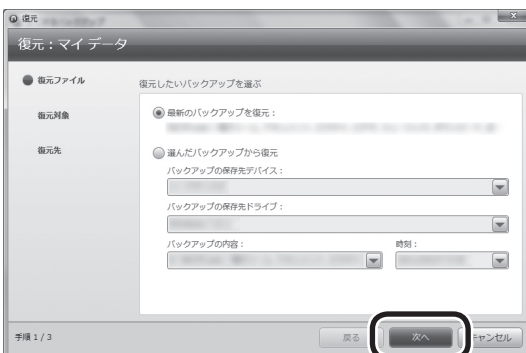
手順2 「ソフト＆サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「おてがるバックアップ」の「ソフトを起動」をクリック

重要

次の画面が表示された場合は、それぞれの画面の説明をよく読み、画面の指示にしたがって操作してください。
・「エンド ユーザー使用許諾契約」
・「製品の登録」
・「おてがるバックアップのご紹介」

手順 3 「復元」をクリック

手順 4 「マイ データ」をクリック

「復元:マイ データ」画面が表示されます。

手順 5 復元するデータを選んで、「次へ」をクリック

通常は、「最新のバックアップを復元」を選んでください。復元したいバックアップがわかっている場合は、「選んだバックアップから復元」を選び、表示されている各項目を設定してください。

手順 6 「次へ」をクリック

ファイルやフォルダを追加してバックアップした場合は、「次のフォルダーとファイルを対象に含める:」でバックアップしたファイルやフォルダを追加することで復元できます。

手順 7 「復元」をクリック

復元が開始され、「復元中」と表示されます。

手順 8 「復元が成功しました。」と表示されたら「閉じる」をクリックし、「おてがるバックアップ」画面の × をクリック

参考

ご購入時の状態では、「元の場所」にデータが復元されます。

「パソコン全体」を復元する

「パソコン全体」でバックアップを作成した時点の状態に復元します。
次の手順で復元をおこないます。

重要

- LaVieの場合は操作を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。
- 「パソコン全体」でバックアップした時点以前に戻したい場合は、再セットアップ(p.2-53)をおこなってください。この場合、パソコンはご購入時の状態に戻ります。
- 「パソコン全体」でバックアップ/復元した場合も録画番組データはそのまま利用できますが、SmartVision上で消去したデータは、復元後、データがCドライブに復元されても利用できません。また、パソコンが故障した場合、故障内容によっては、故障もしくは修理前にバックアップしたデータを復元しても、復元した録画番組を利用できない場合があります。
- ここで説明している操作をおこなうと、復元されたハードディスクがバックアップを作成した時点の状態に戻ります。バックアップを作成した時点より後に作成されたデータや、変更されたデータは失われます。必要なデータは、この操作の前に、個別にバックアップを取ってください。また、Media Center TVモデルでは、バックアップを作成した時点よりも後に録画した番組は、録画データが残っていても利用できなくなるため、この操作の前に、必要に応じてDVD-Rなどのディスクに保存してください。

手順1 パソコン本体の電源を入れる

手順2 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップディスク(1枚目)をセットする

「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容をよく読んで操作してください。その後、「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら「バックアップ時の状態に戻す(おてがるバックアップ)」をクリックしてください。
ディスクを交換するように指示が表示されたら、画面の指示にしたがってディスクを順番にセットしてください。
「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」の画面が表示されずに、通常のWindowsデスクトップ画面が表示されてしまったときは、再セットアップディスクをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

手順3 バックアップデータが外付けハードディスクなどのUSB機器にある場合は、USB機器をUSB 2.0対応コネクタ(●⊂⊃またはUSBマーク)に接続する

重要

USB 3.0対応コネクタ(SSマークまたはSSマーク)(搭載モデルのみ)はハードディスク復元時には利用できませんので、USB機器を接続しないでください。
コネクタの位置などについて詳しくは、「各部の名称」をご覧ください。

手順4 表示された画面で「パソコン全体」を選択して「次へ」をクリック

以降は、画面の指示をよく読んで操作してください。
操作の最後に、パソコンを再起動します。再起動の前に、DVD/CDドライブの中を確認し、ディスクが残っている場合は取り出しておいてください。

その他のバックアップ方法について

ここでは、「ワンクリックバックアップ」以外のバックアップ方法について紹介します。手動でバックアップを取ったり、Windowsの機能を使ってバックアップを取ることができます。また、再セットアップ中に使えるバックアップ用のソフト(p.2-69)もあります。

「こだわりバックアップ」でバックアップを取る

「おてがるバックアップ」には、「ワンクリックバックアップ」のほかに、細かく設定をしてバックアップが取れる「こだわりバックアップ」があります。定期的に自動でバックアップを取る、新たに追加された、あるいは更新されたファイルだけバックアップを取る、バックアップしたデータを暗号化するなど、さまざまな設定ができます。
「こだわりバックアップ」について詳しくは、「おてがるバックアップ」のヘルプをご覧ください。
なお、「こだわりバックアップ」では「ディスク、またはパーティション」の操作ができますが、この機能はパソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかたのみお使いください。

「FlyFolder」でバックアップを取る

複数のパソコンのデータを同期させることができます。自動ファイル保存機能を使って、任意のフォルダのファイルのバックアップを取ることもできます。指定したフォルダに自分で作成したデータを保存したり、そのデータを更新するたび、自動でバックアップデータが作成されます。
「FlyFolder」について詳しくは、「FlyFolder」のヘルプをご覧ください。

手動でバックアップを取る

大切なデータを、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどにコピーして保存しておくのも手軽なバックアップの方法です。いざというときは、それらのデータを使ってパソコンの状態をある程度まで復旧させることができます。この作業を定期的におこなえば、より効果的です。

重要

テレビ番組を録画したデータや購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、この方法ではコピー(バックアップ)できません。録画や購入に使用したソフトを使ってバックアップしてください。

そのほかのバックアップ方法

そのほか、このパソコンでは次のようなバックアップ方法も利用できます。

・Windowsの「バックアップと復元」を使う
　コントロールパネルの「バックアップと復元」で、ファイルやフォルダを、バックアップしたり復元したりすることができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。
・「データファイナルレスキュー」を使う
　Windowsが正常に起動しないときでも、「データファイナルレスキュー」を使ってバックアップを取ることができます。詳しくは、第4章の「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.2-69)をご覧ください。

再セットアップディスクを作成する

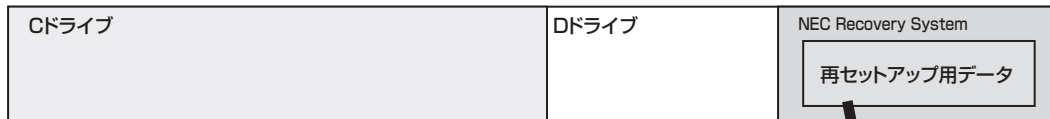
再セットアップディスクとは

再セットアップとは、パソコンが起動しなくなった際など、最後の手段としてハードディスクの内容をご購入時の状態に戻す作業です。通常は、ハードディスク内に準備されている専用のデータを用いておこないますが、次のような専用のデータが使えない場合に備えて「再セットアップディスク」を作成しておくことをおすすめします。

- **ハードディスクの再セットアップ用データを削除した場合**
- **ハードディスクのデータを消去する場合**
- **「おてがるバックアップ」で「パソコン全体」、「ディスク、またはパーティション」をバックアップしたディスクを利用して、ハードディスクを復元する場合**

再セットアップディスクは、パソコンのハードディスクから「再セットアップ用データ」をDVD-Rなどのディスクに移して作成します。万が一のときに備えて、パソコンが正常に動作しているときに、再セットアップディスクを作成しておくことを強くおすすめします。

再セットアップについて詳しくは、「再セットアップを始める前に」(p.2-54)を、再セットアップディスクを使ってできる再セットアップについては「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.2-66)をご覧ください。

●再セットアップディスクを作成して再セットアップする場合の一例

! 重要

通常は、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.2-59)をご覧になり、ハードディスクから再セットアップをおこなってください。

再セットアップディスク作成の準備

このパソコンに入っている「再セットアップディスク作成ツール」を使って、再セットアップディスクを作成します。
再セットアップディスクの作成には2〜3時間程度かかります(モデルやその他の条件によって時間は異なります)。

重要
再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。

未使用のDVD-Rディスクまたは未使用のBD-Rディスクを準備する

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。「作成の手順」の手順2(p.2-17)で画面に表示される枚数を確認してください。作成にはDVD1枚につき最大約100分かかります。

- 必ず次の容量のディスクを用意してください。
  DVD-Rディスクの場合:4.7Gバイトのもの
  DVD-R(2層)ディスクの場合:8.5Gバイトのもの
  BD-Rディスクの場合:25Gバイトのもの
  BD-R(2層)ディスクの場合:50Gバイトのもの
- 同じ種類のディスクを用意してください。
- 次のディスクは使用できません。
  CD-R、DVD+R、CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、BD-RE、BD-R XL、BD-RE XL
- 各機種用の再セットアップディスクを販売しています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
  http://nx-media.ssnet.co.jp/

※ブルーレイディスク(BD-R)を使用できるのは、ブルーレイディスクドライブモデルのみです。

市販の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っている電話回線ケーブルやLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

作成の手順を始める前に

ほかのソフトが起動していると、ディスクの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成の手順を始める前に次の操作をおこなってください。

- スクリーンセーバーが起動しないようにする
  次の手順で設定を変更します。
  ①「スタート」-「コントロールパネル」をクリック
  ②「デスクトップのカスタマイズ」をクリック
  ③「スクリーンセーバーの変更」をクリック
  ④「スクリーンセーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
  ⑤「コントロールパネル」の[x]をクリック
- 起動中のソフトをすべて終了する(ウイルス対策ソフトなどを含む)
  終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。
- TVモデルでは、次の予約時間とディスク作成の時間が重ならないようにする
  - 録画予約の時間
  - 番組表の受信時刻(SmartVision TVモデルのみ)

  予約の確認や取り消し方法については、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

重要
ディスクの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、ログオフ、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

再セットアップディスクの作成

作成の手順

とくに重要

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

手順1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「再セットアップディスク作成ツール」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック

重要

「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データが削除されている場合は、メッセージが表示され、再セットアップディスクを作成できません。
再セットアップ用データは次のような場合に削除されます。
- 再セットアップディスクを使用して「Cドライブの領域を変更して再セットアップ」をおこなった場合
- 手動で再セットアップ領域を削除、または再セットアップ用データを削除した場合

手順2 ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。

ディスクの種類を選ぶと、必要な枚数がここに表示される

手順3 設定内容を確認して、「次へ」をクリック

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で「作成開始ディスク」を選ぶと、途中から作成するように指定することもできます。

重要

・「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。DVD/CDドライブと用意したディスクの組み合わせで使用可能な最高速度で書き込みます。
・書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。

手順4 用意したディスクをセットする

アクセスランプが消えるまで待ってください。

参照

アクセスランプについて→「各部の名称」

手順5 「作成開始」をクリック

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

手順6 「OK」をクリック

手順7 ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるように記入する

続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。
「再セットアップディスクを作成しました。」と表示されたら、「作成完了」をクリックしてください。

重要

作成した再セットアップディスクは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

第2章

トラブル解決の第一歩

パソコンを使っていると、どうしてもトラブルに遭遇することがあります。
とくに、あなたが初心者なら、操作に迷うこともしばしばあるかもしれません。
あわてずに、まず、この章をご覧ください。

状況を確認する

トラブルが起きたときは、まず冷静になることが重要です。あわてて、適切でない操作をすると状況が悪化する場合もあるので、落ち着いて状況を確認しましょう。
電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定を忘れていたなど、意外に単純な原因であることもよくあります。

> パソコンから煙が出ていたり、異臭や異常な音がしたり、手で触れられないほど熱くなっているとき、パソコンやディスプレイ類に目に見える異常が生じたときは、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、バッテリパックを取り外し(LaVieのみ)、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-78)にご相談ください。

●しばらく様子を見る
パソコンの処理に時間がかかっていると、動作が止まったように見えることがあります。あわてて電源を切ったり、マウスやキーボードを操作せずに、しばらく待ってみてください。

●メッセージを書き留める
パソコンの画面に何かメッセージが表示されているときは、紙に書き留めてください。トラブルの原因を調べるときに役立つことがあります。

●直前の操作を思い出す
トラブルが起きたときどんな操作をしていたか、いつもと違う操作をしなかったかを思い出してください。また、最近、新しい周辺機器を付けた、新しいソフトをインストールした、といったことも解決のヒントになります。

トラブルの内容が確認できたら、状況に合わせてトラブル解決の方法を探します。

パソコンが使えない状態のとき

■ ソフトや画面が反応しなくなったとき(p.2-34)
急にマウスが動かなくなったり、画面が反応しなくなったとき(フリーズしたとき)は、ここを見てください。

■ 電源・パスワードなどのトラブルのとき(p.2-23)
このマニュアルの第3章で解決法を探してください。

■ パソコン起動時のトラブルのとき(p.2-27)
パソコンの電源を入れても正常に起動しないときは、ここを見てください。

パソコンが使える状態のとき

■ インターネットで調べる(p.2-21)
インターネットが使える状態なら、NECのWebサポート「121ware.com」で対処法を調べます。

インターネットのトラブルのとき

■ インターネットにつながらないとき(p.2-24)
ホームページが表示されない、インターネットにつながらない、などのトラブルが起きたときはここを見てください。

テレビに関するトラブルのとき

■『テレビを楽しむ本』で調べる(p.2-21)
テレビ機能を搭載しているモデルで、テレビが映らないなどのトラブルのときは、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

※Media Center TVモデルの『テレビを楽しむ本』は、「電子マニュアルビューア」でご覧いただけます。詳しくは、『テレビセットアップマニュアル』または、「準備・基本編」第1章の「「電子マニュアルビューア」について」をご覧ください。

このほかにも、トラブルの解決につながる情報があります。詳しくは「その他の解決法」(p.2-21)をご覧ください。
上記の方法を試しても問題が解決しない場合は、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話をしてください。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へのお問い合わせ方法やお問い合わせのコツについては、第5章の「NECのサポート窓口に電話する」(p.2-78)をご覧ください。

NECのWebサポート（121ware.com）でトラブルの事例を探す

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」は、あなたのパソコンライフに合わせたサービスを提供するホームページです。サポート情報も日々更新されているので、トラブル解決のために有効に活用してください。

●121ware.comのサポートコーナーを見る

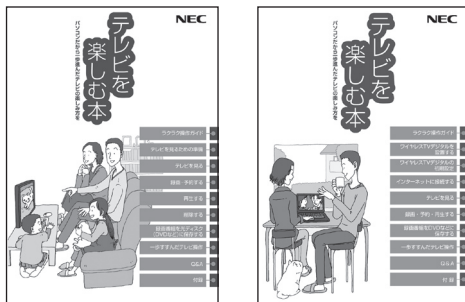
「サービス&サポート」をご覧ください。

Q&A情報やウイルス/セキュリティ情報など、いろいろなサポート情報を見ることができます。

・ サポートのコーナー「サービス&サポート」
 http://121ware.com/support/

その他の解決法

テレビに関するトラブル

テレビに関するトラブルは、テレビの設定の方法を見ながら操作したほうがよいことが多いので、『テレビを楽しむ本』というマニュアルにまとめて記載されています。

※添付されるマニュアルは、モデルによって異なります。
また、表紙のデザインは、お使いのモデルによって異なる場合があります。

※Media Center TVモデルの『テレビを楽しむ本』は、「電子マニュアルビューア」でご覧いただけます。詳しくは、『テレビセットアップマニュアル』または、「準備・基本編」第1章の「「電子マニュアルビューア」について」をご覧ください。

・ テレビに関して何か問題があるとき
・ テレビを見ているときに問題が起きたとき
・ 視聴予約や録画予約ができないとき
・ 番組表の受信がうまくいかないとき　など

上記のようなトラブルの場合は、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

Windowsのトラブル

Windows 7には、一般的なコンピュータのトラブル解決法をまとめた「コンピューターの問題のトラブルシューティング」があります。

「コンピューターの問題のトラブルシューティング」は、「スタート」-「コントロールパネル」-「問題の発見と解決」をクリックして、起動できます。Windows 7を使っていて何か困ったとき、トラブルが起きたときに、ここで対処法を調べてみましょう。

また、「ヘルプとサポート」にもトラブル解決の情報が記載されている場合があります。必要に応じて利用してください。
「ヘルプとサポート」は、「スタート」-「ヘルプとサポート」をクリックして起動します。

各ソフトのトラブル

ソフトを使っているときに起きた問題は、そのソフトのヘルプをのぞいてみましょう。トラブルの解決法が書かれていることがあります。
各ソフトのヘルプは、画面上の「？」や「ヘルプ」をクリックして起動します。

「Microsoft Fix itソリューションセンター」のご紹介

パソコンのトラブルには、基本ソフトであるWindowsやその更新プログラムであるWindows Update、またインターネット接続ブラウザ(Internet Explorer)で発生した問題も含まれています。
これらについては開発元であるマイクロソフト社が、解決策や修正プログラムを、同社のホームページで提供しています。

このマニュアルに記載されている対処法を試してもトラブルが解決しないときは、次のマイクロソフト社のホームページをご覧ください。
http://support.microsoft.com/fixit

第 3 章

トラブル解決Q＆A

ここでは、インターネット接続、起動時のエラー、ソフト使用中のフリーズ(動かなくなる状態)など、よくあるトラブルへの対処方法を説明しています。
また、パソコンの電源が入らないときなど、ソフト＆サポートナビゲーターや121ware.comでトラブルの原因を探せないときの解決方法も、ご紹介しています。

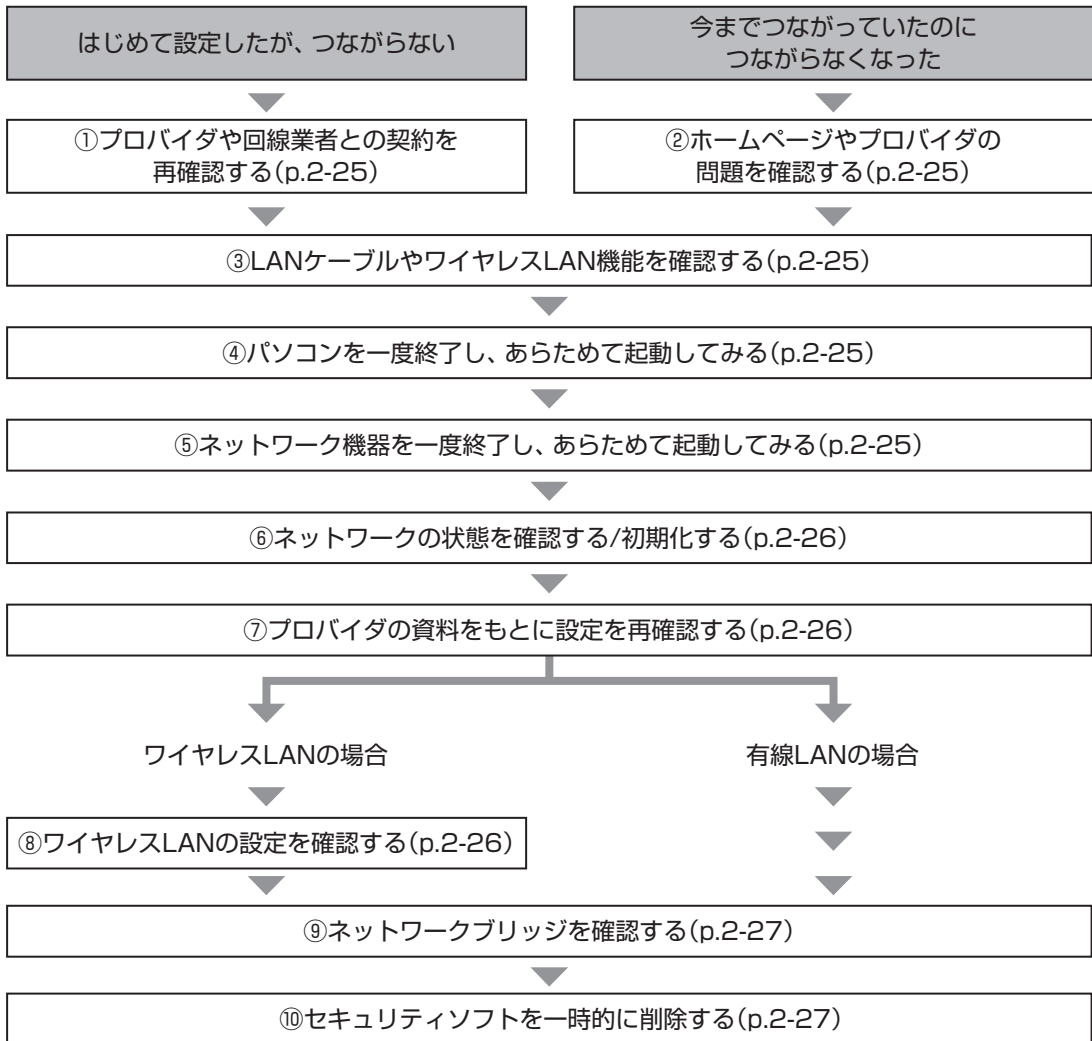
※テレビの視聴に関するQ&Aは、『テレビを楽しむ本』の「Q&A」をご覧ください。

※添付されるマニュアルは、モデルによって異なります。
　また、表紙のデザインは、お使いのモデルによって異なる場合があります。
※Media Center TVモデルの『テレビを楽しむ本』は、「電子マニュアルビューア」でご覧いただけます。詳しくは、『テレビセットアップマニュアル』または、「準備・基本編」第1章の「「電子マニュアルビューア」について」をご覧ください。

インターネットに関するトラブルのとき

インターネットのトラブルの原因はいろいろなケースがあります。怪しいポイントを順番にチェックしましょう。

次のポイントを順番にチェック

次の流れ図に沿って問題が起こっていそうなポイントをチェックしていきましょう。具体的な操作方法についてはそれぞれの参照先をご覧ください。

もし、上記の項目の中で、問題が起こっているポイントに心当たりがある場合は、その解決方法を最初に試してみてもかまいません。落ち着いて、ひとつずつ確認してください。

上記の項目をひととおりおこなっても接続できない場合は、プロバイダや回線業者にお問い合わせください。

つながらないときの対処方法

①プロバイダや回線業者との契約を再確認する

プロバイダや回線業者の資料をあらためてご覧いただき、次の点を確認してください。

・契約は完了しているか
・回線の開通日になっているか
・設定方法や設定内容で見落としはないか

■お問い合わせ先(契約の内容や設定の方法がわからないとき)

・プロバイダ(BIGLOBEなど)
・回線業者(NTTなど)

②ホームページやプロバイダの問題を確認する

■別のホームページが見られるかどうか確認する

別のホームページを開いて問題なく表示できれば、パソコンやネットワーク機器の設定に問題はありません。

ホームページのサーバに何かのトラブルが起きた場合や、メンテナンスをおこなっているとき、一時的にそのホームページが見られないことがあります。しばらく時間をおいてから、あらためてアクセスしてみましょう。

■お問い合わせ先(メンテナンス期間などがわからないとき)

・プロバイダ

③LANケーブルやワイヤレスLAN機能を確認する

■LANケーブルが正しく接続されているかどうか確認する

プロバイダの資料などをご覧になり、次の点について確認してください。

・ケーブルの種類を確認する
・接続するコネクタを確認する
・ケーブルに接触不良がないかどうか確認する

■ネットワーク機器の電源を確認する

プロバイダや回線業者から提供されているモデムなどの機器や、ルータなどのネットワーク機器の電源が入っていることを確認してください。

■お問い合わせ先(コネクタの種類などがわからないとき、機器の電源が入らないなどの問題があるとき)

・機器の説明書に記載されている問い合わせ先
・機器を提供しているプロバイダ

■ワイヤレスLAN機能がオンになっていることを確認する

ワイヤレスLANが使えるモデルで、ワイヤレスLAN機能がオフになっているときは、オンにしてください。

参照

ワイヤレスLAN機能について→「準備・基本編」の「第3章 インターネットを始める」

④パソコンを一度終了し、あらためて起動してみる

パソコンを一度終了し、あらためて電源を入れなおすと問題が解決することがあります。

⑤ネットワーク機器を一度終了し、あらためて起動してみる

モデム、ルータ、ワイヤレスLANアクセスポイントなど、ネットワーク機器の電源を入れなおすと問題が解決することがあります。それぞれの電源をいったん切り、5分ほど待ってから入れなおしてください。

■お問い合わせ先(機器の操作方法がわからないとき)

・機器の説明書に記載されている問い合わせ先
・機器を提供しているプロバイダ

⑥ネットワークの状態を確認する/初期化する

■「問題の発見と解決」でネットワークの問題を確認する

Windowsに搭載された機能でネットワークの状況を確認し、問題を解決できることがあります。
詳しくは、「困ったら見る」-「インターネット・ネットワーク関連のQ&A」-「インターネット接続」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号92060010で検索）の「インターネットに接続できない（設定を確認する）<<ADSL、FTTHの場合>>」-「「問題の発見と解決」でネットワークの問題を確認してください。」をご覧ください。

■「インターネットオプション」を初期化する

「インターネットオプション」を初期化することで問題を解決できることがあります。
詳しくは、「困ったら見る」-「インターネット・ネットワーク関連のQ&A」-「インターネット接続」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号92060010で検索）の「インターネットに接続できない（設定を確認する）<<ADSL、FTTHの場合>>」-「「インターネット オプション」を初期化してください。」をご覧ください。

⑦プロバイダの資料をもとに設定を再確認する

プロバイダの資料をあらためてご覧いただき、次の項目について正しい設定がおこなわれているかどうか確認してください。

・ユーザー名（ユーザーID）
・パスワード

これらは、プロバイダ経由でインターネットに接続するために必要な項目です。
ネットワーク機器の組み合わせなどによって設定方法が異なります。また、場合によっては「TCP/IP」や「DNS」といった項目の設定が必要となることもあります。

■お問い合わせ先（設定についてわからないとき）
・プロバイダ

⑧ワイヤレスLANの設定を確認する（ワイヤレスLAN接続のとき）

■ネットワーク名とセキュリティキーを確認する

ワイヤレスLANを使っているときは、次の項目について正しい設定がおこなわれているかどうか確認してください。

・ネットワーク名（SSID）
・セキュリティキー（暗号化キー、ネットワークキー、WEPキー、WPAキー）

上記の項目は、ワイヤレスLANアクセスポイント（またはその機能を持ったネットワーク機器）およびパソコンにそれぞれ設定する必要があります。

参照
パソコンの設定について（SSIDやセキュリティキー）→「準備・基本編」の「第3章 インターネットを始める」

■ワイヤレスLANアクセスポイントの無線チャンネル設定を確認する

ワイヤレスLANアクセスポイントの無線チャンネルが、パソコンで使用できる無線チャンネルに設定されていることを確認してください。また、複数のワイヤレスLANのネットワークを使っているときは、それぞれの無線チャンネルが重ならないように設定してください。

■お問い合わせ先（コネクタの種類などがわからないとき、機器の設定方法がわからないとき）
・機器の説明書に記載されている問い合わせ先
・機器を提供しているプロバイダ

参照
このパソコンで使用できる無線チャンネルについて→「付録」の「仕様一覧」に記載されているURLよりご覧ください。

⑨ネットワークブリッジを確認する

「ネットワークブリッジ」が設定されているときは、削除することで問題が解決することがあります。
詳しくは、「困ったら見る」-「インターネット・ネットワーク関連のQ&A」-「インターネット接続」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92060010 で検索）の「インターネットに接続できない（設定を確認する）<<ADSL、FTTHの場合>>」-「ネットワークブリッジを確認してください。」をご覧ください。

⑩セキュリティソフトを一時的に削除する

「ウイルスバスター」などのセキュリティソフトが、インターネットへの接続をブロックしていることがあります。セキュリティソフトを一時的に削除して、接続できるかどうか試してみてください。
なお、セキュリティソフトを削除すると、ウイルスなどに対して無防備な状態になります。

> **！重要**
> **セキュリティソフトを削除している間は、手順の中で指定したNECサポートサイト（121ware.com）以外のホームページには絶対に接続しないでください。**
> **また、「121ware.com」のホームページが表示されたときも、表示されなかったときも、必ずセキュリティソフトを追加しなおしてください。セキュリティソフトを削除した状態でインターネットに接続するのは危険です。くれぐれもご注意ください。**

詳しくは、「困ったら見る」-「インターネット・ネットワーク関連のQ&A」-「インターネット接続」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92060010 で検索）の「インターネットに接続できない（設定を確認する）<<ADSL、FTTHの場合>>」-「セキュリティソフトを一時的に削除してください。」をご覧ください。

パソコン起動時のトラブルのとき

Q 電源を入れてもディスプレイ（画面）に何も表示されない

電源を入れてもNECのロゴが表示されないとき、NECのロゴが表示された後に画面が真っ暗になりしばらく待っても反応がないとき

A 次に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。
なお、画面が真っ暗ではなくブルーになったときは、「ブルーの画面が表示された」（p.2-30）をご覧ください。

> **！重要**
> **パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。（この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください）**

1 電源の状態を確認する
「電源スイッチを押しても電源が入らない」（p.2-40）、「電源スイッチを押して電源ランプが点灯したのに、画面に何も表示されない」（p.2-41）をご覧になり、電源の接続とディスプレイの状態を確認してください。

2 パソコンに取り付けられている周辺機器を取り外す
パソコンの電源を切って周辺機器やUSBメモリーなどを取り外し、電源を入れなおしてください。

3 CD-ROMなどのディスクを取り出す
CD-ROMなどのディスクを取り出し、パソコンの電源を入れなおしてください。

4 パソコンを放電する(p.2-41)

5 BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.2-31)

6 再セットアップする
まず、ハードディスクの再セットアップ用データを使った再セットアップ(p.2-59)を試してみてください。この方法で再セットアップできなかったときは、「再セットアップディスク」を使った再セットアップ(p.2-66)を試してください。

参考
「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.2-78)

Q Windowsのロゴが表示された後に画面にメッセージが表示された

次に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

重要
パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 パソコンを放電する(p.2-41)

2 BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.2-31)

3 「前回正常起動時の構成」で再起動する(p.2-57)
再起動した後、自動的に「詳細ブート オプション」が表示されたときは、続けて手順4の操作をおこなってください。

4 「スタートアップ修復」をおこなう(p.2-57)

5 再セットアップする
まず、ハードディスクの再セットアップ用データを使った再セットアップ(p.2-59)を試してみてください。この方法で再セットアップできなかったときは、「再セットアップディスク」を使った再セットアップ(p.2-66)を試してください。

参考
「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.2-78)

Q 修復や再セットアップを促すメッセージが表示された

パソコンの修復を促すメッセージが表示されたときは

A メッセージの内容を確認して対応してください。
メッセージの内容にしたがって操作しても問題が解決しないときは、次に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。
「Windows7再セットアップ」の画面が表示された場合は、「終了」をクリックするとWindowsが起動します。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。（この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください）

1. **BIOS（バイオス）の設定をご購入時の状態に戻す（p.2-31）**
2. **「システムの復元」をおこなう（p.2-56）**
3. **パソコンを放電する（p.2-41）**
4. **「前回正常起動時の構成」で再起動する（p.2-57）**
5. **再セットアップする**
   まず、ハードディスクの再セットアップ用データを使った再セットアップ（p.2-59）を試してみてください。この方法で再セットアップできなかったときは、「再セットアップディスク」を使った再セットアップ（p.2-66）を試してください。

参考

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口（121コンタクトセンター）に電話してください。（p.2-78）

再セットアップを促すメッセージが表示されたときは

A 再セットアップしてください。（p.2-59）

Q 「A disk read error…」と表示された

次に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。（この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください）

1. **CD-ROMなどのディスクを取り出す**
   CD-ROMなどのディスクを取り出し、パソコンの電源を入れなおしてください。
2. **BIOS（バイオス）の設定をご購入時の状態に戻す（p.2-31）**

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口（121コンタクトセンター）に電話してください。（p.2-78）

Q 「BOOTMGR is missing/Press Ctrl+Alt+Del to restart」と表示された

次に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。（この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください）

1. **キーボードの【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押してパソコンを再起動する**
2. **パソコンを放電する（p.2-41）**

3 **BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.2-31)**

4 **「再セットアップディスク」を使って再セットアップする(p.2-66)**

上記のメッセージが表示されたときは、ハードディスクの再セットアップ用データを使って再セットアップすることができません。「再セットアップディスク」を使って再セットアップしてください。

参考

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.2-78)

Q 「A problem has been detected and windows has been shut to prevent…」と表示された

次に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 **パソコンを放電する(p.2-41)**

2 **BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.2-31)**

3 **問題が起こる前にインストールしたソフトがあれば、アンインストールする**

4 **「システムの復元」をおこなう(p.2-56)**

5 **再セットアップする**

まず、ハードディスクの再セットアップ用データを使った再セットアップ(p.2-59)を試してみてください。この方法で再セットアップできなかったときは、「再セットアップディスク」を使った再セットアップ(p.2-66)を試してください。

参考

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.2-78)

Q ブルーの画面が表示された

次に記載された対処方法を上から順番に試してみてください。

重要

パソコンの電源を切る必要があるときは、本体の電源ボタンを4秒以上押してください。(この方法で電源を切ることはパソコンに負担をかけます。緊急時以外はおこなわないでください)

1 **パソコンに取り付けられている周辺機器を取り外す**

パソコンの電源を切って周辺機器を取り外し、電源を入れなおしてください。

2 **BIOS(バイオス)の設定をご購入時の状態に戻す(p.2-31)**

3「前回正常起動時の構成」で再起動する(p.2-57)

4 問題が起こる前にインストールしたソフトがあれば、アンインストールする

5「システムの復元」をおこなう(p.2-56)

6 再セットアップする

まず、ハードディスクの再セットアップ用データを使った再セットアップ(p.2-59)を試してみてください。この方法で再セットアップできなかったときは、「再セットアップディスク」を使った再セットアップ(p.2-66)を試してください。

参考

「再セットアップディスク」を作成していないときは、作成済みの再セットアップディスクをご購入いただくこともできます。
詳しくは、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。
http://nx-media.ssnet.co.jp/

上記の対処方法をすべて試しても問題が解決しない場合は、パソコンが故障している可能性があります。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)に電話してください。(p.2-78)

Q BIOSの設定を変更したら、Windowsが起動しない

BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで、BIOSの設定を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。
次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してください。
なお、BIOSセットアップユーティリティで設定したパスワードは、次の手順をおこなっても初期値には戻りません。

重要

BIOSセットアップユーティリティで設定をおこなっている間は、パソコンの電源スイッチで電源を切らないでください。電源を切る場合は、必ずBIOSセットアップユーティリティを終了し、Windows起動後にWindows上から電源を切る操作をおこなってください。

1 市販の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻す

2 パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を押す

BIOSセットアップユーティリティが起動します。
BIOSセットアップユーティリティが起動しない場合や「NEC」のロゴ画面が表示されない場合は、いったん電源を切り、本体の電源を入れた直後にBIOSセットアップユーティリティが起動するまで、【F2】を繰り返し押してください。

3【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

4「はい」(または「Y」、「Ok」、「Yes」)を選んで【Enter】を押す

システムの設定が初期値に戻ります。

5【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

6「はい」(または「Y」、「Ok」、「Yes」)を選んで【Enter】を押す

システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

Q 省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない

省電力状態からもとの状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。

ソフトや周辺機器は省電力機能(スリープ状態／休止状態)に対応していますか？

A 対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

A スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記録)した内容が消えてしまう場合があります。

休止状態の間に、周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？

A 休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

CD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

A CD-ROMなどのディスクがセットされている状態で省電力状態から復帰すると、正しく復帰できずにCD-ROMから起動してしまうことがあります。
省電力状態にする場合には、CD-ROMを取り出してから省電力状態にするようにしてください。

Cドライブの空き容量が少なくなって、ハイブリッドスリープがオフになっていませんか？

A ドライブの空き容量が少なくなると、ご購入時の設定ではオンになっているハイブリッドスリープが自動的にオフになることがあります。ハイブリッドスリープがオフになっていると、次のような状態になったとき、スリープ状態になる前の状態が失われます。
- 電源コードが抜けたとき(VALUESTARの場合)
- バッテリが消耗したとき(LaVieの場合)

コントロールパネルの電源オプションの設定で、ハイブリッドスリープがオンになっているか確認してください。

参照
ハイブリッドスリープの設定について
→「省電力機能について」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160010 で検索

VALUESTAR

スリープ状態への移行中に停電したり、電源コードが抜けたりしませんでしたか？

A スリープ状態への移行中に停電したり、電源コードやACアダプタが抜けると、保持(記録)された内容が消えてしまう場合があります。

VALUESTAR

電源コードは正しく接続されていますか？(スリープ状態のとき)

A 電源コードのプラグを正しくコンセントに接続します。ACアダプタが添付されているモデルでは、ACアダプタの接続も確認してください。

VALUESTAR

画面消灯ボタンを押してください（VALUESTAR Lを除く）

A VALUESTAR Wの場合：
本体前面の画面消灯ランプが点灯しているときは、本体左側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押してください。
VALUESTAR Nの場合：
本体右側面の画面消灯ランプが点灯しているときは、本体右側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押してください。
上記の操作で、ナイトモードのオン/オフが切り換わります。
ナイトモードとは、夜間に画面表示を消したままでテレビ録画をしたり、一時的に画面表示や音声を消したりするときに使う機能です。

LaVie

パソコンがWindowsの終了処理をおこなっている途中で、次の操作をしませんでしたか？

A
・液晶ディスプレイを閉じた
・省電力状態にした
・電源を切った

このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。

LaVie

バッテリの残量が少なくなっていませんか？

A ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、復帰します。

省電力状態からの復帰（再開）に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。
・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にCD-ROMなどを入れ替えたとき
・省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
・省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。
・プリンタへ出力中のとき
・サウンド機能により音声を再生しているとき
・ハードディスクを読み書き中のとき
・CD-ROMなどを読み取り中のとき
・省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

パソコンのトラブルには、基本ソフトであるWindows 7で発生した問題も含まれています。Windows 7の開発元であるマイクロソフト社が、それらの問題の解決策や修正プログラムを、同社のホームページで提供しています。

このマニュアルに記載されている対処方法を試してもトラブルが解決しないときは、次のマイクロソフト社のホームページをご覧ください。
http://support.microsoft.com/fixit

Q シャットダウン時にエラーメッセージが表示される

多くの場合、シャットダウン前に操作していたソフトの終了が、システムのシャットダウンより時間がかかっているときにおこります。メッセージが出るがすぐに消えて、シャットダウンが正常に終わる(その後、パソコンが正しく起動できる)場合は、特に問題ありません。
シャットダウンができない(エラーメッセージが表示されたままになる)場合は、「Windowsを強制的に終了する」(p.2-35)の手順で電源を切ってください。

パソコンを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき

急にマウスが動かなくなったり、画面が反応しなくなったときは、画面の表示などに時間がかかっているか、ソフトやWindowsに異常が起きている(フリーズ、ハングアップ)可能性があります。しばらく待っても変わらないときは、次の対処をしてください。

●操作をキャンセルしてもとに戻す
ソフトに「元に戻す」、「取り消し」、「キャンセル」などの機能があるときは、使ってみてください。

●異常が起きているソフトを終了させる
通常の方法でソフトを終了できないときは、次の手順で、異常が起きているソフトを終了できます。

重要
この方法で終了した場合、データは保存できません。

1 **キーボードの【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押す**

2 **「タスクマネージャーの起動」をクリック**

3 **右側に「応答なし」と表示されているタスク(ソフト)をクリックして、「タスクの終了」をクリック**

●Windowsをいったん終了する
次の手順でWindowsをいったん終了(シャットダウン)し、電源を入れなおしてください。問題が解決する場合があります。

1 **「スタート」をクリック**

2 **「シャットダウン」をクリック**
パソコンの電源が切れて、電源ランプが消灯します。

この方法で電源が切れないときは、次の「Windowsを強制的に終了する」をご覧ください。

Windowsを強制的に終了する

「Windowsをいったん終了する」の手順で電源が切れない場合は、次の手順で強制的に電源を切ることができます。

重要

- ソフトなどで作成し、保存していなかったデータは消えてしまいます。
- この方法で電源を切ることは、パソコンに負担をかけるため、どうしても電源が切れない場合以外は使用しないでください。
- CDやDVDなどのディスクがDVD/CDドライブに入っている場合、取り出せる状態のときは取り出してから電源を切ってください。取り出さずに電源を切った場合は、次に電源を入れたとき正しく起動しないことがあります。その場合はCDやDVDなどのディスクを取り出した後で、電源を切ってください。
- SDメモリーカードなどのメモリーカードやUSBメモリーがセットされているときは、取り外してから電源を切ってください。
- アクセスランプが消えていることを確認してください。
- 電話回線を使うソフトを起動しているときは、電源を切る前にソフトを終了してください。

参照

アクセスランプについて→「各部の名称」

1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける（通常、4秒以上）

この操作を「強制終了」といいます。

2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押す

電源が入ります。「Windowsエラー回復処理」が表示された場合は、そのまましばらくお待ちください。そのほかのメッセージが表示された場合は、「パソコン起動時のトラブルのとき」(p.2-27)をご覧になり、対処してください。

3 Windowsが起動したら、「スタート」をクリック

4 「シャットダウン」をクリック

パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう一度4秒以上パソコン本体の電源スイッチを押し続けてください。

VALUESTAR Lで、上記の操作でも電源が切れないときは、いったんパソコン本体とディスプレイの電源コードのプラグをコンセントから抜いて、90秒以上待ってからコンセントに入れなおしてみてください。

それでも症状が改善しない場合は、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）(p.2-78)へお問い合わせください。

パソコンの様子がおかしいとき

Q 煙や異臭・異音がする

煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱いとき、パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じたとき

A すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して(LaVieのみ)、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-78)にお問い合わせください。
電源が切れないときは、本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

Q ピーッというエラー音がした

ハードディスクの障害の可能性があります。メッセージや症状を書き留め、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-78)へお問い合わせください。

Q パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態で、何も作業をしていないのに、ハードディスクが自動的に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためで、問題ありません。
また、ハードディスクの空き容量が少ないときや、データの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、アクセス音が長く続くことがあります。このようなときは「ディスク デフラグ」や「ディスク クリーンアップ」を実行してください。
(データの断片化とは、ハードディスク上のデータの配置が不連続になり、空きスペースが細かく分かれてしまった状態をいいます)
「ディスク デフラグ」、「ディスク クリーンアップ」については、Windowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。
それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-78)にお問い合わせください。

Q ファンの音が大きい

パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン(換気装置)があります。
ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔(排熱孔)にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、ファンの音が大きくなることがあります。その場合は「付録」の「お手入れについて」をご覧になり、通風孔(排熱孔)を清掃してください。
あまりにも異常な音がするときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-78)へお問い合わせください。

Q パソコンが熱をもっている

パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔(排熱孔)にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、内部温度が高くなることがあります。その場合は「付録」の「お手入れについて」をご覧になり、通風孔(排熱孔)を清掃してください。
あまりにもパソコンが熱いときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-78)へお問い合わせください。

マウス、キーボード、NXパッド(LaVieのみ)がおかしいとき

重要

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示やアクセスランプが点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

参照

アクセスランプについて→「各部の名称」

Q マウス、NXパッド(LaVieのみ)を動かしても、キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い

マウスポインタが◎の形に変わっていませんか？

A マウスポインタが◎の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスやキーボード、NXパッド(LaVieのみ)の操作が受け付けられないことがあります。処理が終わるまで待ってください。

しばらく待っても、マウスやキーボード、NXパッド(LaVieのみ)の操作ができないとき

A ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。「パソコンを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき」(p.2-34)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

USBマウス、PS/2キーボードをお使いですか？

A USBマウス、PS/2キーボードは、正しいコネクタにしっかり接続されていないと正しく動作しません。
「準備・基本編」をご覧になり、正しく接続されているか、またプラグがきちんと差し込まれているかを確認してください。正しく接続されていない場合は、接続しなおしてください。

マウスをUSB 3.0対応コネクタに接続していませんか？(USB 3.0対応コネクタが搭載されたモデルのみ)

A 再セットアップ時など、Windowsが起動していない場合は、USB 3.0対応コネクタ(SS⇐または SS⇐)は利用できません。マウスはUSB 2.0対応コネクタ(⇐または⇐)に接続しなおしてください。コネクタの位置などについて詳しくは、「各部の名称」をご覧ください。

光学式マウスが正しく動作しない

A 光学式マウスは、マウス底面にある赤い光をセンサーで検知することで、マウスの動きを判断しています。次のようなものの上では正しく動作しない(操作どおりにマウスポインタが動かない)場合があります。

- 反射しやすいもの(鏡、ガラスなど)
- 光沢があるもの(透明、半透明な素材を含む)
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの(雑誌や新聞の写真など)
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの

操作どおりにマウスポインタが動かないときは、光沢のない無地の印刷用紙や光学式マウスに対応したマウスパッドなどの上で操作してください。

レーザーマウスが正しく動作しない

A レーザーマウスは、マウス底面からのレーザーをセンサーで検知することで、マウスの動きを判断しています。反射しやすいもの(鏡、透明なガラスなど)の上では正しく動作しない(操作どおりにマウスポインタが動かない)場合があります。
操作どおりにマウスポインタが動かないときは、レーザーマウスに対応したマウスパッドなどの上で操作してください。

マウスポインタの設定を変えていませんか？

A ソフトによっては、マウスポインタの設定によりポインタが表示されなくなることがあります。

参照

VALUESTARの場合：
→「マウス」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93025010 で検索
LaVieの場合：
→「マウスとスライドパッド」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93030010 で検索

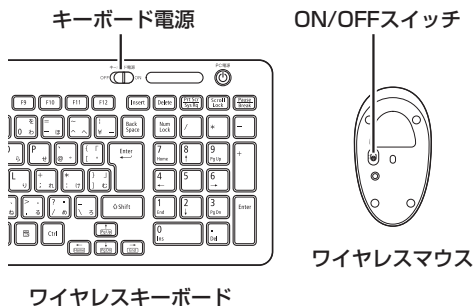
ワイヤレスマウス・キーボード

キーボード電源またはマウスのスイッチがOFFになっていませんか？

A キーボード電源またはマウスのON/OFFスイッチがOFFになっていると動作しません。OFFになっているときはONにしてください。

キーボード電源

ワイヤレスキーボード

ON/OFFスイッチ

ワイヤレスマウス

ワイヤレスマウス・キーボード

パソコン本体から離れた所で操作していませんか？

A 周辺からの電波の影響で通信距離が短くなることもあります。マウス、キーボードをパソコン本体の正面すぐ近くに置いてみて、操作できるか確認してください。

ワイヤレスマウス・キーボード

キーボード電源またはマウスのスイッチを入れなおしてください

A キーボード電源またはマウスのON/OFFスイッチを切り、10秒後に再度スイッチを入れてみると操作できることがあります。

ワイヤレスマウス・キーボード

マウス、キーボードの登録をしなおしてください

A このパソコンのご購入時には、無線でマウス、キーボードからパソコン本体に信号を送るための登録がされていますが、何らかの原因で登録内容が消えて、マウス、キーボードからの操作ができなくなることがあります。「付録」をご覧になり、登録をしなおしてください。

ワイヤレスマウス・キーボード

キーボード、マウスの電池が切れていませんか？

A 「準備・基本編」をご覧になり、電池を新しいものに交換してください。

上記の対処方法をすべて試しても正しく動作しないときは、キーボードやマウスの故障かパソコン本体の電波受信部の故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-78)にお問い合わせください。修理、交換を依頼される場合は、キーボード、マウス、パソコン本体のすべてを点検いたします。

電波の影響が出やすい状態（ワイヤレスマウス・キーボード）

次のような状態は、電波の影響を受けやすいので避けてください。

- パソコン本体が、スチール机やスチール棚のような金属製のものの上に設置してある場合
- パソコン本体の前に周辺機器を設置してある場合
- このパソコンを複数、隣接して使っている場合
- このパソコンに隣接した場所で電気製品をご使用になる場合
- 周囲で2.4GHz帯（2.4～2.4835GHz）を使用する機器（無線LAN、Bluetooth®（ブルートゥース）テクノロジー対応機器、電子レンジなど）を使用している場合
- 携帯電話やコードレス電話などで話し中の場合

LaVie

指先やNXパッドが汚れていませんか？

A 指先やNXパッドに水分や油分が付いていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

LaVie

NXパッドの2か所以上に同時に触れていませんか？

A NXパッドの2か所以上に同時に触れていると、正常に動作しません（マルチタッチ・ジェスチャーでの操作を除く）。1か所だけに触れるようにしてください。

LaVie

キー入力をしながらNXパッドを操作しようとしていませんか？

A ご購入時の設定では、誤動作防止のため、キー入力時のNXパッドのタップ操作ができないようになっています。キー入力が終わってからNXパッドを操作するか、次の手順で設定を変更してください。

1 **「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「マウス」をクリック**
「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 **「タッピング」タブの「タイピング」の「キー入力時タップを無効にする」のチェックを外す**

3 **「OK」をクリック**
これで、キー入力時にNXパッドを操作できるようになります。

LaVie

USBマウスを接続していませんか？

A ご購入時の状態では、USBマウスを接続するとNXパッドの機能が無効になるように設定されています。
USBマウスを外すか、次の手順でNXパッドを有効にする設定を変更して、USBマウス接続時にもNXパッドの操作ができるようにしてください。

1 **「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「マウス」をクリック**
「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 **「USBマウス接続時の動作」タブをクリック**

3 **「USBマウスと同時に使用する」を選ぶ**

4 **「OK」をクリック**
これで、NXパッドが有効になります。

Q マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった

VALUESTAR

やわらかい布などでふき取ってください

A キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-78)にお問い合わせください。

重要

- ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。
- パソコンのそばで飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になりますのでご注意ください。

LaVie

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください

A キーボードだけでなく、パソコン内部に飲み物が入ると、パソコンの故障の原因になります。すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-78)にお問い合わせください。

重要

- ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードやパソコンが故障することがあります。
- パソコンのそばで飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になりますのでご注意ください。

電源／バッテリのトラブルがおきたとき

Q 電源スイッチを押しても電源が入らない

VALUESTAR

本体の電源スイッチで、電源を入れていますか？

A リモコンやキーボードの電源スイッチで電源が入らなかった場合は、本体の電源スイッチを押してみてください。

VALUESTAR

本体の電源コードは正しく接続されていますか？

A 「準備・基本編」の第1章をご覧になり、電源コードの接続を確認してください。
VALUESTAR Nの場合は、ACアダプタの接続状態も確認してください。

LaVie

バッテリパックやACアダプタは、正しく接続されていますか？

A 「準備・基本編」の第1章をご覧になり、バッテリパックやACアダプタの接続状態を確認してください。

LaVie

バッテリは十分充電されていますか？

A ACアダプタを接続していない状態でバッテリ容量が不足していると、パソコンの電源は入りません。ACアダプタを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。ACアダプタを接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-78)へお問い合わせください。

正しい操作方法で、電源を入れていますか？

参照

電源スイッチの操作方法→「準備・基本編」第2章の「パソコンを使い始める」
電源ランプが点灯している場合→「電源を入れてもディスプレイ(画面)に何も表示されない」(p.2-27)

まれに、パソコン本体が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。

VALUESTARの場合

パソコンの電源が切れた状態で、電源コードのプラグをコンセントから抜き、そのまま90秒以上放置してください。
その後、電源コードのプラグをコンセントに差し込み、電源を入れなおしてください。

LaVieの場合

パソコンの電源が切れた状態で、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを外します。
そのまま90秒以上放置してください。
その後、バッテリパックを取り付け、電源コードのプラグをコンセントに差し込み、電源を入れなおしてください。

参照

バッテリパックの取り外し方について→「準備・基本編」第4章の「バッテリ」

Q 電源スイッチを押して電源ランプが点灯したのに、画面に何も表示されない

VALUESTAR

ディスプレイは正しく接続/設定されていますか？

下に記載された対処方法を試してみてください。

VALUESTAR Lの場合

「準備・基本編」第1章の「電源コードを接続する」をご覧になり、ディスプレイの電源の接続を確認してください。

VALUESTAR W、VALUESTAR Nの場合

「準備・基本編」第4章の「音量や画面の明るさの調節」をご覧になり、ナイトモードになっていないか確認してください。

この操作をおこなってもパソコンの電源が入らない場合は、「電源を入れてもディスプレイ(画面)に何も表示されない」(p.2-27)の対処方法2以降をおこなってください。

Q 電源コードをまちがって抜いた。停電で急に電源が切れた

VALUESTAR

パソコンの電源を入れなおしてください

落ち着いて電源コードのプラグを差し込んで、パソコンの電源を入れなおしてください。
普段どおりパソコンが起動して、Windowsの画面が表示されれば大丈夫です。
おかしな画面が表示されたときは、「パソコン起動時のトラブルのとき」(p.2-27)でその現象を探してください。

Q 電源が切れない。強制的に電源を切りたい

「Windowsを強制的に終了する」(p.2-35)をご覧ください。

Q パソコンの電源が勝手に入ってしまう

「おてがるバックアップ」で、バックアップのスケジュール設定をしている場合、バックアップのためにパソコンが自動起動することがあります。
また、SmartVision TVモデルの場合は、予約の実行や番組表を自動取得する前にパソコンが自動的に起動して、予約や番組表取得に備えます。
ご購入時の状態では、番組表の受信のため、毎日午前10時にパソコンが自動的に起動します。起動タイミングについて詳しくは、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。
そのほか、インターネットからWindowsのモジュール(ドライバやソフトなどの更新プログラム)をダウンロードしてアップデートする際など、設定によってはパソコンが自動的に再起動するため、勝手に電源が切れたり入ったりするように見えることもあります。

Q パソコンの電源が勝手に切れる

このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。省電力機能の設定を確認してください。省電力機能について詳しくは、「準備・基本編」第4章の「省電力機能」をご覧ください。
TVモデルの場合、ご購入時の状態では、予約実行後にスリープ状態になります。
いずれの場合も、電源が切れたわけではありません。

Q 電源スイッチを入れたら、いつもと違う画面が表示された

CD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされていませんか？

A CD-ROM、SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源を入れなおしてください。

Q バッテリの駆動時間が短くなった。フル充電できない

LaVie

次の手順で「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」を使ってバッテリリフレッシュをおこなってください

1. **パソコンにACアダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む**
2. **「スタート」-「すべてのプログラム」-「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」-「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」をクリック**
   「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」についての説明の画面が表示されます。バッテリのリフレッシュおよび診断を開始する前に注意事項を確認してください。
3. **「次へ」をクリック**
4. **「開始」をクリック**
5. **「はい」をクリック**
   バッテリのリフレッシュおよび診断が開始されます。中止するには「中止」をクリックし、確認画面で「はい」をクリックしてください。

6 診断結果を確認する

「バッテリ状態」が「劣化」と表示された場合には、お早めにバッテリ交換をおすすめします。「警告」と表示されたときは、安全のために充電を止めますので充電はできません。バッテリパックを交換してください。

重要

- バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。
- バッテリリフレッシュおよび診断中にACアダプタやバッテリパックを取り外すと、バッテリのリフレッシュが中止されます。
- バッテリが「警告」状態になった場合は充電ができなくなるため、バッテリリフレッシュをすることができません。

参考

- お使いの機種で使用できるバッテリパックについて確認するには、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」の「サービス＆サポート」(http://121ware.com/support/)で、右側のメニューの「商品情報検索」をクリックしてください。お使いの機種を検索後、型番をクリックし、左側のメニューから「自社商品接続情報」をクリックすると、バッテリパックなどの型番が確認できます。
- バッテリパックのご購入については、本体を購入された販売店、またはNECのWeb購入サイト「NEC Direct」(http://www.necdirect.jp/)にお問い合わせください。

参照

使用済みバッテリパックのリサイクルについて
→「バッテリパックのリサイクルについて」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93150050 で検索

使用中に画面に何も表示されなくなったとき

パソコン起動時の画面表示のトラブルのときは、「パソコン起動時のトラブルのとき」(p.2-27)をご覧ください。

Q ディスプレイ(画面)に何も表示されない

キーボードのキー(【Shift】など)を押すか、マウスを軽く動かしてみてください

A 画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないとディスプレイの電源が切れるように設定されています。

パソコン本体の電源スイッチを押してください

A 画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。
このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。

参照

省電力機能について→「準備・基本編」第4章の「省電力機能」

省電力状態にしていましたか？

A 省電力状態から正常に復帰できないときは、「省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない」(p.2-32)をご覧ください。

パソコン本体やディスプレイのケーブルなどは正しく接続されていますか？

A 「準備・基本編」をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。
すべて正しく接続されているのにディスプレイに何も表示されないときは、ディスプレイまたはパソコン本体の故障が考えられます。NECサポート窓口（121コンタクトセンター）（p.2-78）にお問い合わせください。

ディスプレイの輝度（明るさ）が低くなっていませんか？

LaVieの場合

キーボードで画面の輝度（明るさ）を調節してください。設定を変更する方法については、「準備・基本編」第4章の「音量や画面の明るさの調節」をご覧ください。
なお、電源プランを「ECO」に切り換えると画面の輝度が20%になります。また、一定時間操作しないと輝度は5%になります。
「ECO」で使用中、ディスプレイで画面の輝度を調節した場合、スリープ状態からの復帰時や再起動すると画面の輝度は「ECO」の設定に戻ります。

VALUESTAR W、VALUESTAR Nの場合

本体左側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタン（VALUESTAR W）、本体右側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタン（VALUESTAR N）で画面の輝度（明るさ）を調節してください。設定を変更する方法については、「準備・基本編」第4章の「音量や画面の明るさの調節」をご覧ください。
なお、電源プランを「ECO」に切り換えると画面の輝度が50%になります。また、一定時間操作しないと輝度は5%になります。

ディスプレイがセットになっているモデルの場合

ディスプレイのマニュアルをご覧になり、画面の輝度（明るさ）を調節してください。なお、電源プランを「ECO」に切り換えると画面の輝度が50%になります。また、一定時間操作しないと輝度は5%になります。

VALUESTAR

ディスプレイの電源ランプが消えていませんか？

ディスプレイがセットになっているモデルの場合、ディスプレイの電源ランプが点灯していないときは、いったんパソコン本体の電源を切ります。「準備・基本編」第2章の「パソコンを使い始める」をご覧になり、ディスプレイの電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れなおしてください。

VALUESTAR

画面消灯ボタンを押してください（VALUESTAR Lを除く）

A VALUESTAR Wの場合：
本体前面の画面消灯ランプが点灯しているときは、本体左側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押してください。
VALUESTAR Nの場合：
本体右側面の画面消灯ランプが点灯しているときは、本体右側面の明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンを押してください。
上記の操作で、ナイトモードのオン/オフが切り換わります。
ナイトモードとは、夜間に画面表示を消したままでテレビ録画をしたり、一時的に画面表示や音声を消したりするときに使う機能です。

VALUESTAR

パソコン起動後にディスプレイの接続をおこなっていませんか？

ディスプレイがセットになっているモデルの場合、パソコン起動後にディスプレイを接続してもディスプレイには何も表示されないことがあります。このような場合は、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けていったん強制的に電源を切り、5秒以上待ってからもう一度電源を入れなおしてください。

LaVie

外部ディスプレイを接続していませんか？

A 外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイに設定しているときは、電源ランプが点灯していても、パソコンの液晶ディスプレイには画面が表示されません。
画面を表示させるには、キーボードの【Fn】+【F3】を押すか、「画面の設定」で画面の出力先を変更してください。画面の設定の手順については、「画面を表示するディスプレイを切り換える」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93180110 で検索)をご覧ください。
(出力先を「画面の設定」で変更すると、変更後の画面に設定の確認メッセージが表示されます。そのまま何も操作しないと画面の出力先は変更前の状態に戻ります。いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます)
また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。

Q Windows Media Centerを使用していると、動かなくなってしまう。動作が遅い

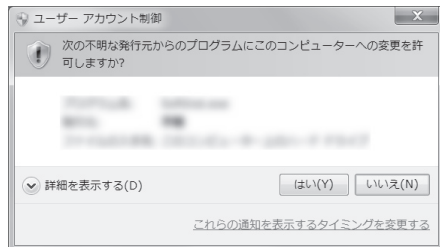
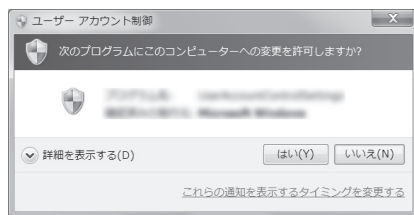
Windows Media Center画面の下に、ほかのソフトの画面が表示されていませんか？

A ほかのソフトの画面が「Windows Media Center」画面の下に重なっている可能性があります。「Windows Media Center」右上の(最小化ボタン)をクリックして、ほかのソフトの画面が表示されていないか確認します。ソフトの画面やメッセージが表示されていた場合は、内容をよく読んで操作してください。

メッセージが表示されたとき

Q 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された

Windowsには、ユーザーの操作やプログラムの実行を監視し、処理を続行する前に画面を表示してユーザーの許可を求める「ユーザー アカウント制御」機能があります。
ソフトを起動したり、操作しているときに、次のような「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

※プログラムによっては、メッセージが異なることがあります。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、操作やプログラムの内容をよく確認し、「はい」をクリックしてよいかどうか判断してください。不正なアクセスやウイルスなどによって、悪意のある操作やプログラムの実行がおこなわれようとしたとき、「いいえ」をクリックすることで被害を防げることがあります。
「標準ユーザー」でパソコンを使用しているときは、「ユーザー アカウント制御」画面で「管理者」のユーザーのパスワードを入力する必要があります。

パスワードのトラブルがおきたとき

Q パスワードを入力すると「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示される

(キャップスロック)や(ニューメリックロック)の状態を確認してください

A パスワードは、大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。必要に応じてキャップスロックの状態を切り換え、大文字もしくは小文字が入力できるようにしてください。
また、ニューメリックロックがオンになっていると、テンキーから数字や記号が入力されます。必要に応じて状態を切り換えてください。

参照

キャップスロック、ニューメリックロックについて
→「キーの使い方」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93040030 で検索

Q パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

A 一度パスワードをまちがえると(または何も入力しないでをクリックすると)、「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示されるので「OK」をクリックします。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、次の画面でその「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。
どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットする必要があります。リセットするには、あらかじめ「パスワード リセット ディスク」を作成しておく必要があります。詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。
または、「マルチユーザー機能」でこのパソコンにほかのユーザー名が登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」-「ユーザーアカウントの追加または削除」の「アカウントの管理」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。
詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

参照

- **ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイト、ネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。**
- **「標準ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、パスワードを設定しなおすことはできません。**

これらの方法で解決できない場合は、パソコンの再セットアップが必要になります。

参照

再セットアップについて→「第4章 再セットアップする」(p.2-53)

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

A BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動できません。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-78)にご相談ください。

参照
BIOSセットアップユーティリティについて
→「ハードウェア環境の設定」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 93220040 で検索

ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

A NECサポート窓口(121コンタクトセンター)では、パスワードを解除できません。もし、ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、また、ハードディスクを有償で交換することになります。ハードディスクのパスワードを忘れないよう、十分注意してください。

ウイルスの感染が疑われるとき

Q ウイルスが引き起こす症状を知りたい

ウイルスは次のような症状を引き起こすことがあります。
これらの現象が起こったときはウイルスに感染しているかもしれません。
ウイルス対策ソフトなどでウイルスをチェック(ウイルススキャン)をしてください。

●動作が重くなった
- 「Word」や「Excel」などのソフトの動きが急に遅くなった
- メモリが不足しがちになる

●見た目が変わった
- アイコンが変更されている
- 知らないグラフィックス(アニメーション、絵、図形など)が表示される
- 画面の表示が崩れている

●設定が変わった
- Internet Explorerに設定したホームページが変わってしまった
- ダイヤルアップ接続の接続先が知らない電話番号(海外など)に変更されている

●うまく動かない
- プログラムが起動しない
- ファイルが壊れてしまった
- キーボードから入力ができない
- 勝手にインターネットに接続しようとする
- Windowsが、突然終了してしまう

●ファイルが変わった
- 知らないファイルがいつのまにかできている
- ファイルのサイズが大きくなった

●その他、次のようなケースでウイルス感染が心配な場合
- ホームページを見ていたら、勝手に何かをインストールされてしまった
- 電子メールの添付ファイルが開かない
- 知らないうちに自分の名前で電子メールが送られていた

・クレジットカード会社から、身に覚えのない請求書が来た

ウイルス対策ソフト(ウイルスバスターなど)が自動的にウイルスを検出したときは、次のようなメッセージが表示されます。

画面は状況により異なります。

ウイルス対策ソフトについて
→「ウイルス感染の防止」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 91040010 で検索

Q ウイルスをチェックしたい

ウイルス対策ソフト(ウイルスバスターなど)を使って、ウイルスに感染したかどうかを調べることができます。
感染が疑わしいときは、すぐにウイルスをチェックすることをおすすめします。
また、ウイルス対策ソフトを使って、ウイルスの侵入を常に監視したり、定期的なウイルスチェックを自動でおこなうこともできます。

ウイルス対策ソフトについて
→「ウイルス感染の防止」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」
▶検索番号 91040010 で検索

Q ウイルスに感染してしまったら

まずほかの人への感染を防止する

ウイルスによっては、感染すると自動的にウイルスを添付したメールを作成し、勝手にほかの人に送信して感染を広げようとするものもあります。
ウイルスに感染してしまったときは、ほかの人に感染を広げないためにも大至急で感染の防止策をとりましょう。

●ネットワーク接続について

・「ウイルスバスター」をご使用の場合
「ウイルスバスター」は、インターネット上のクラウド(サーバ)上の情報を使用して通信をおこないながらウイルスのチェックをおこなうため、インターネットに接続している(インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルを取り外さない、また、ワイヤレスLAN機能はオフにしない)状態でウイルスの駆除をおこなってください。

・「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトをご使用の場合
インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルを、パソコンから取り外します。ワイヤレスLANの場合は、ワイヤレスLAN機能をオフにします。

！重要
パソコンの電源は切らないでください。ウイルスによっては症状が悪化することがあります。

●関係者に連絡する

もしかしたら、すでにほかの人のパソコンにもウイルスが広がっているかもしれません。自分のパソコンがウイルスに感染したことを、次のような関係者に速やかに連絡しましょう。

・電子メールのアドレス帳に登録されている会社や知人
・LANやワイヤレスLANなどでつながっているパソコンの使用者

！重要
関係者には、電話やFAXを使って連絡してください。電子メールを使うとウイルスの感染を広げるおそれがあります。

ウイルスを駆除する

ウイルス対策ソフト(ウイルスバスターなど)を使って、ウイルスを駆除します。

参照

- ウイルス対策ソフトについて
  →「ウイルス感染の防止」
  ▶「ソフト&サポートナビゲーター」
  ▶検索番号 91040010 で検索
- ウイルスの駆除について→「ウイルスバスター」のヘルプ

ウイルスの被害を届ける

コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人にかかわらず、次の届け先に届け出てください。届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
IPAセキュリティセンター
FAX: 03-5978-7518
E-mail: virus@ipa.go.jp
URL: http://www.ipa.go.jp/security/
IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
(IPA)コンピュータウイルス110番
TEL: 03-5978-7509

ウイルスを予防するには

●ウイルス対策ソフトを活用する

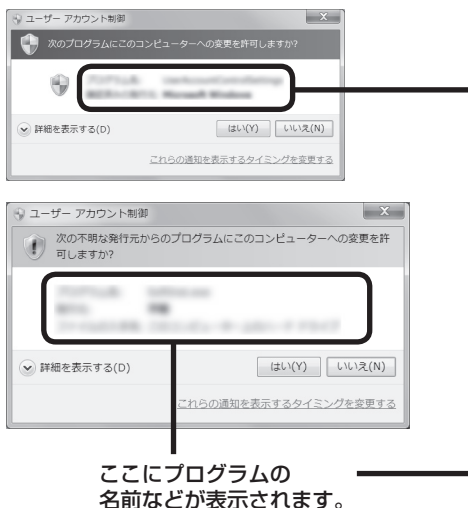
ウイルス対策ソフト(ウイルスバスターなど)は、手動でウイルスをチェックするだけでなく、ウイルスの侵入を常に監視したり、定期的なウイルスチェックを自動でおこなうことができます。

参照

ウイルス対策ソフトについて
→「ウイルス感染の防止」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91040010 で検索

●「ユーザー アカウント制御」で意図しない操作やプログラムの実行をキャンセルする

Windowsには、ユーザーの操作やプログラムの実行を監視し、処理を続行する前に次のような画面を表示してユーザーの許可を求める「ユーザー アカウント制御」機能があります。

※プログラムによっては、メッセージが異なることがあります。

不正なアクセスやウイルスなどによって、悪意のある操作やプログラムの実行がおこなわれようとしたときも、上記の画面で「いいえ」を選ぶことで、被害を防げることがあります。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、操作やプログラムの内容をよく確認し、「はい」をクリックしてよいかどうか判断してください。

参照

ユーザー アカウント制御について→「スタート」-「ヘルプとサポート」で「ユーザー アカウント制御」を検索

その他のトラブルがおきたとき

Q DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった

DVDやCDの再生中または書き込み中ではありませんか？

A DVDやCDの再生中または書き込み中のときは、DVD/CDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。停止させてからディスクを取り出してください。

パソコンの電源は入っていますか？

A パソコンの電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。電源を入れてからディスクを取り出してください。

画面の操作で取り出しをしてみてください

A 「スタート」-「コンピューター」をクリックして画面を表示します。DVD/CDドライブのアイコンを右クリックして「取り出し」をクリックしてください。

パソコンを再起動してからイジェクトボタンを押してください

A アクセスランプが消えていることを確認した後いったんパソコンの電源を切り、もう一度電源を入れてください。パソコンが起動してから、イジェクトボタンを押してください。

参照

アクセスランプについて→「各部の名称」

DVD/CDドライブの故障などが原因でディスクを取り出せなくなったとき

A パソコンの電源が入っているにもかかわらずディスクトレイが出てこなくなった場合は、非常時ディスク取り出し穴を使ってディスクを取り出します。

注意

ペーパークリップを使うときは、ペーパークリップのとがった部分で指を切ったりしないように、注意して作業してください。

参考

パソコンの電源が入っていないと、ディスクトレイのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。

非常時ディスク取り出し穴を使う前に、次の準備をおこなってください。

- **パソコン本体の電源を切る**

参照

電源の切り方について→「準備・基本編」第2章の「パソコンを終了する」

- **太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度(指でつまむ部分を除く)の針金を用意する**
  大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

- **VALUESTAR Lの場合は、正しい手順でルーフカバーを外す**

参照

ルーフカバーの外し方について→「準備・基本編」第5章の「本体の開け方と閉め方」

準備ができたら、次の手順でディスクを取り出します。

1 **ディスクトレイの下の非常時ディスク取り出し穴(直径2mm程度の穴)に、準備した針金を差し込み、強く押し込む**
ディスクトレイが5〜15mmほど飛び出します。

2 **ディスクトレイを手前に引き出し、ディスクを取り出す**

3 **ディスクトレイの前面を、ディスクトレイがもとどおりに収納されるまで押し込む**

これで、ディスクの取り出しは完了です。VALUESTAR Lの場合は、正しい手順でルーフカバーを取り付けてください。

ルーフカバーの取り付け方について→「準備・基本編」第5章の「本体の開け方と閉め方」

Q パソコンを落とした

外観上、特に問題ないようならば、電源を入れてみてください。
電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)(p.2-78)にご相談ください。

Q HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビなどでDVDや動画がなめらかに再生できない(HDMIコネクタを搭載しているモデルのみ)

リフレッシュレートを上げるか、または画面解像度を下げてください

A 設定方法について詳しくは、「解像度と表示色を設定する」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93180030 で検索)をご覧ください。

Q リモコンが効かない、効きが悪い(リモコン添付モデルのみ)

電池は切れていませんか？

A 電池を交換してください。電池の交換方法については、「準備・基本編」第4章の「リモコン」をご覧ください。

LaVie

パソコンの電源が切れていませんか？

A LaVieでは、パソコンが休止状態または電源が切れている場合は、リモコンでの操作はできません。パソコン本体の電源スイッチで電源を入れてから使用してください。

LaVie

リモコン受信用ユニットは取り付けられていますか？

A リモコン受信用ユニットがパソコンに取り付けられていないと、リモコンでの操作はできません。「準備・基本編」第4章の「リモコン」をご覧になり、リモコン受信用ユニットを取り付けてください。また、パワーオフUSB充電機能をオンにした場合、パワーオフUSB充電機能対応のUSBコネクタ( )には取り付けないでください。リモコンの【電源】や【テレビ】ボタンでスリープ状態から復帰できなくなります。

リモコンは使用範囲内で使っていますか？

A リモコンはパソコン本体またはリモコン受信用ユニットから3m以内で使ってください。

リモコンを登録しなおしてください

A リモコンからの信号をパソコン本体やリモコン受信用ユニットに送るためには、リモコンの登録が必要です。
何らかの原因で登録内容が消えて、リモコンでの操作ができなくなることもあります。「準備・基本編」第4章の「リモコン」をご覧になり、登録をしなおしてください。

操作可能なボタンを押していますか？

A ソフトによって、使えるリモコンのボタンが異なります。また、モデルによっては、使用しないボタンがあります。ほかのボタンが使えるか確認してください。
SmartVision TVモデルのテレビのリモコン操作については『テレビを楽しむ本』をご覧ください。Media Center TVモデルのテレビのリモコン操作については『テレビセットアップマニュアル』をご覧ください。
テレビ以外のリモコン対応ソフトの操作可能なボタンについては「リモコン」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93010130 で検索)をご覧ください。

Q Windows 7再セットアップ画面が表示できない

【F11】を押すタイミングは合っていますか？

A パソコン本体の電源を入れ、「NEC」ロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」と表示されるまで何度か【F11】を押し続けてください。

「コントロールパネル」から起動してください

A 次の手順で起動することができます。

1 **「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」をクリックする**

2 **「バックアップと復元」-「システム設定またはコンピューターの回復」-「高度な回復方法」をクリック**

3 **「コンピューターを出荷時の状態に戻す」をクリック**

4 **「スキップ」をクリック**

5 **「再起動」をクリック**

再セットアップディスクを使って再セットアップしてください

A 再セットアップディスクを使った再セットアップ方法は、「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.2-66)をご覧ください。
再セットアップディスクは作成する必要があります(p.2-15)。

第4章

再セットアップする

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップをおこなうと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、この章の説明をよくお読みください。

●再セットアップには時間がかかります。「Cドライブのみ再セットアップ」で2時間以上、その他の再セットアップではそれ以上の時間がかかります。

●SSDが搭載されたモデルの場合、ハードディスクの領域などの説明が、このマニュアルの記載と異なります。また、「再セットアップ領域を削除する」機能が追加されます。再セットアップをおこなうときは、『LaVie Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』または『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をあわせてご覧ください。

再セットアップを始める前に

パソコンをご購入時の状態に戻す、再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ(準備作業)をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ(画面の表示が動かなくなること)が多くなったりしたときは、気付かないうちにパソコンのシステムが壊れていたり、意識しないまま設定を変更してしまった可能性があります。再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。

しかし、再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。再セットアップの前にデータのバックアップ(データの控えを残しておくこと)を取ってください。

Windowsが正常に起動しない場合でも、電源が入る状態ならバックアップを取ることは可能です。詳しくは「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.2-69)をご覧ください。

参考

再セットアップを、NECで代行するサービス(有料)もあります。ご自宅からパソコンを引き取り後、再セットアップを実施してご自宅へ配送します。詳しくは、(http://121ware.com/re-set/)をご覧ください。

再セットアップの前に試すことについて

再セットアップを始める前に、次のチェックを試してみてください。問題が解決することがあります。

ウイルスチェックをおこなう(p.2-54)

▼

セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でパソコンを起動してみる(p.2-55)

▼

データのバックアップを取る(p.2-56)

▼

システムの復元を試みる(p.2-56)

▼

「おてがるバックアップ」で取ったバックアップを復元する(p.2-58)

ウイルスチェックをおこなう

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。

「ウイルスバスター」でチェックする

手順1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター2011 クラウド」-「ウイルスバスター2011 クラウドを起動」をクリック

「ウイルスバスター」の画面が表示されます。

「ウイルスバスター」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122 で検索)の「ソフトを起動」からも起動できます。

手順2 「検索開始」の右の▼をクリックし、表示されたメニューから「コンピュータ全体の総合検索」をクリック

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

重要

- ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとにおこなう必要があります。「ウイルスバスター」は、インターネット上のクラウド(サーバ)上の情報を使用して通信をおこないながらウイルスのチェックをおこなうため、インターネットに接続している必要があります。また、ユーザー登録した日から90日間、無料で試用することができます。詳しくは、「ウイルスバスター」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122 で検索)をご覧ください。
- ユーザー登録やクラウドを使用したウイルスチェックはインターネット接続が必要となるため、インターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯端末など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。

手順3 「閉じる」をクリック

セーフモードでパソコンを起動してみる

セーフモードとはトラブル修復用の起動状態のことです。
電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

重要

- セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。
- セーフモード時には、USB 3.0対応コネクタ(またはは利用できません(搭載モデルのみ)。マウスや外付けハードディスクなどはUSB 2.0対応コネクタ(またはに接続してください。コネクタの位置などについて詳しくは、「各部の名称」をご覧ください。

手順1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

手順2 パソコン本体の電源を入れる

手順3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す

手順4 「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「セーフ モード」を選び、【Enter】を押す

ログオンパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
ユーザーを複数設定している場合は、自分のユーザーアカウントを選んでください。
パソコンが通常のように起動してしまったときは、手順1からやりなおしてください。
この後、パソコンを再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。
セーフモードについて詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」で「セーフ モード」と入力して検索してください。

データのバックアップを取る

システムの復元や再セットアップをおこなう前に、データのバックアップを取ってください。

参照

バックアップについて→第1章の「大切なデータの控えを取っておく(バックアップの種類と方法)」(p.2-4)

また、必要に応じて、次の操作をおこなってください。

●テレビ番組の録画データをDVDなどに保存する(TVモデル)

テレビ番組の録画データは「おてがるバックアップ」の「ワンクリックバックアップ」-「マイデータ」ではバックアップできません。必要な録画データは、DVDなどに保存してください。SmartVision TVモデルでは、外付けハードディスクに録画データを移動することもできます。操作方法について詳しくは、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

重要

- TVモデルの場合、テレビ番組の録画データは、ご購入時の状態ではCドライブに保存されます。このため、「Cドライブのみ再セットアップ」や「Cドライブの領域を変更して再セットアップ」をすると、再セットアップ後にCドライブの録画データは失われます。
- SmartVision TVモデルの場合、「おてがるバックアップ」などでCドライブをまるごとバックアップ/復元した場合も録画番組データはそのまま利用できますが、SmartVisionで消去したデータは、復元後、データがCドライブに復元されても利用できません。
- Media Center TVモデルの場合、Cドライブの再セットアップをおこなうと、外付けハードディスクに保存した録画データも含め、すべての録画データが再生できなくなります。
- パソコンが故障した場合、故障内容によっては、修理前にバックアップしたデータを復元しても、復元した録画番組を再生できない場合があります。

●音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップを取る

音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップまたは退避については、音楽データを購入したソフトのヘルプをご覧ください。

システムの復元を試みる

システムの復元によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけをもとに戻すことができます。この方法を使うと、「ドキュメント」フォルダなどに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

とくに重要

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

重要

- システムの復元をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを復元することで大切なデータが失われることがあります。
- システムの復元をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させておいてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモードでパソコンを起動してみる」(p.2-55)で説明した手順にしたがって、パソコンをセーフモード(トラブル修復用の起動状態)で起動してください。その後、次の手順で操作してください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「システム回復オプション」からシステムの復元を実行することもできます。「「スタートアップ修復」を使う」(p.2-57)の手順6で、「システムの復元」をクリックしてください。
- システムの復元を使用した場合は、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。

手順 1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリック

手順2 「システムの復元」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

「システムの復元」の画面に「別の復元ポイントを選択する」がある場合、この項目を◉にして「次へ」をクリックすると一覧から使用したい復元ポイントを選択できます。復元ポイントを選んで「次へ」をクリックしてください。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

手順2で「次へ」をクリックしたときに一覧が表示された場合は、一覧から使用したい復元ポイントを選んで「次へ」をクリックします。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

手順3 「復元ポイントの確認」が表示されたら、内容を確認して「完了」をクリック

手順4 確認の画面が表示されたら「はい」をクリック

選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。
しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。

手順5 「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、「閉じる」をクリック

これで、システムの復元は完了です。

「前回正常起動時の構成」でシステムを起動する

セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でもパソコンを起動できず、「システムの復元」も実行できない場合、次の手順を試してください。

手順1 パソコン本体の電源を入れる

手順2 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す

手順3 「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「前回正常起動時の構成(詳細)」を選び、【Enter】を押す

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。
これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

「スタートアップ修復」を使う

スタートアップ修復は、システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動をさまたげる可能性のある問題を解決できる、Windowsの回復ツールです。
パソコンがまったく起動しないときは、「スタートアップ修復」を試してください。パソコンが自動的に問題を診断して修復し、正常に起動できるようになる場合があります。

手順1 パソコン本体の電源を入れる

手順2 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す

手順3 「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「コンピューターの修復」を選び、【Enter】を押す

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

手順4 「システム回復オプション」が表示されたら、そのまま「次へ」をクリック

手順5 自分のユーザー名を選び、パスワードを入力して「OK」をクリック

パスワードを設定していない場合は、パスワードは入力しないで「OK」をクリックしてください。

手順6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「スタートアップ修復」をクリック

「スタートアップ修復」が始まります。

手順7 修復が終わったら「完了」をクリック

手順8 「シャットダウン」または「再起動」をクリックしてシステム回復オプションを終了する

! 重要

・強制電源断など、パソコンが正常に終了されなかった場合、次回パソコン起動時には、自動的にスタートアップ修復が起動する場合があります。その場合は、画面の指示にしたがい、コンピュータを復元してください。ただし、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。
・スタートアップ修復時には、USB 3.0対応コネクタ(SS⭠または SS⭠)は利用できません(搭載モデルのみ)。マウスや外付けハードディスクなどはUSB 2.0対応コネクタ(⭠または⭠)に接続してください。コネクタの位置などについて詳しくは、「各部の名称」をご覧ください。

「おてがるバックアップ」で取ったバックアップを復元する

「おてがるバックアップ」の「パソコン全体」、「ディスク、またはパーティション」で、Windowsを含むデータをバックアップしてある場合は、復元することで、バックアップした状態までパソコンを戻すことができます。
復元について詳しくは、第1章の「「パソコン全体」を復元する」(p.2-13)をご覧ください。

※「「パソコン全体」を復元する」(p.2-13)では、「パソコン全体」でバックアップした場合の復元方法が記載されています。「ディスク、またはパーティション」でバックアップしたデータの復元も同じ手順でおこなえます。詳しくは、「おてがるバックアップ」のヘルプをご覧ください。

再セットアップする(Cドライブのみ)

パソコンに慣れていないかたは、この方法で再セットアップ

このパソコンのハードディスクには、あらかじめCドライブとDドライブという2つの領域があります。Cドライブには、Windowsやソフト、「ドキュメント」フォルダなどに保存したファイルなどが入っています。Dドライブには、ソフトで作成したデータやバックアップデータの保存先にDドライブを指定した場合は、それらのファイルが入っています。

「再セットアップする(Cドライブのみ)」で説明する手順では、Dドライブの内容を残したまま、Cドライブだけをご購入時の状態に戻します。パソコンの操作に慣れていないかたやハードディスクをフォーマットした経験のないかたは、この方法で再セットアップをおこなってください。

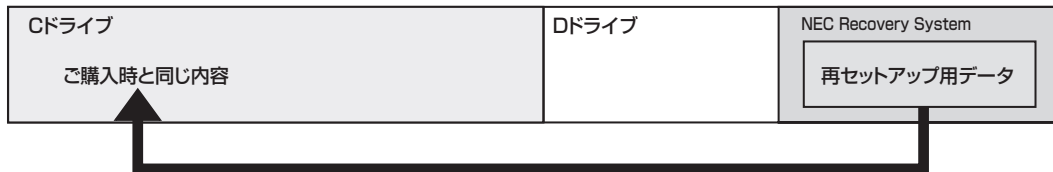
Cドライブの領域を変更して再セットアップする場合は、p.2-65

Cドライブの領域を変更して再セットアップする場合は、「Cドライブの領域を変更して再セットアップする」(p.2-65)へ進んでください。その場合、Dドライブのデータも失われます。パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかたのみCドライブの領域を変更してください。

ハードディスクに格納されている再セットアップ領域データ(NEC Recovery System)を、Cドライブに書き込んで再セットアップします。ハードディスクの領域の変更はしません。

ハードディスクの領域

※システム回復のために、Windows RE領域として、ハードディスクの2Gバイトを使用しています。

Cドライブ	Dドライブ	NEC Recovery System
ご購入時と同じ内容		再セットアップ用データ

ハードディスクにある再セットアップ用データを使って再セットアップ

・CドライブやDドライブなどのハードディスクの区切り(領域)を、パーティションと呼びます。

重要

- ハードディスクの状態をご購入時から変更(パーティションの追加・削除、ダイナミックディスクなど)した場合、この方法での再セットアップはできません。
- この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります。
- 再セットアップは中断しないでください。
- 再セットアップ時には、USB 3.0対応コネクタ(SSまたはSS)は利用できません(搭載モデルのみ)。マウスや外付けハードディスクなどはUSB 2.0対応コネクタ(または)に接続してください。コネクタの位置などについて詳しくは、「各部の名称」をご覧ください。

再セットアップの流れ

再セットアップは次の13項目の作業を連続しておこないます。項目によってはおよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

準備する

1 必要なものを準備する
2 バックアップを取ったデータを確認する
3 インターネットの設定を控える
4 ユーザー名を控える
5 BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す
(初期値を変更している場合のみ)
6 市販の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す

再セットアップする

7 システムを再セットアップする 約30分～ 1時間※
8 Windowsの設定をする 約30分～1時間

※:再セットアップ方法によっては、1時間30分程度かかることがあります。

もとの状態に戻す

9 周辺機器を取り付ける
10 市販のソフトをインストールしなおす
11 バックアップを取ったデータを復元する
12 インターネット接続の設定などをやりなおす
13 Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

バックアップは終わっていますか？

再セットアップをおこなうと、Cドライブに保存したデータはすべて失われます。バックアップが終わっていない場合、第1章の「おてがるバックアップを使って「マイ データ」のバックアップを取る」(p.2-7)をご覧ください。

再セットアップを始めたら、途中でやめない！

再セットアップは、すべての作業項目を最後まで続けて作業することが必要です。途中でやめてしまうと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

1.必要なものを準備する

このパソコンの添付品から、次のものを準備してください。

・「Microsoft® Office Personal 2010」または「Microsoft® Office Home and Business 2010」のプロダクトキー(Office 2010モデルのみ)※

※：プロダクトキーは「Microsoft® Office Personal 2010」または「Microsoft® Office Home and Business 2010」のDVD-ROMケースに記載されています。

・『ユーザーズマニュアル』(このマニュアル)

そのほか、このパソコンをご購入後に自分でインストールしたソフトがある場合、そのマニュアルをご覧になり、インストールに必要なCD-ROMなどを準備してください。また、ハードディスクを起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。

2.バックアップを取ったデータを確認する

バックアップを取ったデータを、もう一度確認してください。まだバックアップを取っていなかったり、バックアップに失敗していたときは、バックアップを取りなおしてください。

Windowsの障害などで「おてがるバックアップ」が使えないときは、「データファイナルレスキュー」(p.2-69)を使ってバックアップを取ることができます。

3.インターネットの設定を控える

再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

・ユーザーID
・パスワード
・電子メールアドレス
・メールパスワード
・プライマリDNS
・セカンダリDNS
・メールサーバー
・ニュースサーバー

必要に応じて、LANの設定を控えてください。

4.ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー1」の欄に控えておきます。「準備・基本編」第2章の「Windowsをセットアップする」をご覧ください。「8.Windowsの設定をする」の作業をおこなうときに、このユーザー名が一致しないとデータが復元できなくなってしまいます。

ユーザー	ユーザー名
1	
2	
3	
4	

> **！重要**
> - 家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。
> - ユーザー名を控えるときは、「大文字と小文字の区別」に注意してください。
> - 「データファイナルレスキュー」でデータのバックアップを取った場合は、バックアップが完了したときに表示されるバックアップユーザー名を控えてください。

5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す：初期値を変更している場合のみ

BIOS(バイオス)の設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、変更した内容をメモしてから、設定を初期値に戻してください。この作業は、BIOSの設定を変更していない場合は必要ありません。手順について詳しくは、第3章の「パソコン起動時のトラブルのとき」の「BIOSの設定を変更したら、Windowsが起動しない」(p.2-31)をご覧ください。また、ハードディスクを起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。

> **参照**
> BIOSセットアップユーティリティについて
> →「ハードウェア環境の設定」
> ▶「ソフト&サポートナビゲーター」
> ▶検索番号 93220040 で検索

6. 市販の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外し、「準備・基本編」の第１章で取り付けた機器のみ接続している状態にしてください。また、インターネットの通信回線との接続に使っている電話回線ケーブルやLANケーブルも取り外してください。

DVD/CDドライブやメモリースロットなど各ドライブにもメディアがセットされていないか確認してください。セットされている場合は、すべて取り出してください。

> **！重要**
> 外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

7.システムを再セットアップする

次の手順で操作してください。

> **！重要**
> - LaVieの場合、次の手順を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。
> - 再セットアップ時には、USB 3.0対応コネクタ(またはは)は利用できません(搭載モデルのみ)。マウスや外付けハードディスクなどはUSB 2.0対応コネクタ(または)に接続してください。コネクタの位置などについて詳しくは、「各部の名称」をご覧ください。

手順1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

手順2 パソコン本体の電源を入れる

手順3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F11】を何度か押す

手順4 「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック

通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。

手順5 「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

ここでバックアップを取りたい場合は「データを退避する(データファイナルレスキュー)」を選んでください。外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取る場合は、USB機器をUSB 2.0対応コネクタ(または)に接続し、バックアップが完了したら、再セットアップをおこなう前に取り外してください。

! 重要

- **USB 3.0対応コネクタ(または)(搭載モデルのみ)はバックアップ時には利用できませんので、USB機器を接続しないでください。コネクタの位置などについて詳しくは、「各部の名称」をご覧ください。**
- **「バックアップ時の状態に戻す(おてがるバックアップ)」の項目は、パーティション単位の復旧専用です。この機能は、パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかたのみお使いください。**

手順6 「Cドライブのみ再セットアップ」をクリック

手順7 確認の画面が表示されたら、「はい」をクリック

! 重要

「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたときは、「戻る」をクリックし、手順6からやりなおしてください。

再セットアップが始まり、「イメージの復元」の画面が表示されます。
再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。
「パソコンを再起動します。」の画面が表示されるまで、何も操作しないでください。操作画面の をクリックして画面を終了などすると、再セットアップに失敗するばかりでなく、再セットアップ領域自体が壊れてしまう可能性があります。

! 重要

DVD/CDドライブやメモリースロットなどにメディアがセットされていると、再セットアップが途中で停止してしまうことがあります。再セットアップが途中で停止したときは、DVD/CDドライブやメモリースロットを確認し、メディアがセットされていたら取り外してください。

手順8 「パソコンを再起動します。」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック

! 重要

「パソコンを再起動します。」の画面が表示されなかったときは再セットアップが正常におこなわれていません。「7.システムを再セットアップする」の最初に戻り、操作をやりなおしてください。

「再起動」をクリックして、パソコンが再起動したら、次の「8.Windowsの設定をする」へ進んでください。

8.Windowsの設定をする

このパソコンを買ったときと同じ、セットアップをもう一度おこないます。
セットアップの手順については、「準備・基本編」の「第2章 セットアップする」をご覧ください。
セットアップが終わっても、周辺機器の接続やバックアップしたデータの復元などの作業が必要です。セットアップが終わったら、このページに戻って、再セットアップを続けてください。

「Microsoft Office 2010※」について(Office 2010モデルのみ)

●はじめてOffice 2010を使用するとき

「準備・基本編」第3章の「Office 2010モデルをご購入いただいたお客様へ」をご覧ください。

●ご購入された再セットアップディスクで再セットアップしたとき

PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターで購入した再セットアップディスクを使って再セットアップした場合、「Microsoft Office 2010」はインストールされません。別途、インストールする必要があります。詳しくは、ご購入された再セットアップディスクに添付のマニュアルをご覧ください。

※:ここでは、「Office Personal 2010」または「Office Home & Business 2010」を「Microsoft Office 2010」と呼んでいます。

9.周辺機器を取り付ける

市販のメモリ、プリンタ、スキャナなどを取り付けて設定しなおします。ご利用の周辺機器に添付のマニュアルを準備してから作業してください。

手順1 パソコンの電源を切る

手順2 取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定をおこなう

セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、各周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

10.市販のソフトをインストールしなおす

手順1 市販のソフトをインストールしなおす

パソコンに市販のソフトをインストールしていた場合は、それぞれに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

11.バックアップを取ったデータを復元する

バックアップを取っておいたデータを復元してください。

手順1 「おてがるバックアップ」でバックアップしたデータを復元する

操作については、第1章の「バックアップしたデータを復元する」の「「マイ データ」を復元する」(p.2-11)をご覧ください。

手順2 音楽データなどの著作権保護されたデータを復元する

音楽データなどをバックアップしたソフトなどで復元してください。

重要

- 複数のユーザーのデータをバックアップしていた場合は、ユーザーごとにデータを復元する必要があります。「スタート」- ▷ -「ログオフ」の順にクリックして、別のユーザーで再ログオンし、ユーザーごとにデータを復元してください。
- 複数のユーザーのデータを復元する場合は、復元するユーザーアカウントがあらかじめ作成されている必要があります。作成していない場合は、控えておいたユーザー名をもとにユーザーアカウントを作成してください。
- 「データファイナルレスキュー」で復元するときに、ユーザー名の変更や再セットアップが原因で、バックアップデータが別のユーザーのものと認識されると、復元時に「ご注意」ウィンドウが表示されます。この場合は、「ご注意」ウィンドウで「一時的に次のフォルダに復元する」を選択して復元をおこない、後で「C:￥ユーザー名」フォルダから必要なファイルを取り出して、正しい場所へ適用してください。
- 「おてがるバックアップ」について詳しくは、「おてがるバックアップ」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94021121 で検索)をご覧ください。

12.インターネット接続の設定などをやりなおす

再セットアップをおこなうと、インターネット接続の設定や、テレビのチャンネル設定などの初期設定もやりなおす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ(入会申し込み)をやりなおす必要はありません。
「準備・基本編」第3章の「インターネットを始める」を参考にインターネット接続の設定をおこなってください。
SmartVision TVモデルのテレビの初期設定については、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。
ワイヤレスTVデジタル添付モデルの場合は、ワイヤレスTVデジタルの初期設定とインターネット接続の設定もおこなってください。
Media Center TVモデルのテレビの初期設定については、『テレビセットアップマニュアル』をご覧ください。

13. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows UpdateやMicrosoft Update、その他のソフトのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策ソフトを最新の状態にしてください。
詳しくは、Windowsのヘルプや、各ソフトのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

これで再セットアップの作業は完了です。

Cドライブの領域を変更して再セットアップする

パソコンに慣れていないかたは、p.2-59へ

ここで説明する方法で、パソコンのハードディスクにあるCドライブとDドライブの領域を変更して再セットアップするには、ハードディスクの知識が必要です。初心者のかたやパソコンの操作に慣れていないかたは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.2-59)をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低50Gバイト、1Gバイト単位)。Cドライブの領域サイズは、最大でもハードディスク全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズになります。
Dドライブを含め、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

重要

- **この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブだけでなく、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、外部のディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。**
- **Cドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、Dドライブのない構成になります。**
  再セットアップ前にCドライブとDドライブで構成されていたハードディスクはCドライブのみになります。
- **Windowsが起動しないなどの理由で、「データファイナルレスキュー」でDドライブにバックアップデータを作成した場合、一度Cドライブのみ再セットアップをおこなってから、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどにバックアップデータを移動してください。**

重要

- 再セットアップ時には、USB 3.0対応コネクタ(SS⇔または SS⇔)は利用できません(搭載モデルのみ)。マウスや外付けハードディスクなどはUSB 2.0対応コネクタ(⇔または⇔)に接続してください。コネクタの位置などについて詳しくは、「各部の名称」をご覧ください。
- ハードディスクの状態をご購入時から変更(パーティションの追加、削除など)した場合、この方法での再セットアップはできません。
- 再セットアップディスクを使ってCドライブの領域を変更して再セットアップすると、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。
  作成した再セットアップディスクを紛失・破損しないように、大切に保管してください。

再セットアップを実行する

手順1 「再セットアップする(Cドライブのみ)」の「1. 必要なものを準備する」(p.2-61)から「7. システムを再セットアップする」の手順1〜5までの操作をおこなう

手順2 「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をクリック

手順3 「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたら、Cドライブの領域の大きさを指定して「実行」をクリック

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.2-63)以降の説明を参考にしてください。

再セットアップディスクを使って再セットアップする

再セットアップディスクでできること

通常、再セットアップはハードディスク内に準備されている専用のデータでおこないます。
ただし、「再セットアップディスクとは」(p.2-15)で記載したような理由で専用のデータが使用できないこともあります。
このような場合でも、あらかじめ作成しておいた再セットアップディスクがあれば、これを使って再セットアップをおこなうことができます。
また、再セットアップディスクを使って、ハードディスクのデータを消去することもできます。

参照

再セットアップディスクについて→第1章の「再セットアップディスクを作成する」(p.2-15)

●おてがるバックアップ

「おてがるバックアップ」の「パソコン全体」、「ディスク、またはパーティション」で取ったバックアップデータを使ってハードディスクを復元することができます。

●Cドライブのみ再セットアップ

Cドライブの領域のみ再セットアップをおこない、Dドライブの内容は再セットアップをおこなう前の状態のまま残します。「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.2-59)で説明している内容と同じです。

●Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低50Gバイト、1Gバイト単位)。Cドライブの最大の領域サイズは、ハードディスク全体のサイズになります。
Dドライブを含め、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

●データファイナルレスキュー

Windowsが起動できない場合にバックアップを取ります。「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.2-69)で説明している内容と同じです。

●ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップ

Cドライブをご購入時の状態に復元して再セットアップをおこないます。再セットアップディスクの内容をハードディスクにコピーして、ハードディスクから再セットアップできるようにします。そのため、この方法での再セットアップには約2時間〜3時間かかります。Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップした後で、ハードディスクの領域をご購入時の状態に戻したいときに利用します。

! 重要

- **この方法で再セットアップすると、それまでのハードディスクの内容はCドライブ、Dドライブともにすべて失われます。**
- **再セットアップを始める前に、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。**
- **Windowsが起動しないなどの理由で、「データファイナルレスキュー」でDドライブにバックアップデータを作成した場合、一度Cドライブのみ再セットアップをおこなってから、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどにバックアップデータを移動してください。**

●ハードディスクのデータ消去

このパソコンのハードディスクのデータ消去をおこないます。ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows 7標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄する場合にご利用ください。パソコンの処分について詳しくは、「付録」の「パソコンの売却、処分、改造について」をご覧ください。消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。

また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

- **かんたんモード(1回消去)**
  ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。
- **しっかりモード(3回消去)**
  米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。
- **しっかりモードプラス(3回消去+検証)**
  米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

! 重要

- **この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。**
- **LaVieの場合は、パソコンの電源を切った状態でバッテリパックなどの消耗品を外し、必ずACアダプタを接続しておいてください。**
- **データ消去方式を選択する画面に、お使いのハードディスクの容量と、100Gバイトあたりのデータの消去にかかる目安時間が表示されます。**
- **ハードディスクのデータを消去する前に、BIOSの設定を初期値に戻してください。手順について詳しくは、第3章の「BIOSの設定を変更したら、Windowsが起動しない」(p.2-31)をご覧ください。また、ハードディスクを起動する順番を変更している場合はご購入時の状態に戻してください。なお、BIOSの初期値を変更していないときは、この操作は不要です。**

再セットアップディスクを使った再セットアップ手順

重要
再セットアップを始めたら、手順どおり最後まで操作してください。中断したときは、最初からやりなおしてください。

手順1 作成した再セットアップディスクを用意する

手順2 「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.2-59)を読み、「1．必要なものを準備する」から「6．市販の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す」までの作業をおこなう

手順3 パソコン本体の電源を入れる

手順4 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップディスク(1枚目)をセットする

手順5 「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック

重要
通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

パソコンが通常の状態で起動したときは、再セットアップディスクをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

手順6 「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック

ディスクを交換する指示が表示されたら、再セットアップディスクを順番にセットしてください。
ここでバックアップを取りたい場合は「データを退避する(データファイナルレスキュー)」を選んでください。

外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取る場合は、USB機器をUSB 2.0対応コネクタ(または)に接続し、バックアップが完了したら、再セットアップをおこなう前に取り外してください。

重要
USB 3.0対応コネクタ(または)(搭載モデルのみ)はバックアップ時には利用できませんので、USB機器を接続しないでください。
コネクタの位置などについて詳しくは、「各部の名称」をご覧ください。

手順7 目的の再セットアップのボタンをクリック

手順8 以降は、画面の指示にしたがって操作する

「再セットアップ」を選んだ場合は、再セットアップが始まり、「イメージの復元」の画面か、再起動を求める画面が表示されます。
再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れたり、ディスクを取り出したりしないでください。
ディスクを交換する指示が表示されたら、再セットアップディスクを順番にセットしてください。
「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、ディスクを取り出し、「再起動」をクリックしてください。パソコンが再起動して「Windowsのセットアップ」の画面が表示されます。

重要
この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。最初からやりなおしてください。

手順9 「8.Windowsの設定をする」(p.2-63)以降の説明を参考に、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などをする

「13.Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする」の操作まで終わったら、再セットアップの作業は完了です。

Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る

データファイナルレスキューでできること

通常、データのバックアップは再セットアップをおこなう前に取ります。しかし、障害などが原因でWindowsを起動できない場合があります。その場合は、「データファイナルレスキュー」でバックアップを取ってください。
バックアップ先には、パソコンのハードディスク内(Dドライブ)のほか、外付けハードディスクやUSBメモリーを指定することができます。
また、「データファイナルレスキュー」でバックアップを取ったデータは、「データファイナルレスキュー」にて復元することができます。データの復元方法について詳しくは、「バックアップしたデータを復元する」(p.2-71)をご覧ください。

バックアップ先に外付けハードディスク/USBメモリーを指定する場合のご注意

バックアップ先に外付けハードディスク/USBメモリーを指定する場合、次のことにご注意ください。

- 外付けハードディスクは、USB接続のもののみ利用できます。
- 「データファイナルレスキュー」上では、外付けハードディスク/USBメモリーのフォーマットはできません。あらかじめWindows上でフォーマットや空き容量を確保しておいてください。
- 複数の外付けハードディスク/USBメモリーにデータを分割してのバックアップはできません。
- 外付けハードディスク/USBメモリーの空き容量を超えるサイズのファイルはバックアップされません。
- バックアップ処理中は、外付けハードディスク/USBメモリーを抜かないでください。また、バックアップ終了後は外付けハードディスク/USBメモリーを必ず抜き、接続したままパソコンを起動しないでください。
- 外付けハードディスク/USBメモリー自体で暗号化/セキュリティ機能を備えたもの(OS起動前でも認証可能なもの)は、「データファイナルレスキュー」の起動前にあらかじめ認証を完了させておく必要があります。
- 外付けハードディスク/USBメモリーは、USB 2.0対応コネクタ(または)に接続してください。USB 3.0対応コネクタ(または)(搭載モデルのみ)は利用できません。

次のような外付けハードディスク/USBメモリーは、バックアップ先として指定できません。

- パソコンへ接続した際に、OS上でパスワード入力や指紋照合などの認証を求められるもの。
- 自動暗号化/自動セキュリティ機能が動作するもの。
- パソコンに外付けハードディスク/USBメモリーをあらかじめ登録することで、次回以降のパスワード入力が省略できるもの。

※これらの外付けハードディスク/USBメモリーを使用した場合でも、「バックアップ先」のリストボックスに接続した機器が表示されますが、[空き容量]ボタンをクリックしたときに、空き容量が0バイトと表示され、バックアップを取ることができません。

データファイナルレスキューを使ったバックアップ手順

重要

- LaVieの場合は操作を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。
- 「データファイナルレスキュー」では、インターネット設定のバックアップを取ることはできません。
- テレビ番組を録画したデータや音楽データなどの著作権保護されたデータは、バックアップを取ることができません。
- バックアップ先にメモリーカードは指定できません。スロットにメモリーカードが差し込まれている場合は、取り外してください。

手順1 パソコン本体の電源を入れる

手順2 NECのロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F11】を何度か押す

手順3 「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック

パソコンが通常のように起動してしまったり、ほかのエラーを示す画面が表示されたときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

手順4 「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「データを退避する(データファイナルレスキュー)」をクリック

手順5 外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取りたい場合は、USB機器をUSB 2.0対応コネクタ(⭠⭢または⭠⭢)に接続する

重要

USB 3.0対応コネクタ(SS⭠⭢またはSS⭠⭢)(搭載モデルのみ)はバックアップ時には利用できませんので、USB機器を接続しないでください。コネクタの位置などについて詳しくは、「各部の名称」をご覧ください。

手順6 「データファイナルレスキュー」の画面が表示されたら、バックアップしたい「バックアップ タイトル」に☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック

バックアップしたい「バックアップタイトル」が□のときは、クリックして☑を付けてください。

重要

- バックアップが取れるのは、この画面で☑が付いているデータだけです。この画面で、「追加」をクリックすると、ほかのデータを登録できます。
- 「Windows Live メール」に☑を付けても、Windows Live メールのアドレス帳のバックアップは取れません(メールアカウントとメールメッセージのバックアップは取れます)。

手順7 「ユーザーとバックアップ先の指定」が表示されたら、バックアップを取るユーザーを選び、どこにバックアップを取るかを選んで「次へ」をクリック

「セキュリティ機能を使用する」を☑にすると、バックアップファイルをパスワードで保護することができます。

重要

・バックアップ先にUSBメモリーを指定する場合、「バックアップ先」の「USBメモリー」のリストボックスに複数のドライブが表示されているときは、「空き容量」をクリックし、空き容量が0バイトとなっていないドライブを選択してください。
・接続している外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器が「バックアップ先」のリストボックスに表示されていない場合は、いったん「戻る」をクリックして「バックアップタイトルの選択」画面に戻り、「次へ」をクリックして再度「ユーザーとバックアップ先の指定」画面にすすんでください。
・セキュリティ機能を使用してデータのバックアップを取る場合は、パスワードを控えておいてください。パスワードを忘れると復元できなくなります。

手順8 バックアップの内容を確認して「実行」をクリック

バックアップが始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

重要

・標準の状態では、パソコンのハードディスク内にあるDドライブという場所にデータの控えが作成されるようになっています。再セットアップの際にCドライブの領域を変更する場合には、Dドライブのデータも消えてしまうため、外付けハードディスクやUSBメモリーにデータのバックアップを取る必要があります。バックアップ先を変更するには、「ユーザーとバックアップ先の指定」の画面でバックアップ先の場所を指定します。
・自動暗号化機能などを搭載した外付けハードディスク／USBメモリーは、「バックアップ先」のリストボックスに接続している機器が表示されても、[空き容量]ボタンをクリックしたときに、空き容量が0バイトと表示され、バックアップを取ることができません。

手順9 「バックアップの完了」と表示されたら、バックアップユーザー名を控えてから「完了」をクリック

手順10 「「データを退避する」が終了しました。」と表示されたら、「戻る」をクリック

手順11 複数のユーザーを設定している場合は、すべてのユーザーのバックアップが終わるまで手順4〜10を繰り返す

外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップをした場合は、USB機器は取り外してください。
「Windows 7再セットアップ」の最初の画面に戻ります。「再セットアップ」をクリックして再セットアップをおこなってください。

重要

・Dドライブにバックアップを取った後は、Cドライブのみ再セットアップをおこなってください。そのほかの方法で再セットアップをおこなうと、Dドライブに作成したバックアップデータが消去されてしまう可能性があります。
・Cドライブのみ再セットアップする手順について詳しくは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.2-59)をご覧ください。

バックアップしたデータを復元する

「データファイナルレスキュー」でバックアップしたデータは、以下の手順で復元できます。ここでは、例として、パソコンのDドライブにバックアップを取った場合について説明しています。

とくに重要

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

重要
外付けハードディスクなどにバックアップを取った場合は、「(外付けハードディスクのドライブ)¥BackupRanger」フォルダに復元するためのプログラムが作られます。外付けハードディスクをパソコンに接続した後、管理者権限を持つユーザーでログオンしてからプログラムを実行してください。このプログラムは、Windows 7、Windows Vista以外のOSでは動作しません。

手順1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「ファイル名を指定して実行」をクリック

手順2 名前に「D:¥BackupRanger¥BackupUtMini.exe」と入力し、「OK」をクリック

手順3 「免責事項と注意事項の確認」画面が表示されたら、内容を確認し、「同意する」をクリックして◉にして「次へ」をクリック

手順4 「バックアップファイル」から、復元したいバックアップファイルを選択して「次へ」をクリック

「バックアップファイル」には、「データファイナルレスキュー」でバックアップを取ったバックアップデータが表示されます。

重要
セキュリティ機能を使用してバックアップを取ったバックアップデータを選択した場合、「セキュリティ機能」画面が表示されます。バックアップ時に設定したパスワードを入力して、「OK」をクリックしてください。

手順5 復元したい「バックアップタイトル」に☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック

復元したい「バックアップタイトル」が□のときは、クリックして☑を付けてください。

重要
- 特定のファイルを復元したい場合は、「バックアップタイトル」をクリックした後、下に表示されるフォルダとファイルの一覧の中から、復元したいファイルに☑を付けてください。
- 一度に複数のバックアップタイトルやファイルを復元することもできます。

手順6 「復元の開始」画面で「はい」をクリック

データの復元が始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

重要
- データファイナルレスキューでバックアップを取ったユーザーと、復元をおこなうユーザーが異なる場合、注意画面が表示されます。バックアップ時と同じ場所へ復元してもよい場合には、「バックアップ時と同じ場所へ復元する」を選択してください。
- 標準ユーザーのバックアップデータを復元するときには、「バックアップ時と同じ場所へ復元する」を選択してください。

手順7 「復元の完了」と表示されたら「完了」をクリック

「復元結果の表示」をクリックすると、復元されたファイルの一覧を確認することができます。

これで、データファイナルレスキューで作成したバックアップデータによる復元は完了です。

トラブル予防・解決編

第5章

サービス＆サポートのご案内

ここでは、NECの提供するサービス＆サポートについて紹介しています。パソコンに関する各種情報を提供するホームページ「121ware.com」や、サポート窓口などを活用して、快適なパソコンライフを送りましょう。

目的別問い合わせ先一覧

サービス利用に条件があるものや有料のものが含まれます。各ページで詳細をご確認ください。

<table>
<tr><th>お問い合わせ内容</th><th colspan="2">電話番号</th><th>受付時間</th><th>詳細説明</th></tr>
<tr><td>NEC製パソコン/周辺機器に関する使い方のご相談※</td><td rowspan="4">121コンタクトセンター
0120-977-121
携帯電話・PHS・IP電話など
03-6670-6000
（通話料お客様負担）

音声ガイダンスに従って 窓口番号を選択してください。</td><td>使い方相談※</td><td>9:00～19:00</td><td>p.2-78</td></tr>
<tr><td>修理や故障のご相談</td><td>故障診断・修理受付</td><td>9:00～21:00</td><td rowspan="3">p.2-79</td></tr>
<tr><td>窓口のご案内や
購入前のご相談</td><td>窓口案内・購入相談</td><td>9:00～17:00</td></tr>
<tr><td>NEC製パソコンのリサイクルや廃棄に関するご相談</td><td>回収・リサイクル</td><td>9:00～17:00
（土日祝・弊社休業日を除く）</td></tr>
<tr><td>NEC製パソコン/周辺機器の使い方のご相談</td><td colspan="2" rowspan="3">PCプレミアムセンター
0120-911-160

携帯電話・PHS・IP電話など
03-6670-6200（通話料お客様負担）</td><td rowspan="3">9:00～22:00</td><td rowspan="3">p.2-79</td></tr>
<tr><td>他社製周辺機器/ソフトウェアの使い方のご相談</td></tr>
<tr><td>パソコンの活用に関する
ご相談</td></tr>
<tr><td>訪問サポート「パソコン全国出張サービス」に関するお問い合わせ、お申し込み</td><td colspan="2">パソコン全国出張サービス
0120-993-121</td><td>10:00～20:00</td><td>p.2-82</td></tr>
<tr><td>NEC Directでのご購入に関するお問い合わせ</td><td colspan="2" rowspan="2">NEC Directコールセンター
0120-944-500

携帯電話・PHS・IP電話など
03-6670-6670（通話料お客様負担）</td><td rowspan="2">9:00～18:00
（ゴールデンウィーク・年末年始・NEC Direct指定休日を除く）</td><td rowspan="2">p.2-84</td></tr>
<tr><td>延長保証サービスのご購入、お問い合わせ</td></tr>
<tr><td>電話とリモートサポートのサービス「BIGLOBEお助けサポート」に関するお問い合わせ、お申し込み</td><td colspan="2">BIGLOBE電話で入会センター
0120-985-177</td><td>9:00～21:00</td><td>p.2-85</td></tr>
<tr><td>お客様登録に関する
お問い合わせ</td><td colspan="2">121ware登録センター
0120-469-121</td><td>9:00～17:00
（土日祝・弊社休業日を除く）</td><td>p.2-76</td></tr>
</table>

※使い方相談のご利用には、お客様登録が必要です。お客様登録の方法についてはp.2-75をご覧ください。

・システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。
・記載されたサービス内容は予告なしに変更することがあります。最新の情報については、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」（http://121ware.com/）をご覧ください。

お客様登録のお願い

「お客様登録」とは、お名前、電話番号、パソコンの型番、製造番号、購入年月日などの情報を、121wareに登録することです。121wareでは「お客様登録」することで、さまざまなメリットを提供しています。

登録のメリット

1 登録料・会費無料

登録料や会費は無料です。
法人のお客様としてご使用の場合も、登録をおすすめします。

2 電話での「使い方相談」※

無料で1年間、使い方の相談ができます。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)からお電話をさしあげる「電話サポート予約サービス」も利用可能になります。
NECサポートサイト(121ware.com)の次のURLから予約ができます。
(http://121ware.com/support/reserve-tel/)
※ 使い方相談のご利用には、お客様登録が必要です。

3 あなただけのマイページ

マイページは、あなた専用のページです。
登録した商品を元に、あなたのパソコンに合ったサポートやサービスに関する情報が表示されます。

4 NEC Directの優待サービス＆ポイントもGet

NEC Directの優待サービスでお買い物。ポイントももらえます。
NEC商品を登録されているお客様は、NEC Directの優待サービスが受けられます。

その他の特典

買い取り
インターネットから簡単に買い取りサービスに申し込めます。

修理
インターネットで修理を申し込むと、修理料金が割引されます。

メールニュース
商品広告・活用提案・サポート・キャンペーンなどの情報をお届けします。

※サービス内容などは予告なしに変更される場合があります。

参考

パソコン本体以外の商品／NEC Refreshed PC(再生パソコン)の「使い方相談」の無料期間は、各商品の保証書に記載の保証期間となります。

お客様登録をする

重要

- **次の手順をおこなうにはインターネット接続環境が必要です。**
- **すでにご登録済みのお客様や121wareお客様登録番号をお持ちのかたは、新規登録をする必要はありません。「マイページ」上部の「ご購入商品を登録してください 保有商品の追加登録はこちらから」をクリックし、必要事項を記入してください。**

NECパーソナルコンピュータ(株)は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取り扱いを行う事業者に付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

手順1 「121ware.com」(http://121ware.com/)にアクセスして、「マイページ」をクリックする

手順2 画面の説明をお読みになり、「ご登録はこちら(ログインIDの取得)」をクリックする

参考

「ログインID」で、NECが提供するインターネットのサポートサイト「121ware」および「NEC Direct(NECショッピングサイト)」をご利用いただけます。

手順3 「ご希望ID」や「パスワード」などの必要事項を入力し規約を確認後、□をクリックしてから、「次に進む」をクリックする

重要

お使いのパソコンの型番、製造番号、ご購入年月日、お電話番号など必要事項をすべて記入してください。
※Eメールによるサポート情報が必要なかたは、Eメールアドレスを入力してください。

手順4 必要に応じてお客様の情報を入力し、「OK」をクリックする

画面左上に表示された「121wareお客様登録番号」を下の欄にメモしてください。
121wareお客様登録番号(10桁の数字)

手順5 内容を確認し、「OK」をクリックする

ご購入いただいた商品の「型番」や「製造番号」、「購入年月日」を下の欄にメモしてください。

型　番

製造番号

購入年月日

登録が完了したら、121wareがEメールで登録完了通知をお送りいたします。

参考

登録情報の追加・変更はマイページ(http://121ware.com/my/)でおこなえます。

お客様登録に関するお問い合わせ先

「121ware(ワントゥワンウェア)登録センター」
電話：フリーコール 0120-469-121(携帯電話・PHSでもご利用になれます)
受付時間：9:00 ～ 17:00(土・日・祝日、および弊社休業日を除く)
※システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。

サービス内容などは予告なしに変更することがあります。最新の情報については、NECパーソナル商品総合情報サイト121ware(http://121ware.com/)をご覧ください。

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

NECの「121ware.com」(http://121ware.com/)は、あなたのパソコンライフに合わせたサービスをご提供するホームページです。

※121ware.comの内容は予告なく変更される場合があります。

①製品情報
NECの最新パソコンの商品情報はもちろん、周辺機器やソフトウェア、ブロードバンドルータなどもご紹介しています。商品のラインアップやスペック、NECパソコンだからできる楽しみ方や、安心機能のご紹介まで、パソコンご購入の際に役立つ情報が満載です。

②サービス＆サポート
快適なパソコンライフを送るための、さまざまなサービス＆サポート情報をご提供しています。お使いのパソコンに関する各種情報や使い方の情報が欲しいとき、トラブル予防・解決方法を知りたいときなどにご活用ください。

③マイページ
マイページはお客様の専用ページです。お客様のパソコンに合った、サポートプログラムやQ&Aなどのサポート情報や、キャンペーン情報などのお得な情報をご提供しています。

「121ware.com」について→第2章の「NECのWebサポート(121ware.com)でトラブルの事例を探す」(p.2-21)

NECのサポート窓口に電話する

121コンタクトセンター

使い方相談

NEC製のパソコンや周辺機器、ソフトウェアの使い方や技術的なご質問・ご相談にお答えします。

重要

使い方相談のご利用には、お客様登録（お名前、電話番号、パソコンの型番、製造番号、購入年月日の登録）が必要です。お客様登録の方法はp.2-75をご覧ください。なお、登録されていない場合は、NEC PCプレミアムセンターにて有料で対応いたします。

参考

購入直後でインターネットにつながらずに、お客様登録ができない方のために、未登録でも1ヵ月間限定の使い方の相談ができるサービスを実施しております。
121コンタクトセンターへ電話し、音声ガイダンスにしたがって操作してください。
なお、本サービスのご利用には、お客様の発信者番号通知が必要になります。

121コンタクトセンター
フリーコール 0120-977-121
年中無休9:00～19:00
音声ガイダンスにしたがって操作してください。
携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は03-6670-6000（通話料お客様負担）へ

※電話番号をよくお確かめの上おかけください。
※システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。
※記載された価格・サービス内容などは予告なしに変更することがあります。最新の情報については、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(http://121ware.com/121cc/) をご覧ください。

パソコンを購入して1年以内は無料

パソコンを購入して2年目以降は有料

1つのお問い合わせにつき2,000円（税込）でご利用いただけます。お問い合わせの際は、クレジットカードが必要です。なお、デビットカード機能が付加されたクレジットカードはご利用になれません。

※お問い合わせの内容によっては無料で対応いたします。

重要

- パソコン本体以外の商品／NEC Refreshed PC（再生パソコン）の「使い方相談」の無料期間は、各商品の保証書に記載の保証期間となります。
- インターネットで都合のよい日時をご指定いただき、121コンタクトセンターからお電話を差し上げる「電話サポート予約サービス」(http://121ware.com/support/reserve-tel/)もご利用いただけます。

電話サポート予約サービス

お客様のご都合のよい日時をインターネットで予約いただく事で、ご指定の日時に121コンタクトセンターからお電話を差し上げるサービスです。予約状況により、お客様のご都合のよい日時に予約できない場合があります。
詳しくは、(http://121ware.com/support/reserve-tel/)をご覧ください。

リモートサポート

お客様のパソコンとサポートスタッフのパソコンをインターネットを使って接続し、お客様のパソコンの画面を一緒に確認しながら、トラブルを解決したり使い方をご案内するサービスです。ご利用には、電話サポート予約サービスでの予約が必要です。
詳しくは、(http://121ware.com/navigate/support/premium/remote-support/) をご覧ください。

各種サービス

121コンタクトセンター

フリーコール 0120-977-121

音声ガイダンスにしたがって、窓口番号を選択してください。

携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は03-6670-6000（通話料お客様負担）へ

※電話番号をよくお確かめの上おかけください。
※システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。
※記載された価格・サービス内容などは予告なしに変更することがあります。最新の情報については、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(http://121ware.com/121cc/)をご覧ください。

●故障診断・修理受付

受付時間：9:00～21:00

対応員につながるまでの時間を利用して、自動応答で問診をおこない、問題解決策をご案内します。音声ガイダンスにしたがって、症状選択や確認事項にお答えいただきながらお進みください。

●購入相談

新しいパソコンや周辺機器のご購入についてご相談いただけます。

受付時間：9:00 ～17:00

●回収・リサイクル窓口

不要になったNEC製パソコンの回収・リサイクルに関する問い合わせ窓口です。

受付時間 ： 9:00 ～17:00(土･日･祝日、および弊社休業日を除く)

NEC PCプレミアムセンターのサービス

NEC PCプレミアム電話相談サービス

「NEC PCプレミアム」とは、「使い方相談」と比べて“より幅広い時間帯”で、他社製ソフトウェアや周辺機器など“より幅広い範囲”のご相談をお受けするサポートサービスです。

「デジタルカメラとパソコンの接続方法がわからない」、「電車の乗り換え案内をインターネットで調べたい」といった、パソコンの活用に関してもご相談いただけます。

●問い合わせ先

フリーコール 0120-911-160

年中無休9:00 ～ 22:00

携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は03-6670-6200（通話料お客様負担）へ

●相談内容

・NEC製パソコンの使い方
・NEC製周辺機器･NEC製ソフトの使い方
・他社製周辺機器･他社製ソフトの使い方に関する問題解決のご支援
　※NEC製PCにてご利用いただいている場合のみ
　※問題解決を保証するものではありません
・パソコンの活用に関するもの
　※問題解決を保証するものではありません

必要に応じて、リモートサポートを使用して、画面共有/代行操作をおこないます。

●料金

3,000円/1インシデント(税込)

※インシデントについて
お問い合わせいただいた内容を最小単位に分解し、その単位に対して回答の提示を完了したものを1インシデントとします。お問い合わせが1回であっても、複数の回答提示になった場合は回答数分の料金がかかります。
※問い合わせの最初に、クレジットカード番号と有効期限の入力が必要です。
※デビットカード機能が付加されたクレジットカードはご利用になれません。

! 重要

電話相談サービスチケットを事前に購入して、ご相談いただくサービスもご提供しています。詳しくは、(http://121ware.com/premcc/)をご覧ください。

電話サポートを上手に使うコツ

①事前に質問内容を整理する

このパソコンには「PC修理チェックシート」が添付されています。
パソコンの機種やトラブルの内容、直前に何をしていたか、などを「PC修理チェックシート」に書き留めておくと、技術スタッフとスムーズにやりとりできます。

重要

- 「PC修理チェックシート」は、121wareサイト((http://121ware.com/support/repair/) →サービスのご案内 →3.修理を申し込む)でも入手できます。
- 修理約款をご一読ください。修理約款はPC修理チェックシートの末尾に記載されています。

②パソコンのそばから電話する

技術スタッフが電話で誘導して操作してもらうことが多いので、できれば、パソコンを操作できる場所から電話してください。

③マニュアルを手元に置く

このパソコンや周辺機器、ソフトなどのマニュアル(取扱説明書)を手元に集めてから電話していただくと、技術スタッフとのやりとりに役立ちます。

気持ちよくやりとりするために

●落ち着いて受け答えする

最初にお名前や「121wareお客様登録番号」、電話番号、使用機種などをお聞きします。その後で、問い合わせをお聞きします。落ち着いて順番にお話しください。

●自分のパソコン習熟度を伝える

技術スタッフがサポートするのにとても参考になります。パソコンを始めたばかり、3年くらいの経験がある、会社で伝票入力ならやったことがある、など、はじめに伝えていただくと時間を節約できます。

●トラブルの説明は根気よく、正確に

「PC修理チェックシート」に書き込んだ内容を読み上げてください。

●原因を決めつけたり、故障と決めつけずに技術スタッフの話を聞く

故障だと思っていても、ちょっとした操作の間違いであることが意外に多いものです。落ち着いて技術スタッフの指示にしたがってください。

修理を申し込む

121ware.comでチェックする

パソコンの状態を確認する

マニュアルやホームページで調べてもトラブルが解決しないときは、修理を申し込む前に、「トラブル・故障診断ナビ」(http://121ware.com/support/repair/)でパソコンの状態を確認しましょう。

「トラブル内容の選択」からパソコンの症状を選び、表示された問診に答えることで、パソコンのトラブルの原因を探ります。もし故障と診断されたときは、表示された「問診結果コード」を控えて、そのまま修理をお申し込みください。

※修理お申し込みの際には、修理約款をお読みください。

修理を申し込む

●ご購入後、2年目以降のかた

ホームページから修理をお申し込みください。ホームページで修理を申し込むと、修理価格が2,000円割引となります。

「トラブル・故障診断ナビ」で問診後、そのまま修理をお申し込みください。

「NECあんしんサービス便」がご利用いただけます。

●ご購入後、1年未満のかた

121コンタクトセンターへ修理をお申し込みください。

ご指定の日時に121コンタクトセンターからお電話を差し上げる「電話サポート予約サービス」もご用意しています。ホームページの「電話サポート予約」をクリックして、ご希望の日時をご指定ください。

インターネットが使えないときは

添付の「PC修理チェックシート」に必要事項を記入後、121コンタクトセンターの修理受付(p.2-79)にお電話ください。修理が必要となったときは、そのまま修理をお申し込みください。「NECあんしんサービス便」がご利用いただけます。

パソコン引渡しまでに、データのバックアップや周辺機器の取り外しなど、引渡しの準備をお願いいたします。

重要

修理約款をご一読ください。修理約款はPC修理チェックシートの末尾に記載されています。

宅配便引取修理 NECあんしんサービス便

玄関先でパソコンをお預かりし、約1週間でお届けします。梱包作業も配送担当者がおこなうサービスです(送料無料・梱包料無料)。NECサービスセンターで集中修理をおこなっているから安心です。

重要

- **修理の内容によっては1週間以上の日数を要する場合があります。**
- **修理代金は、お届け時に代金引換でお支払い願います(一部離島を除く)。**
- **必ず修理約款にご同意の上、修理をお申し込みください。**
- **ケーブルの取り外しや設置、故障品の玄関までの移動は、お客様ご自身でおこなっていただきます(ただし、当社指定の32型以上のディスプレイ一体型大型パソコンの移動のみ宅配業者がおこないます)。**
- **故障交換した部品はお返ししません。**

パソコンやデジタルカメラのデータを誤って消去してしまったり、ハードディスクが破損してしまっても、まだ諦めないでください。AOSテクノロジーズ株式会社との提携による「データ復旧サービス」(有料)をご活用ください。
(http://121ware.com/navigate/support/restoration/)

訪問サポート（パソコン全国出張サービス）

トラブル発生時に、お電話一本で専門スタッフがご自宅までお伺いします。

パソコン全国出張サービス

●お申し込み

0120-993-121
年中無休10:00 ～ 20:00

●サポートメニューについて

① パソコンの初期設定、周辺機器の接続設定の場合

各種サポートメニュー料金　＋　訪問基本料金5,500円（税込）

・サポートメニュー

インターネット接続設定	5,000円（税込）
周辺機器設定	3,300円（税込）
これで安心！無線LAN初めてコース	15,000円（税込）

このほかにもさまざまなサポートメニューをご用意しております。

詳しくは、以下のホームページまたは電話にてご確認をお願いします。

http://121ware.com/support/zenkoku/

② トラブル診断の場合

8,400円（訪問基本料金を含む）

トラブル発生時、電話窓口ではうまく説明できない、とにかく訪問してみてほしいという場合に、サポートスタッフがお伺いして、トラブル原因の究明と簡単な修正作業までをおこないます。

※パソコンの症状により、別途追加メニューが必要な場合がございます。

重要

- 出張のみのサポートです。
- 一部地域、離島におきましては、別途料金が発生する場合がございます。
- サポート内容によっては、特別技術料を加算させていただく場合があります。
- 「パソコン全国出張サービス」は、NECパーソナルコンピュータ（株）がキューアンドエー（株）に委託して実施しているサポートサービスです。
- サービス内容などは予告なしに変更することがあります。
- 本出張サポートにはハードウェア修理は含まれません。

データや個人情報を守るサービス（バックアップなど）

データ保護・漏えい対策サービス

パソコンに入っている、お客様の大切なデータや個人情報などのバックアップやセキュリティ対策など、データ保護に役立つサービスを用意しています。

月額料金制ですので、サービスが不要になった場合は、月次で解約できます（毎月20日までに解約申し込みで、当該月末解約）。ご利用開始月の利用料金は無料です（同一サービスの2度目以降の利用の場合を除く）。

●サービス一覧

商　品	月額料金（税込）	内　容
オンライン自動バックアップ	525円	面倒なバックアップを自動でおこないます。
データ復旧サービス月額版 ※単品メニューなし。 「オンライン自動バックアップ」サービスのオプションサービス	ー	万一のデータ消失時にも、安価にデータ復旧サービスを受けられます。
遠隔データ消去サービス	315円	パソコンが盗まれてしまったときの情報漏えい対策です。
マカフィー･サイトアドバイザー ライブ	210円	危険なWebサイトからパソコンを守りましょう。
マカフィー･セキュリティスイート（セキュリティ対策ソフト）	525円（3ユーザー）	インターネットやメールを安全におこなうには、セキュリティ対策ソフトが必要です。

いくつかのサービスを組み合わせたお得なセットもご用意しております。
サービスの詳しい内容や最新情報、お申し込みについては、こちらをご覧ください。
http://121ware.com/support/monthly/

※掲載されたサービス内容、価格などは予告なしに変更することがあります。

延長保証サービス

PC3年間メーカー保証サービスパック（有料）

通常のメーカー保証（無料）は、修理料金・集配料金ともに1年間です。購入したら万一に備えて、メーカー保証の期間を3年間に延長しましょう。メーカー保証の範囲内の故障※であれば、何度でも引取修理します。引取の際は、指定業者がパソコンの梱包作業もおこないます。送料、梱包箱も無料です。修理受付は121コンタクトセンターへご連絡ください。

※正常なご使用状態のもとでパソコンが故障した場合が対象です。天災や取扱いの不注意による破損・損傷は含みません。使用条件によっては、別途費用が発生します。

延長保証サービスの購入・お問い合わせ

申し込み期間は、パソコンお買い上げから1年未満です。延長サービスの申し込みには、お客様登録と、パソコンに同梱されている保証書※が必要となります。

※「お買い上げ日」「販売店印」が空欄の場合、「パソコンのご購入日が確認できる書類のコピー（購入店の領収書、NEC Directの納品書等）」が必要です。

※保証書はなくさないように大事に保管してください。

NEC Direct

http://www.necdirect.jp/service/warranty/

NEC Directコールセンター

フリーコール 0120-944-500

受付時間：9:00〜18:00

携帯電話・PHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は03-6670-6670（通話料お客様負担）へ

※ゴールデンウィーク・年末年始または、NEC Direct指定休日は休業させていただきます。

●サービス利用にあたってのご注意

・ご購入前にお手持ちのパソコンが対象機種となっているか、ご確認ください。NEC Refreshed PC（再生パソコン）は、対象となりません。

・パソコンに同梱する「パーソナルコンピュータ保証書」記載の購入日（VALUESTAR G／LaVie Gシリーズの場合は、「納品書」記載の納入日）より1年未満での注文成立が条件です。

・サービスパックのご購入者とご利用者が異なる場合、またはサービスパックをオプション購入（対象パソコンと別途購入）する場合は、サービスパック到着後30日以内に登録申し込み※をおこなう必要があります。本登録申し込みがない場合や、延長保証書をなくされたかたは、サービスを受けられません。

※登録申込書、パーソナルコンピュータ保証書（コピー）（「お買い上げ日」「販売店印」が空欄の場合には、対象パソコンの購入日が確認できる書類のコピー（購入店の領収書、NEC Directで購入された場合は納品書）の2点または3点）を登録センターに郵送

・正常な状態のパソコンにのみ加入できます。故障した後からでは加入できません。

パソコンに保存してあったデータを喪失された場合、復旧にかかる費用の一部を補償する「データ復旧安心サービスパック」もあります。申し込み期間は、パソコンお買い上げ日から90日以内です。
詳しくは（http://www.necdirect.jp/service/data/）をご覧ください。

電話とリモートサポートのサービス「BIGLOBEお助けサポート」

パソコンやインターネットだけでなく、セキュリティの設定からゲーム機のネットワーク接続などの幅広いご相談を電話でお受けするサービスです。他社製のパソコンやソフトウェアも対象となります。また、必要に応じて、お客様のパソコンと専任スタッフのパソコンをインターネットを使って接続し、お客様のパソコンの画面を一緒に確認しながらトラブル解決のお手伝いや使い方のご案内をします。
毎月499円でご利用できるとても便利なサービスです。

●対象

どなたでもご利用になれます。
※BIGLOBE IDをお持ちでない方は、お申し込み時にBIGLOBE会員登録が必要です。

●申し込み方法

・電話でのお申し込み(BIGLOBE電話で入会センター)
0120-985-177　9:00～21:00
(年中無休/通話料無料)
※電話番号をよくお確かめの上おかけください。
・WEBからのお申し込み
http://0962.jp/otasuke/
※お申し込み後にご相談窓口の電話番号をお伝えします。
※システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。

BIGLOBEお助けサポートの内容

●ご利用時間

受付時間　9:00～21:00　(年中無休/通話料無料)

●相談内容

・パソコンや、プリンタ、スキャナ、無線LANなどの周辺機器の設定、操作方法
(他社製のパソコンも対象となります)
・インターネットの接続設定や利用方法
・Microsoft Office(Word、Excel、PowerPoint、Outlook)の操作方法
・セキュリティやブラウザ、メール、ハガキ作成など一般ソフトウェアの設定方法
・ゲーム機本体のネットワーク接続設定

●料金

499円/月(税込)
※毎月固定料金ですので安心です。
※お支払い方法は、クレジットカードなど、BIGLOBE利用料金のお支払い用に設定いただいた方法となります。

重要

「BIGLOBEお助けサポート」はNECビッグローブ株式会社が提供するサポートサービスです。詳しい内容は(http://0962.jp/otasuke/)をご確認ください。

※ サービス内容などは予告なしに変更することがあります。最新の情報については、次のホームページをご覧ください。
http://0962.jp/otasuke/

ソフトのサポート窓口一覧

次のソフトの製造元各社のサポート窓口については、「ソフトのサポート窓口一覧」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92145010 で検索)を、またNECのパソコンやソフトウェア、周辺機器については、「お問い合わせ先一覧」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92140010 で検索)をご覧ください。

ソフト名	
・Adobe® Flash® Player ・Adobe® Reader® ・Corel® Digital Studio™ for NEC ・Corel® Paint Shop Pro® Photo X2 ・CyberLink MediaShow 3D ・CyberLink PowerDVD 3D ・CyberLink PowerDVD BD ・CyberLink PowerDVD AVC ・CyberLink PowerDVD ・DigiBook® Browser for NEC ・e-move™対応 Plugin ・FlyFolder ・G-GUIDE® for Windows ・i-フィルター® 6.0 ・JWord プラグイン ・Office Personal 2010 Word 2010 Excel 2010 Outlook 2010 Office ナビ 2010 ・Office Home & Business 2010 Word 2010 Excel 2010 Outlook 2010 PowerPoint 2010 OneNote 2010 Office ナビ 2010	・Roxio Creator LJ ・Sempre ・Windows Live® Mesh 2011 ・Windows Live® Messenger 2011 ・Windows Live® Writer 2011 ・Windows Live® フォト ギャラリー 2011 ・Windows Live® ムービー メーカー 2011 ・Windows Live® メール 2011 ・Yahoo!ツールバー ・ウイルスバスター2011 クラウド™ ・駅すぱあと(Windows) ・おてがるバックアップ ・デ辞蔵PC ・デ辞蔵PC 漢字字典付き ・デジタル全国地図 いつもNAVI ・テレビNaviガジェット ・乗換案内 for NEC ・ファイナルパソコンデータ引越し 7™ ライト for NEC ・筆ぐるめ Ver.18 ・マカフィー® サイトアドバイザー ライブ ・らくらく無線スタート®EX

■ **ここに記載されていないソフトについては、121ware.comの「パソコン添付アプリケーションのお問い合わせ窓口一覧」をご確認ください。**
http://121ware.com/navigate/support/info/othervendor/

付　録

お手入れについて

準備するもの

軽い汚れのとき

乾いたきれいな布

汚れがひどいとき

水かぬるま湯を含ませて、
よくしぼった布

お手入れをするときのご注意

・シンナーやベンジンなど、揮発性の有機溶剤は使わないでください。これらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。
・水かぬるま湯を含ませた布は必ずよくしぼり、パソコン本体、キーボード、マウス、リモコン(リモコン添付モデルのみ)の汚れをふき取る際に水が入らないよう十分注意してください。
・水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
・お手入れの前に「準備・基本編」第2章の「パソコンの電源を切る」(p.1-26)の手順で電源を切ってください。電源コードのプラグはコンセントから抜いてください。電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。

パソコン各部の清掃のしかた

●パソコン本体

やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

●ディスプレイ

やわらかい素材の乾いた布でふいてください。化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。ディスプレイの画面は傷などが付かないように軽くふいてください。

●電源コード/ACアダプタ

電源コードのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

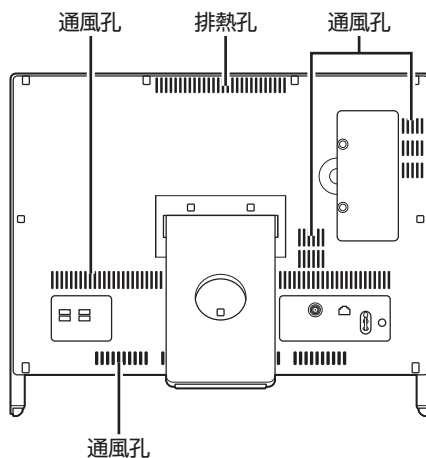
●キーボード/マウス/リモコン(リモコン添付モデルのみ)

やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

重要

・キーボードの清掃には、掃除機を使用しないでください。キートップが外れるおそれがあります。キーのすきまにゴミなどが入ったときは、精密機器専用のエアダスターなどで取り除いてください。
・キートップを故意に取り外すこともやめてください。キートップをもとに戻せなくなったり、キートップやキーボードが破損し、本装置の故障や機能低下の原因となることがあります。

●排熱孔/通風孔

排熱孔や通風孔のお手入れの際は、掃除機などを使って本体の外側からほこりを取り除いてください。ほこりの付着がひどい場合には、ハケや綿棒、使用済み歯ブラシなどを使って、ほこりをかき出しながら掃除機で吸引するときれいに掃除することができます。

参考

排熱孔や通風孔は、パソコン内部の熱によってパソコンが故障したり誤作動したりすることを防ぐための換気口です。ほこりがたまってしまうと機能が低下し、パソコンの故障や誤作動などのトラブルの原因になる場合があります。定期的にお手入れをしてください。

キーボードやマウスを登録しなおす

キーボードやマウスが正しく動作しないときは、何らかの原因でパソコン側の登録が解除されてしまったことが考えられます。
次の手順でキーボードとマウスを登録しなおしてください。

重要

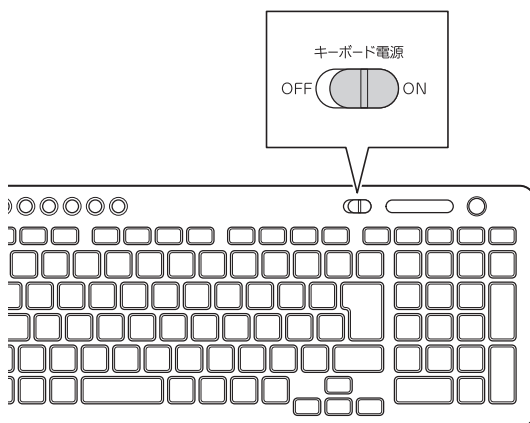
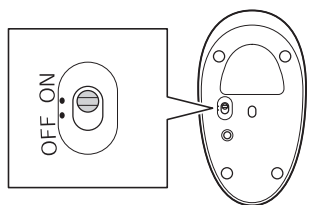
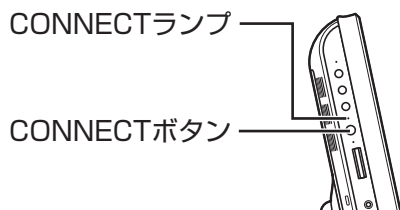
キーボードとマウスを連続して登録するときは、一方を登録した後、約30秒間隔をあけて次の登録をおこなってください。

参考

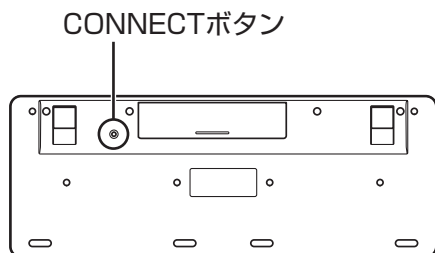
・パソコンを修理・交換した場合も、登録しなおす必要があります。
・リモコン添付モデルでリモコンを再登録したいときは「準備・基本編」第4章の「リモコン」(p.1-49)をご覧ください。

手順1 パソコン本体の電源が入っていることを確認する

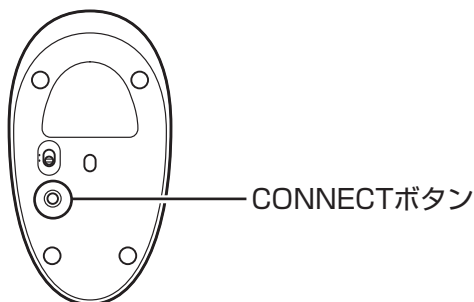
手順2 登録したい機器の電源スイッチを「ON」にする

●キーボードの場合

●マウスの場合

手順 3 パソコン本体の左側面にあるCONNECTボタンを約1秒間押す

CONNECTランプが点滅します。

手順 4 CONNECTランプが点滅している間に、登録したい機器にあるCONNECTボタンを約1秒間押す

●キーボードの場合

重要

CONNECTボタンは、2回以上押さないでください。2回以上押すと、キーボードが動かなくなることがあります。CONNECTボタンを2回以上押してキーボードが動かなくなったときは、手順1からやりなおしてください。

●マウスの場合

参考

このパソコンを複数隣接して使用した場合など、ひとつのキーボード、マウスで2台反応したときは、パソコンを置く位置を変更するか、または、どちらか1台のパソコンの電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから、もう1台のキーボードとマウスを登録しなおしてください。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスについては、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)について
▶「トラブル予防・解決編」第５章の「NECのサポート窓口に電話する」

保守サービスに依頼するときのご注意

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)などにこのパソコンの修理を依頼する場合は、設定したパスワードを解除しておいてください。

消耗品と有寿命部品について

このパソコンには、消耗品と有寿命部品が含まれています。
消耗品は、使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身でご購入いただき、交換していただくものです。本体の保証期間内であっても有償になります。
有寿命部品は、使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。本体の保証期間内であっても部品代は有償になる場合があります。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の修理受付窓口にご相談ください。安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長期間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

本製品使用のアルミ電解コンデンサは有寿命部品です。寿命が尽きた状態で使用し続けますと、電解液の漏れや枯渇に至り、異臭や発煙が発生する場合があります。その場合には直ちに使用を中止し修理を依頼してください(尚、アルミ電解コンデンサの交換は保守部品単位になります)。

種類	該当品または部品 (代表例)
消耗品	フロッピーディスク CD-ROMディスク DVD-ROMディスク SDメモリーカード メモリースティック、乾電池など
有寿命部品	ディスプレイ ハードディスクドライブ DVD/CDドライブ キーボード、マウス、ファン アルミ電解コンデンサが使用されているユニット(ディスプレイ、DVD/CDドライブ、ハードディスクドライブ/SSD、電源、ACアダプタ、マザーボード、グラフィックボードに含まれる内蔵基板など)

※記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくは、「仕様一覧について」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93230010 で検索)をご覧ください。

消耗品や有寿命部品に関するご注意

・有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年です。上記期間はあくまでも目安であり、上記期間中に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
また、長時間連続使用などのご使用状態や、温湿度条件などのご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、製品の保証期間内であっても有償となることがあります。
・本製品の補修用性能部品の保有期間は、パソコン本体、オプション製品については製造打切後6年です。

24時間以上の連続使用について

・本製品は24時間連続使用を前提とした設計になっておりません。
24時間連続稼働した場合、標準保証の対象外となり、製品保証期間内であっても有償修理となります。

液晶ディスプレイのドット抜けについて

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

※一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインにしたがい、ドット抜けの割合を「仕様一覧」に記載しています。
詳しくは、「仕様一覧について」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93230010 で検索)をご覧ください。
ガイドラインの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
・「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
(http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html)

パソコンの売却、処分、改造について

パソコンを他人に売却、処分するときの注意事項を説明します。また、パソコンの改造はおこなわないでください。

このパソコンを売却するには

ご使用済みパソコンの買い取りサービスをおこなっております。
買い取り対象機種や上限価格は、随時変更されます。サービス内容の詳細や最新情報については、次のホームページをご覧ください。
(http://121ware.com/support/recyclesel/)

パソコンを譲渡する際のご注意

パソコンを譲渡する際には次の点に注意してください。

・パソコン内のハードディスクには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。

参照

このパソコンのハードディスクのデータを消去する方法について
▶「トラブル予防・解決編」第4章の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」

・第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイページ(http://121ware.com/my/)の保有商品情報で削除してください。
・「ひかりTV」の視聴に使用したパソコンを譲渡(売却)する場合は、事前に「ひかりTV」の契約を解約してください。

参照

「ひかりTV」に関するお問い合わせについて
▶『テレビを楽しむ本』の「回線とサービスの準備」

・ハードディスクやメモリーカード上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。

このパソコンを譲渡するには

譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡(売却)する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)。

譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(http://121ware.com/my/)にアクセスし、登録をお願いします。

お客様登録の方法について

▶「トラブル予防・解決編」第5章の「お客様登録のお願い」

このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。PCリサイクルマークが銘板(パソコン本体の背面にある型番、製造番号が記載されたラベル)に表示されている、またはPCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は、弊社が責任を持って回収、再資源化いたします。希少資源の再利用のため、不要になったパソコンのリサイクルにご協力ください。

当該製品をご家庭から排出する場合

弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力いただける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。
詳細については次のサイトや窓口を確認してください。

廃棄時の詳細について
NECパーソナル商品総合情報サイト
「121ware.com」
(http://121ware.com/support/recyclesel/)

廃棄についてのお問い合わせ
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)
フリーコール **0120-977-121**
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
03-6670-6000(東京)
(通話料金はお客様負担になります)

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の詳しい情報は「トラブル予防・解決編」第5章の「NECのサポート窓口に電話する」をご覧ください。
また、最新の情報については、(http://121ware.com/121cc/)をご覧ください。

当該製品が事業者から排出される場合(産業廃棄物として廃棄される場合)

当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。
(http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/it/)

※ 本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

ハードディスク、メモリーカード上のデータ消去に関するご注意

重要

本内容は「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳細は以下のJEITA(一般社団法人 電子情報技術産業協会)の文書をご参照ください。
(http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/JEITA_HDDdata 100219F.pdf)

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際、ハードディスクおよびメモリーカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において消去することが重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスクやメモリーカードを物理的に破壊して、読めないようにします。なお、物理的に破壊する場合、専門技術が必要になります。また、お客様のけが防止のため、専門業者へ依頼することを推奨します。
このパソコンでは、再セットアップディスクを作成して、ハードディスクのデータ消去が可能です。

参考

「データやファイルの削除」、「ハードディスクの初期化(フォーマット)」、「メモリーカードの初期化(フォーマット)」、「パソコンの再セットアップ」などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるためにWindowsでデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクやメモリーカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。
このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクやメモリーカードから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

参照

再セットアップディスクによるハードディスクの消去について
▶「トラブル予防・解決編」第4章の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」

地上デジタル放送で使用する個人情報の消去に関するご注意

TVモデルでは、お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際、地上デジタル放送のデータ放送で使用した個人情報を消去することが必要になります。個人情報の消去にはSmartVision(SmartVision TVモデル)またはWindows Media Center(Media Center TVモデル)を使用します。

参照

SmartVisionまたはWindows Media Centerで個人情報を消去する方法について
▶「テレビを楽しむ本」の「個人情報を消去する」

パソコンの改造はおこなわない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外になることがあります。

仕様一覧

このパソコンの仕様についての詳細は、下記のホームページをご覧ください。
(http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201109/bios-siyou/v1/mst/1109siyou_VSN.pdf)

VALUESTAR Gシリーズの仕様一覧については、『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

仕様一覧について
→「仕様一覧について」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93230010 で検索

本体仕様一覧

●VN790/FS、VN770/FS6W、VN770/FS6B、VN770/FS6R、VN570/FS6W、VN570/FS6B、VN570/FS6R、VN370/FS6W、VN370/FS6B、VN370/FS6R

型名		VN790/FS	VN770/FS6W VN770/FS6B VN770/FS6R	VN570/FS6W VN570/FS6B VN570/FS6R	VN370/FS6W VN370/FS6B VN370/FS6R
型番		PC-VN790FS	PC-VN770FS6W PC-VN770FS6B PC-VN770FS6R	PC-VN570FS6W PC-VN570FS6B PC-VN570FS6R	PC-VN370FS6W PC-VN370FS6B PC-VN370FS6R
CPU		第2世代 インテル® Core™ i7-2670QM プロセッサー		第2世代 インテル® Core™ i3-2330M プロセッサー	インテル® Celeron® プロセッサー B800
メインメモリ※1※2※3※4	標準容量/最大容量	8GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 4GB×2、PC3-10600対応、デュアルチャネル対応)/8GB		4GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 4GB×1、PC3-10600対応、デュアルチャネル対応可能)/8GB	
ドライブ	BD/DVD/CDドライブ(詳細は別表(p.3-10)をご覧ください)	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™ 対応)※5			DVDスーパーマルチドライブ[DVD-R/+R 2層書込み]
通信機能	LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応			
	ワイヤレスLAN	高速11n対応ワイヤレスLAN本体内蔵(IEEE802.11b/g/n準拠)、インテル® My WiFi テクノロジー対応、インテル® ワイヤレス・ディスプレイ対応			高速11n対応ワイヤレスLAN本体内蔵(IEEE802.11b/g/n準拠、Wi-Fi Direct™準拠)
TV機能		地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送対応(ダブルチューナー搭載)・「ひかりTV」サービス対応※6※7※9			地上デジタル放送対応(ダブルチューナー搭載)※6※8
外形寸法	本体(突起部除く)	534(W)×193(D)×428(H)mm(ディスプレイ最小傾斜時) 534(W)×290(D)×410(H)mm(ディスプレイ最大傾斜時)			
質量	本体※10	約8.9kg	約8.8kg	約8.9kg	約9.3kg
電源		AC100V±10%、50/60Hz			
消費電力	最大	約120W			

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

※　1: 増設メモリは、PC-AC-ME052C(4GB、PC3-10600)を推奨します。
※　2: 他メーカ製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他メーカ製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。
※　3: 実際にOSが使用可能な領域は一部制限されます。
※　4: メインメモリの一部をグラフィックスメモリとして使用します。
※　5: ブルーレイディスクの再生はソフトウェアを用いているため、ディスクによっては操作および機能に制限があったり、CPU負荷などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり映像がコマ落ちする場合があります。
※　6: 出荷時の解像度/色数以外ではTV機能を利用できません。
※　7: 「ひかりTV」サービスの録画および予約視聴はできません。地上デジタル放送IP再送信サービスは利用できません。
「ひかりTV」を快適に利用するためには、パソコンを回線終端装置やルータに有線で接続することをおすすめしますが、ワイヤレスLANで接続する場合は、動作確認済みの機器(ワイヤレスLANルータ/ワイヤレスLANアクセスポイント)をお使いください。これ以外の機器をお使いの場合、映像が乱れ視聴できないことがあります。
動作確認済み機器に関しては、ホームページ (http://121ware.com/catalog/iptv/) をご覧ください。
ルータをお使いの場合はIPv6対応のルータが必要です。

※　8：TV機能をご利用になる場合は、常時インターネットに接続する必要があります。ご購入時の状態に戻す(再セットアップ)作業を実施すると、外付けを含めてハードディスクに録画した番組はすべて再生できなくなります。

※　9：BS・110度CSデジタル放送用のアンテナへの電源供給機能がありません。別途、電源供給器が必要になる場合があります。詳細は、ホームページ(http://121ware.com/catalog/dtv/)で、事前にご確認ください。

※　10：主な付属品を含みません。

BD/DVD/CDドライブ仕様一覧

	ドライブ※1	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™ 対応)	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)(バッファアンダーランエラー防止機能付き)[DVD-R/+R 2層書込み]
読出し	CD-ROM※2	最大24倍速	最大24倍速
	CD-R	最大24倍速	最大24倍速
	CD-RW	最大24倍速	最大24倍速
	DVD-ROM	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-R	最大8倍速	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-RW	最大8倍速	最大8倍速
	DVD+RW	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速	最大5倍速
	DVD-R (2層)※5	最大8倍速	最大8倍速
	DVD+R (2層)	最大8倍速	最大8倍速
	BD-ROM	最大6倍速	−
	BD-R (1層)※10	最大6倍速	−
	BD-R (2層)※10	最大6倍速	−
	BD-R XL (3層)※12	最大4倍速	−
	BD-RE (1層)	最大6倍速	−
	BD-RE (2層)	最大6倍速	−
	BD-RE XL (3層)※13	最大2倍速	−
書込み/書換え	CD-R	最大24倍速	最大24倍速
	CD-RW※3	最大10倍速	最大10倍速
	DVD-R※4	最大8倍速	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-RW※7	最大6倍速	最大6倍速
	DVD+RW	最大8倍速	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速※9	最大5倍速※9
	DVD-R (2層)※6	最大6倍速	最大6倍速
	DVD+R (2層)	最大6倍速	最大6倍速
	BD-R (1層)※10	最大6倍速	−
	BD-R (2層)※10	最大6倍速	−
	BD-R XL (3層)※12	最大4倍速	−
	BD-RE (1層)※11	最大2倍速	−
	BD-RE (2層)※11	最大2倍速	−
	BD-RE XL (3層)※13	最大2倍速	−

※　1：使用するディスクによっては、一部の書込み／読出し速度に対応していない場合があります。

※　2：Super Audio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読出し可能です。

※　3：Ultra Speed CD-RWディスクはご使用になれません。

※　4：DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。

※　5：追記モードで記録されたDVD-R(2層)ディスクの読出しはサポートしておりません。

※　6：DVD-R(2層)書込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したディスクの書込みに対応しています。ただし、追記は未対応です。

※　7：DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書換えに対応しています。

※　8：DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したディスクに対応しています。また、カートリッジ式のディスクは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはディスク取り出し可能なカートリッジ式でディスクを取り出してご利用ください。DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の読出し/書換えはサポートしておりません。

※　9：DVD-RAM12倍速ディスクの書込みはサポートしておりません。

※　10：BD-R Ver.1.1/1.2/1.3(LTH Type含む)に準拠したディスクに対応しています。

※　11：BD-RE Ver.2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。カートリッジタイプのブルーレイディスクには対応しておりません。

※　12：BD-R Ver.2.0に準拠したディスクに対応しています。

※　13：BD-RE Ver.3.0に準拠したディスクに対応しています。

数字

アルファベット

A

B

C

D

E

H

L

M

N

O

S

W

かな

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

ローマ字変換表

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	が	ざ	だ	ば	ぱ
A	KA	SA	TA	NA	HA	MA	YA	RA	WA	GA	ZA	DA	BA	PA
い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	ぎ	じ	ぢ	び	ぴ
I	KI	SI・SHI	TI・CHI	NI	HI	MI	YU	RI	WO	GI	ZI・JI	DI	BI	PI
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	ぐ	ず	づ	ぶ	ぷ
U	KU	SU	TU・TSU	NU	HU・FU	MU	YO	RU	NN	GU	ZU	DU	BU	PU
え	け	せ	て	ね	へ	め		れ		げ	ぜ	で	べ	ぺ
E	KE	SE	TE	NE	HE	ME		RE		GE	ZE	DE	BE	PE
お	こ	そ	と	の	ほ	も		ろ		ご	ぞ	ど	ぼ	ぽ
O	KO	SO	TO	NO	HO	MO		RO		GO	ZO	DO	BO	PO

ぁ、ぃ、ゃなどの小さい文字だけを入力するときは、直前にキーボードの【L】か【X】を押す。
例：ぁ→LA、ゅ→LYU
きゃ、きゅ、しゃなどは、間に【Y】を押す。
例：きゃ→KYA、きゅ→KYU（しゃ、しゅ、しょは、間に【H】を押しても入力できます）
「ディ」は「DHI」と打つ。「デ」と「ィ」に分けて、「DE」、「LI」と打つ方法もある。また、小さい「っ」は、次の文字を繰り返して打つ。
例：きっかけ→KIKKAKE

入力する文字を切り換える

【半角/全角】を押す。
日本語を入力できる状態と半角英数字を入力できる状態が切り換わります。

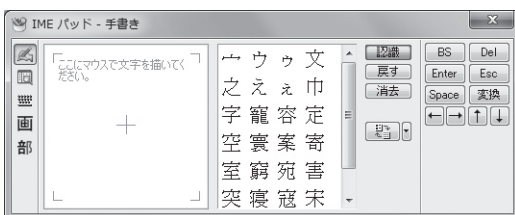
状態はここで確認できます。

日本語入力

半角英数字入力

※お使いのモデルにより画面表示が異なる場合があります。

読み方のわからない文字を入力する

言語バーの をクリックし、表示された画面で手書き入力をする。

※お使いのモデルにより画面表示が異なる場合があります。

VALUESTAR

初版 **2011年9月**
NEC
853-811064-112-A
Printed in Japan

NECパーソナルコンピュータ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。